

哥・場合にヨリカ・ガ・ガーなき讀みて用ひられる。例へば利得哥谷(咸鏡北道鏡城郡朱乙温面)・秋哥洞(咸鏡北道鏡城郡龍城面)・曹哥洞(咸鏡南道豐山郡天南面)と言ふが如くである。哥は姓を意味し、同族部落に用ゐられたる名稱である。朝鮮にてはもて尊稱の場合には氏を用ゐる、賤稱の場合に哥を用ふるが通例なりしも、今日に在りては、其の用例に於て必ずしも兩者の區分が明らかでない。今二、三の例を擧ぐれば、崔哥嶺・車哥基・趙哥洞・劉哥峰・白哥洞・曹哥里村等の如くである。また一面國境或は平壤地方に多き所より見れば、或は元來野人若くは移民の同族集團部落に用ゐたものではなからうか。

部 咸鏡道の部落名中、此の字を用ひたものが極く稀に見える。プ・ブミ讀み、また江邊部(咸鏡北道羅南邑)の如く、マルミ讀んだものもある。尙ほ部の字を用ひたる二・三の例を擧ぐれば、下峰部・龍岩部・山堂部・堡坪部・蘆岩部・蘆野部・民屯部(共に咸鏡北道鏡城郡梧村面)の如くである。

瑞 「北塞記略」海路考中に黃瑞があり、咸鏡北道鏡城郡朱乙温面に北河瑞・西河瑞の如き部落名があり、また濟州島西中面に桀瑞岳があるが、瑞の義未だ明らかでない。

只 主としてチ(ジ)であるが、ア(慶尙南道晉州郡鳴石面の部)の如きは、ギを用ひて居る。長作只(全羅南道濟州島嶽子面)・大納多只(全羅南道莞島郡金日面)・沙只洞(慶尙北道東海郡召保面)・斗只坪(黃海道藝津郡交井面)・上富只洞(平安北道江界郡)・泥望只里(咸鏡南道北青郡德城面)・博只坪(江原道橫城郡公根面)等の如く、語尾に只を有する部落名が散見する。金澤博士に據れば、古地名に於ける語尾の只は、之を正讀み、己・兮・支・岐等と共に、都城山寨の意を有するものであつたに述べて居り、悅城はもて悅只(Yo-hi)であるが、尙ほまた、坪井九馬三博士に據れば、古地名なり、現行普通語なりに、只が語調を整ふる爲めに用ひられて居り、もてモンク・メール系移民の用語であらうと解して居る。現在部落名の只も亦、語調を整ふる爲めに用ひられて居るものがあるのではなからうか。

芝 内芝(黃海道載寧郡西湖面)・外芝(黃海道載寧郡西湖面)・朴芝(北青郡北梁面)・宋芝(北青郡北梁面)・北芝里(黃海道載寧郡北梁面)・南芝里(黃海道載寧郡北梁面)・洪芝(上同)等の如く、芝の語を用ひたものが散見し、朴芝・宋芝・洪芝の如きは、夫々朴氏・宋氏・洪氏の同族集團部落に用ひられた名稱には相違ないが、芝の意は未だ詳でない。

第二節 部落名の分類

聚落を表徴する聚落名の考察は、聚落の研究上極めて意義が深いので、不完全ながら前節に於て、朝鮮に於ける聚落名の由來に就き概略の説明をしたが、殊に聚落の最小單位たる部落名には、その部落の起源・特色等が最も能く現はれて居るから、茲では更に各地方に於ける部落名を、大體分類して一覽表を作製して見ることにした。勿論無數に存在する部落名を一々引用することは不可能であるが、朝鮮總督府に現存する資料を基礎として、(一)位置・地形に關する部落名、(二)官衙・建築物に關する部落名、(三)道德・信仰に關する部落名、(四)産業經濟に關する部落名、(五)姓氏に關する部落名、(六)景勝に關する部落名、(七)動物に關する部落名、(八)植物に關する部落名、(九)形容に關する部落名に大別して網羅した。しかしながらこの分類は必ずしも嚴密には行ひ難きものであるから、現存の小部落名及び行政區劃の邑・面の下に於ける町・洞・里名に就いて大別したに過ぎない。一々部落の起源沿革に遡つて見るときは、一概に字義通りに取扱ふことの出来ないものもあるかも知れない。總うじて朝鮮は昔から支那文化の影響を受けて、地名には優雅高尚なるものが多いが、地形・位置・動

物・植物・形容を現はすもの、中には、特に詩的情調を含んだものが尠くない。また道徳・信仰に関する部落名の如きも、時代思想と民族文化を反映して頗る興味があるが、産業經濟・官衙・建築物・姓氏に関するものの中にも、朝鮮の地方色が最も濃厚に現はれて居る。されば部落名を通じて、朝鮮の歴史・文化・經濟・制度・社會事情等を研究する上に、何程かの參考となること、信じ、努めて各地方に亘り種々の部落名を拾つて見た譯である。而してこれが分類の方法は、前記の九門を略ぼ地勢に従ひて平地・山間・沿河地・臨海地に細別した。これに依りて現に朝鮮の各地方に存在する部落名の一斑は推測されるであらうが、頁數の關係上個々の部落名に就き詳しく解説を施し得ないことは、筆者自身に於ても何となく物足らなさを感ずる次第である。

位置・地形に関する部落名

一般的なもの

平地に在るもの 邑内里・上新里・左部里・中島里・上里・陽地里・陰地里・新南里・内村里・水南里・上金里・下金里・上邑里・南町里・西町洞・城東里・洛上里・内地洞・南洞里・南部里・西部里・路東里・路上里・上四里・下四里・邑上洞・邑下洞・湖上里・中里・山西洞・下内洞・中面洞・北上里・北下里・北内洞・北外洞・語東里・語西里・上陽里・下陽里・外相里・内相里・内村・外村・上村・城底・鳳儀底・眞底村・東台・大間曲・桂田曲・南夕曲・榛曲・下曲・曲村。

山間に在るもの 盆地里・東橋里・上里・下里・中村里・臨江里・上南里・三上洞・三下洞・於上洞・於中洞・庄下洞・南洞・北洞・邑内洞・東里・南里・北里・上地位・下地位・下新里・上景屯里・下景屯里・城南里・上竹田里・下花田里・中里・内村里・西初里・西中里・西上里・西下里・邑上里・邑下里・峯上里・内洞里・上庄里・洲南里・内上洞・内下洞・南夕村・巖内村・東村・南村・水南村・琴岑底・南山底・嶺底村・埕底里・小放鶴埕・東埕・松童埕・漢江埕・上下埕・高烟埕・上部・中部・下部・間部・長古介・古介・眞長介・新高介・甲古介里・古介洞・長頭曲・南陽里・南上里・西大里・西洞・東洞。

沿河地に在るもの 中里・浦内里・西岩里・小西里・赤下里・水北里・院南里・院北里・上洞・中洞・下洞・東邊洞・西邊洞・東部洞・中村里・下村里・山西里・西村里・北部里・城西里・城東里・城南里・上里・中里・下里・大上里・大下里・内里・東里・西里・南里・北里・北上里・東興里・南興里・西興里・下面洞・北洞・南洞・東洞・上洞・水南洞・水北洞・西南部洞・西北部洞・東南部洞・東北部洞・上里洞・陵南・金沙上洞・金沙中洞・城中里・中下里・中上里・院上里・院下里・中里洞・東村里・西村里・中村洞・東坪洞・南上洞・北上洞・内丁里・外丁里・琴岑底里・眞底・城底・東埕里・周路埕里・靈埕・德友埕里・月近埕里・江邊部・古介・松羅・小間曲・射亭曲・梨樹曲・麻田曲・東吾曲・地方曲・水曲・江曲・黑水曲・馬上坡・城坡・葛阿坡・舊聖坡・上葛坡・下葛坡・黃鐵坡・上巨里・下巨里。

臨海地に在るもの 大東里・新陽里・關東里・江陽洞・東部洞・西部洞・東部里・西部里・内里・東邊洞・西邊洞・北邊洞・海南里・休東里・南上里・南下里・南陽里・南端里・西湖里・海西里・元北里・湖南里・内洞里・東活里・西湖里・興上里・下栗里・東島里・西島里・新中里・西中里・上松里・新上里・陵西里・西興里・元上里・昌上里・六埕東里・六埕西里・中寶珠里・上寶珠里・城南洞・城北洞・南部洞・南夕洞・鳳南洞・梧上洞・羅南・羅北洞・南山洞・西水羅洞・北館洞・南館洞・上松峴・下松峴・龍北洞・南村里・北村里・二上洞・二中洞・二下洞・三上洞・三中洞・三下洞・下村・上後洞・下後洞・上前洞・前一洞・上德洞・下德洞・洞内村・上炭洞・下炭洞・中里・下端里・上端里・中端里・海東里・岐西里・東端里・北端里・上西湖里・下西湖里・河南里・橋北洞・下山北・上山北・南山上里・内村・上金洞・下金洞・上隱洞・中隱洞・下隱洞・上休洞・中村・西邊洞・東巖洞・東堂洞・西堂洞・北新洞・東忠洞・西忠洞・上東洞・下東洞・東岩洞・中里・上里・城內里・中基里・汝南里・上貴里・下貴里・上加里・下加里・中風里・下風里・南面里・大中里・知東里・知南里・知西里・界上里・界中里・界下里・中九里・上元德里・下元德里・上巨里・下巨里・上東里・下東里・元下里・陵內里・長上里・長下里・山北里・月東里・月西里・庫底・南安埕里・下部・龍堂部・山堂部・蘆岩部・蘆

野部・堡坪部・堡谷部・民屯部・三臺部・新郷部・仲坪部・上坪部・下坪部・嶺底部・蘆田部・陶谷部・西水羅・登山串・柳串・芻串・防頭串・小串・竹岩串・勿岩串・頓雄串・目不里串・夜依串

山・峴・峙・堤・峯・峰

平地に在るもの 官山里・文峯里・松山里・造山里・猪山里・弓峴里・丁峰里・三山里・芝山里・江山里・九山里・仁山里・昇峙里・南山里・岐山里・得山里・黃山里・白山里・華山里・礪山里・龍山里・諸山里・外峙里・亭山里・汶山里・草山里・蔓山里・花山里・溪山里・省峴洞・梧山里・瑞山里・沙峴里・碧山里・陽山里・旺峴里・德山里・崇山里・鶴山里・西峰洞・文峰洞・佳山洞・德山洞・良峴里・蓬峰里・南山里・社峴里・最峙洞・阿山洞・新阿山洞・奈山里・遊山里・上山里・沙里峴里・二鳥峴里・葛峴洞・加次峴洞・五峯洞・望峴洞・柳峴洞・前園山洞・南山洞・造山洞・景食峴洞・照老山洞・砧山洞・上峴里・三山里・弓峴里・花峴里・唐山里・丁峯里・正峴里・江山里・東山里・妙峯里・梅山里・仁山里・山直里・南山里・月山里・尹山里・元山里・平安山里・雙峰里・月峰里・所里・見山里・中山里・德芝山洞・彦峙里・三岐洞・互山里・馬山里・雄山里・南山里・文山里・復山里・鳥山里・華山里・富互山里・雲峙里・白山里・星峴里・南山里・佳峯里・古山里・尺山里・星山里・格山里・德山里・東山里・外峙里・汶山里・大堤里・五山里・梁山里・草山里・箕山里・連山里・自山里・小山里・挾山里・瓦峴里・德山洞・黃山里・山洞・德山基里・上開峙里・下開峙里・南山洞・瑞山洞・沙峴洞・皮峴洞・德山洞・玉峯洞・筐山洞・小峴洞・石山洞・松嶺洞・長峴洞・孤山洞・加加山里

山間に在るもの 金山里・箕山里・道山里・鳥嶺里・陽山里・玉峴里・隱峴里・豐山里・德山里・芳山里・詩山里・玉山里・龜山里・桐山里・竹山里・德峙里・蘆峙里・丹山里・馬山里・楓山里・廣山洞・黃山里・龍山里・軍峙里・楡峴里・石峴里・新峴里・沙峙里・五峯里・牛峴里・造山里・龍山洞・加里山里・中山里・馬峴里・南山里・秀山里・石山里・農山里・松峯里・惠山里・紫山洞・南山洞・屈山洞・仲峯洞・玉山洞・周峙里・大峙里・吉峴里・花山里・里・柴花山里・龍山里・舟山里・柳山里・午山里・甲山里・靑山里・松峴里・發岳里・胎峯里・東山里・化峙里・歌峙里・德峯里・中山里・下山里・上山里・蜂山里・食山里・芝山里・獨山里・詩山里・玉山里・鍾峴里・石峴里・舟峙洞・内山里・楊山里・馬峙里・大峙里・柵峙里・兄峙里・獐山里・德峰里・松峙里・三峙里・東山里・栗峙里・蓮峯里・烏山里・虎峰里・德峯洞・赤山洞・荖峴洞・斗山洞・露山洞・鳳山洞・德山洞・鳳山洞・飛山洞・寫山洞・新塘

沿河地に在るもの 五峯洞・靑山洞・頭山里・鶴山里・方山洞・都嶺洞・龍峴里・文峰里・西山里・栗山里・龍山里・虎山里・牟山里・會山洞・由山洞・高山里・北山洞・午山洞・雲山里・德山里・月山里・化山里・造山里・佳山里・竹山里・圓峰里・三山里・内山里・貴山里・細山里・坪山里・新峴里・葛山里・元山里・南山洞・松峰洞・鷗峰洞・新峙里・金沙上洞・金沙中洞・德山里・南山里・西岳里・寶峰洞・黃山洞・竹山洞・龍山洞・鞍峴洞・梅峴洞・寬峴洞・石峯洞・内虎山洞・外虎山洞・烏峴洞・鶴山洞・華山洞・水山洞・考堤洞・邱山里・板山洞・新峴洞・午山洞・東山里・化山里・虎山里・鶴山里・月磴里・馬峴里・中山里・月山里・山丁里・正峙里・蘆峙里・東山里・五山里・岳山里・葛山里・嶺山里・坪山里・愚峙里・新峴洞・岐山里・公山里・姑嶺里・梨峴・夜珠峴・西學峴・獨甲峴・磚石峴・黃土峴・南征峴・阿峴・葵華峴・松峴・雨零峴・萬里峴・冶峴洞・仁峴洞・小仁峴洞・觀峴・安峴・紅峴・孟峴・堂峴

臨海地に在るもの 長峴里・新峴里・善尼山里・佳峴里・花山里・三峰里・松山里・安山里・雲山里・卯山里・巴山里・長山里・夢山里・鳳山里・松山里・水山里・牛峴洞・鶴嶺洞・鶴山洞・斗山里・元山洞・華山洞・日山洞・花嶺洞・石山里・車山里・牙山里・平峴里・笠峴里・虹峴里・平山里・薄山内里・薄山外里・桃山里・金山里・君山里・新嶺里・玉山里・岐山里・松山里・好峴里・鶴峴洞・比山里・長峴里・富山洞・南山洞・靑山洞・龍峴洞・造山洞・鳥峴里・達山里・新峴里・標山洞・藥山里・陶馬山里・佳峯里・龜峴里・東山里・高峯里・牛山里・柳峴里・大三峰里・上三峰里・下三峰里・牙峴里・應峴里・松山洞・杏山洞・安山洞・牛山洞・星山里・月峰里・羅山里・月山里・鍾山里・蛇峙里・新堤里・南山里・堤内里・中山里・鳥嶺里・東嶺里・巴山里・南山里・長山里・玉山里・長磴里・大峙里・山峙里・文峙里・永山里・水山洞・鳥山洞・牛峴洞・鶴峯洞・學山洞・元峰洞・岐山洞・山下洞・堂峴里・石山洞・馬峙里・於義峙洞・竹山里・平山里・桐峴里・典塘里・隱山洞・龍山洞・鞍峴洞・杏山洞・南山上里・馬山里・古峴里・龍山里・玉山里・松山里・稷峴里・圓峯里・葛山里・山里・西臺里・南臺里・井山里・上南山里・中南山里・下南山里・萬山里・長峴洞・下麓洞・上麓洞・南山洞・南靑山里・龍峴洞・造山洞・水峴里

洞・下山洞・内沙洞・上沙洞・下沙洞・楡峴洞・外峙洞・石峴洞・鶴峴洞・新峴洞・梨峙洞・臥山洞・九峰洞・於峯洞・中山洞・葛峴洞・白山洞・五峯里・牛峴洞・長峴里・山杏洞・灰峴洞・佳峴洞・造山洞・上中山里・下中山里・天臺洞・小峴里・山嶺洞・石山洞・於隱洞・三台洞・果山洞・農山里・山嶺里・鞏岩山里・松峯里・長峴里・惠山里・樂山洞・靑山洞・孟山洞・會山洞・沿河地に在るもの 五峯洞・靑山洞・頭山里・鶴山里・方山洞・都嶺洞・龍峴里・文峰里・西山里・栗山里・龍山里・虎山里・牟山里・會山洞・由山洞・高山里・北山洞・午山洞・雲山里・德山里・月山里・化山里・造山里・佳山里・竹山里・圓峰里・三山里・内山里・貴山里・細山里・坪山里・新峴里・葛山里・元山里・南山洞・松峰洞・鷗峰洞・新峙里・金沙上洞・金沙中洞・德山里・南山里・西岳里・寶峰洞・黃山洞・竹山洞・龍山洞・鞍峴洞・梅峴洞・寬峴洞・石峯洞・内虎山洞・外虎山洞・烏峴洞・鶴山洞・華山洞・水山洞・考堤洞・邱山里・板山洞・新峴洞・午山洞・東山里・化山里・虎山里・鶴山里・月磴里・馬峴里・中山里・月山里・山丁里・正峙里・蘆峙里・東山里・五山里・岳山里・葛山里・嶺山里・坪山里・愚峙里・新峴洞・岐山里・公山里・姑嶺里・梨峴・夜珠峴・西學峴・獨甲峴・磚石峴・黃土峴・南征峴・阿峴・葵華峴・松峴・雨零峴・萬里峴・冶峴洞・仁峴洞・小仁峴洞・觀峴・安峴・紅峴・孟峴・堂峴

池・井・泉・湖・沼・澤・水

平地に在るもの 福井洞・塔淵里・水井里・山水里・花井里・源水里・石湖里・平湖里・鶴池里・冷水洞・機池里・鰲湖里・馬泉里・坪井里・石井里・林泉里・蓬泉里・蓮水洞・松湖里・月湖里・龍湖里・都井里・上水里・下水里・防水洞・上水邊里・下水邊里・龍湖里・舊井洞・水井里・瓢井洞・龍淵里・冷井里・得水洞・石井洞・梨井洞・洞井洞・西井洞・錦湖洞・機池里・細淵洞・福泉洞・冷井里・冷水洞・影池里・金池里・水余里・龍井里・石井里・龍井里・瀝池里・機池里・内水井里・外水井里・冷井洞・猪井洞・光池院里・清水洞・上柳川・楓井里・靈泉里・澤村・月湖里・長池村・龍湖里・九湖里

山間に在るもの 吉水里・龍水里・水項里・倉泉里・馬水洞・貨泉里・松水里・遠井洞・温井洞里・長淵里・龍泉里・泗水里・通智水里・舊津里・株水里・麗水里・水南洞・龍潭洞・英湖洞・舉水洞・漢森水洞・三水洞・德水村・長水洞・水火洞・南別水里・生水洞・雲水洞・藥水洞・西水洞・細水洞・大沙水里・玉水洞・漢水洞・桃花水洞・泗水洞・龍水洞・冷井洞・玉泉里・花潭洞・大水洞・熊水洞・九井洞・九井洞・水清洞・山水洞・菴池里・遼池里・藥水里・金井洞・萬水洞・山水洞・干井望・牛井里・汀水里・上水項里・中水項里・下水項里・判水里・石井里・夫水里・五水洞・泉水洞・清水洞

沿河地に在るもの 冷井里・大泉里・三湖里・龍淵里・下井里・花井里・良池里・大池里・辰泉里・石泉里・坪湖里・松湖里・南湖里・泉甘洞・内淵里・池洞里・藥水里・馬池里・泉洞里・多水里・赤池洞・流長水洞・北水洞・寒泉洞・下池里・上池里・深井里・木池里・寶泉洞・龍湖里・養井洞・君池村・狸井里・温水里・大井里・龍井里・水通里・春湖里・大井里・水清里・瓮井里・莎泉洞・冷井洞・九井里・谷井洞・嘉井洞・甘井洞・麻田井洞・上大井洞・下大井洞・盤松井洞・冷井洞・寒井洞・宮内井洞・朴井洞・填井洞・廉井洞・樓井洞・谷井洞・兄弟井・館井洞・蓋井洞・御水井洞・新井洞・石井洞・香川洞・銅井洞・藍井洞・窟井洞・富井洞・板井洞・太井洞・絲井洞・堅井洞・笠井洞・墨井洞・鍊井洞・雙井洞・兄弟井洞・闊井洞・冷井洞・直井洞・坪井洞・温井洞・玉井洞・福井洞・古里井洞・大松井・大井洞・鮎井洞・鮎魚井洞・下甘井洞・上大井洞・深井洞・中井洞・上甘井洞・下大井洞・上甘井後洞・下甘井後洞・汗井洞・合井里・土井里・堂井洞・南井洞・紫井洞・加井洞・三井洞・九井洞・金水井洞・秤井洞・干支井洞・文井洞・唐井洞・大水洞・金泉洞・泉洞・清湖洞・法水洞・大泉洞・槐泉洞・水之洞・山泉洞・半泉洞・三湖宮井・三湖井洞・水典洞・水標橋洞・上水登里・下水登里・水上里

臨海地に在るもの 石井里・冷井里・雲湖里・文水里・龍井里・月湖里・蓮井里・石湖里・安湖里・平湖里・南湖洞・環湖洞・道泉里・

溪谷

明井里・倉湖里・梅井里・大井里・佳泉里・金水里・龍潭里・西湖里・龍井里・龍池里・濼湖洞・莊湖里・芙湖里・西湖里・呂湖里・新湖里・蓮湖里・石井里・長淵洞・獨淵洞・龍水洞・西水羅洞・西水羅・龍水洞・池明洞・山水洞・龍湖洞・防湖洞・竹湖里・龍池里・蓮地里・炭井里・上西湖里・下西湖里・陽井洞・龍井里・樓井里・沙湖里・新湖洞・明井洞・豆湖里・斗湖洞・南湖洞・蓋水洞・流水洞・美水洞・漢潭洞・酒泉里・石井里・月湖里・龍井里・龍水里・井洞・栗池里・熊淵里・冬湖里・大井洞・桃井里・冷井里・西井里・陽池里・石井里・牟井里・碧井里・九井里・禮湖里・上十井里・下十井里・山井里・水踰洞・水颯里・蓮湖里・恩湖里・龍池里・雙湖里・玉泉里・龍泉里・水使里・石湖里・豐湖里・英湖里・西湖里・東湖里

平地に在るもの 寺谷里・唐谷里・鍾谷里・雲谷里・梨谷里・法谷里・新谷里・南溪里・新谷里・月溪里・開谷里・薪溪里・石溪里・興谷里・鰲谷洞・書谷里・上金谷里・下金谷里・九溪洞・清谷洞・盤谷里・松溪里・梅溪里・燃谷里・佳谷里・雲谷里・南谷里・石溪里・進溪洞・龜溪里・敵谷洞・尺谷洞・泉谷里・蘆谷洞・新溪里・北溪里・花溪里・松溪里・加谷里・沙谷里・琴谷里・白谷里・井谷里・金谷里・月谷里・德谷里・松谷里・梨谷里・冶谷里・花谷里・南谷里・松谷里・正谷里・雙溪里・龍谷里・泉谷里・靈谷里・月谷里・蘆谷里・大谷・瓦谷・上茂谷・下茂谷・問谷・問茂谷・下月谷・上月谷・古谷・上谷・下古谷・篤谷・彥谷・内谷

山間に在るもの 道谷里・連谷里・德文谷里・栗谷里・深谷里・月谷里・竹谷里・德谷里・於谷里・豐溪里・三溪里・茅谷里・井谷里・杜谷里・大谷里・玄谷里・赤谷里・宕谷里・双溪里・雲谷里・多谷里・道溪洞・注谷洞・佳谷洞・道谷洞・地谷洞・茶谷里・松溪里・雲谷里・雙溪里・下沙谷里・上沙谷里・靈谷里・黃谷里・蘆澗洞・東谷洞・五溪洞・豐谷村・東谷洞・花谷洞・鉛谷里・東谷里・金谷洞・池谷里・東溪洞・眞溪洞・藍溪洞・道谷洞・注谷洞・茂谷洞・上釜谷・後谷里・根谷里・熊谷里・上谷里・東溪里・富谷里・磻溪里・錦溪里・基溪里・龍溪里・赤谷里・開谷里・井谷里・石谷里・永谷里・清溪洞・陶谷里・造溪里・金谷里・冶谷里・華谷里・鳳谷里・小鳳谷里・石溪里・碧溪里・栗谷里・積谷里・基谷里・南雪谷・中谷・西雪谷・躬廳谷・西梓谷・新堂谷・書堂谷・大安谷・上北谷・下北谷・學堂谷・蘆田谷・長生谷・日建谷・舊堂谷・祭谷・古庄谷・下谷・西上谷・城谷里・四谷・六谷・十谷・九谷・八谷・七谷・二谷・一谷・慕道谷・薪谷・雙鷄谷・鶴羽谷・橫山谷・松風谷・於隱谷・青岩谷・瑞谷・栢谷・上谷・自個谷・城谷・小東谷・大東谷・知面谷・院谷・遠谷・仍谷・寺谷・門木谷・舊墟谷・中臥谷・大墟谷・小墟谷・後滿谷・梨木谷・支石谷・南亭谷・嶺谷・栗谷・幕谷・城隍谷・店谷・合祥谷・山隅谷・五柳谷・龍田谷・住哥谷・楡谷・尙明谷・水直谷・沙器幕谷・上重谷・西池谷・李

侍郎谷・二郷谷・松魚谷・寺谷・大谷・兵馬谷・洪首谷・昌浦谷・北谷・南谷
 沿河地に在るもの 釜谷里・道谷里・麻谷里・開谷里・南谷里・沙谷里・東谷里・楠谷里・月谷里・酒谷里・富谷里・生谷洞・青谷里・
 崖谷里・間谷里・耳谷里・隱溪洞・黑澗里・開谷洞・東谷洞・崖谷洞・長谷洞・大谷里・孔毛谷洞・後谷洞・別谷里・玉谷洞・尹谷
 洞・水谷里・龍溪里・月谷里・昌溪里・松溪里・富谷里・外谷里・新谷里・細谷里・月溪里・斗谷里・土谷里・琴谷里・西古谷里・東
 古谷里・泥山谷里・土谷里・杏谷里・花溪里・位谷里・杜谷里・井谷里・松谷里・大谷里・德谷里・塔谷里・柏谷里・鳳谷里・龍谷里・
 德谷里・内谷・城谷・堡谷・東上谷・朔西谷・朔東谷・北谷・南山谷・橋谷・煙臺谷・書堂谷・北上谷・東龍谷・采雲谷・西新谷・元
 化洞東谷・東二谷・憐艾谷・西古洞上谷里・於谷里・大山谷里・館谷里・東谷・中谷・南谷・下谷・外谷・西上谷・造山谷・德大谷・
 水門谷・山亭谷・東中谷・一谷・二谷・三谷・四谷・五谷・上谷・北東谷・元東谷・舊東谷・梨谷・畜谷・藏長谷・葛谷・陵谷・鸞谷
 ・寺基谷・院基谷・山登谷・佛堂谷・昇谷・高山谷・大谷・金哥谷・姜哥谷・釜基谷・孫利谷・長谷・於谷・陶唐谷・四德谷・蘆野谷・
 安陣谷・文珠谷・通谷・孝谷・問谷
 臨海地に在るもの 長谷里・城谷里・元谷里・深谷里・藍谷里・柳谷里・東谷里・佳谷里・中溪里・長溪里・蓮谷里・枕溪里・羽谷里・
 龜溪里・牙谷里・柄谷里・金谷里・凡谷里・龍溪洞・草谷里・魯谷里・插谷里・梧谷里・武溪洞・寬谷洞・館谷里・龍溪里・
 春谷里・綿谷洞・後谷洞・基谷洞・栗谷村・斗谷里・武谷洞・問谷里・城谷里・家谷里・松谷洞・城谷洞・保谷洞・牙谷洞・保谷洞・
 活谷里・大谷里・清溪里・良谷里・七谷里・金谷里・芙蓉里・隱谷里・泉谷里・斗谷里・佳谷里・大谷里・茅谷里・茂谷里・船谷里・
 鷹谷里・石谷里・鶴巖谷・内谷・後谷・稼谷・遮陽谷・鴈谷・魯谷・吉谷・紫陽谷・寺基谷・小松谷・葛馬谷・杞谷・陽谷・梅谷・廣
 大谷・松谷・仙谷・龍沼谷・雌雄谷・土山谷・寺谷・内谷・項谷・農事谷・南作谷・北作谷・地沙谷・西澗谷・蓮池谷・南夕谷・龜谷
 ・韓相谷・直谷・刀谷・射擊谷・光連谷・山峰谷・幕谷・林舞樹谷・日建谷・成造谷・堡谷・煙臺谷・特谷・篤谷・雲谷・非古谷・尺
 谷・沙谷・鳳谷・懸谷・古谷・米谷・上谷・佐谷耳・桐谷・中谷・巖谷・晨谷・耳谷・笏谷・省谷・梧谷・斗谷・默谷・芳谷・梅谷・蓮
 花谷・梨津谷・弓匠谷・將相谷

河・川・江

平地に在るもの 白川里・仁川里・云川里・龍川里・注川里・玉川洞・柳川里・杜川洞・仁川洞・下防川里・上防川里・葛川里・龍川洞・
 砧川洞・小川洞・化川里・新川里・上川村・下川村・甘川・水川浦・智川里・蛤川洞・龜川洞・下柳川・乾川里・蒜川洞

山間に在るもの 檢川里・笛川里・井川里・錦川里・可川里・曲川里・鶴川里・桃川里・月川里・岩川里・漁川洞・荅川洞・沙川洞・月
 川洞・燕川洞・細川村・豐川洞・可伊川・南川橋・防川洞・利川洞
 沿河地に在るもの 道川里・乾川・藥川・銅川・永川・新川里・東川洞・林川洞・深川洞・漁川里・米川・川邊里・長川洞・山川洞・蔡
 川洞・龍川・護國川洞・滄川・北川邊洞・下北川邊洞・上北川邊洞・東川邊洞・梨川洞・川南洞・川西洞・川東洞・价川洞・永川洞・
 東川洞・河回洞・反川洞・漢江・普江里洞・河橋・泥川洞・蘆川里・浙江洞・二松川洞・川前里・輞川洞・松川洞・高川洞・羅川洞・
 眉川洞・九川洞
 臨海地に在るもの 伊川里・鳴川里・大川里・中川里・松川里・竹川里・龍川洞・川傍村・道川洞・斗川洞・伊川洞・沙川洞・松川洞・
 月川洞・新川洞・加川里・漢川村・佛漢川場・麻川里・深川谷・始川里・余川洞・獐川里・廣川里・長川里・柳川里・玉川里・沙川
 里

浦

平地に在るもの 上長浦・下長浦・上虎浦・浦村・白日浦・大乾浦・小泉浦
 山間に在るもの 水清浦・草幕浦・西上浦・西湖菊浦・中雍浦・龍浦・落天浦・源水浦・小泉浦・大泉浦・後浦・乾水浦・中泉浦・下泉
 浦・直米浦・大浦・細洞浦・潛浦・内頭茂浦・外頭茂浦・瑞洞浦・三浦・堀方浦・社門浦・門内浦・過風浦・簡浦・楚漢浦・青石浦・
 上水浦・城水浦・君鶴浦
 沿河地に在るもの 炭浦・興天浦・康寧浦・遠浦・折浦・龍津浦・五浦洞・石榴浦・濕浦・羅山浦・關新浦・裏浦・大也浦・康寧浦・祖
 江浦・麻近浦・羅浦里・西浦里・曲浦里・笏浦洞・長浦里・牛浦洞・艾浦洞・新安浦洞・瑤浦洞・浦里・敏浦洞・龍浦里・南浦里・西
 浦里・浦内里・蘆浦・雲浦・連浦・上浦・中浦・浦内・蔑浦・前浦・后浦・戌灘浦・紫芝浦・上高浪浦・下高浪浦・石浦・大秋浦・梨
 長浦・麻浦
 臨海地に在るもの 洪湖浦・黃魚浦・深浦・淺浦・獨長浦・下梨浦・興草浦・燮浦・麻田浦・斜落浦・小橋浦・旬月浦・古沙浦・小格浦・
 新德浦・元浦里・浦里・麻唐浦里・黑浦里・斗浦里・熊浦里・石浦里・雲浦里・旺浦里・堰浦里・格浦里・馬浦里・火浦里・夢浦里・
 沙浦里・昌浦里・大浦洞・長浦里・安浦里・唐浦里・凌浦里・達浦洞・花浦洞・荏浦里・蛤浦洞・箭浦洞・浦洞・一銅浦洞・石浦・姑
 浦・栗浦洞・浦項洞・泗浦洞・泉浦洞・龍浦洞・鐵浦洞・越浦洞・西浦項洞・鮎浦洞・旭浦洞・月浦里・遠浦洞・鹽浦里・尾浦洞・甘

浦里・牛浦里・石灘浦・釜浦里・金浦・龍塘浦・去來浦・浦洞・項浦洞・藏雲浦・碑石浦・金浦・炭浦・堂浦・沙坂浦・石浦里・石湖浦・箭浦・山項浦・下浦・中浦・上浦・上中浦・花浦・小浦・大浦・紫墳浦・藍浦・道尾浦・尾浦・曳承浦・倉浦・漕浦・馬上浦・德山浦・軍令浦・臥浦・内浦・上所浦・下所浦・阿浦・頭浦・小駕龍浦・駕龍浦・聖日浦・細浦・赤浦・檢浦・田浦・大條浦・島浦・石回洞・用浦・獨津浦・鱒浦・竹山浦・未灘浦・佛堂浦・新浦・盤伊浦・月浦・昇天浦・山伊浦・寅火浦・井浦・木浦・貢浦・虎頭浦・濱長浦

津

灘

平地に在るもの 新灘津・下松灘
 山間に在るもの 上典灘・下典灘・遮灘
 沿河地に在るもの 竹津・熊津・堂串津・臨海津・沙灘里・瀑灘里・長灘・栗灘洞・鷹灘・公須灘里・退灘里・蟹灘・馬灘・梨灘里・栢灘・小多灘・廣灘・鶯梁津
 臨海地に在るもの 鵲津・飛谷津・羅津・西湖津・都津・寒津・漁大津・潤津・楸津・南夕津・大津・露梁津・注文津・廣津里・沙川津里・江門津里・見召津里・南項津里・安仁津里・領津里・魏津・龍塘津・津洞・船津・古津・新津・臨院津・飛谷津・上津洞・芳津・小皮津・楡津・梨津洞・山津洞・板津・加津洞・沙津洞・連津洞・溫大津・南夕津・汝海津・間津・倉津・沙富津・回通津・丁石津・津村・龍秀津・内津・梨津・三斤津・楡津・厚利津・軍津

石・岩・巖

平地に在るもの 城石里・立石里・碑石里・龍石里・筆石里・碑石巨里・廣石洞・石山洞・鷹石洞・碑石洞・立石洞・黑石里・下石里・瓮巖里・帳巖里・廣巖里・漁巖里・大巖里・倉岩洞・立岩里・雲巖里・窟巖里・竹巖里・新巖里・羅巖里・卵巖里・首巖里・德巖里・新巖里・靈巖里・熊巖洞・馬岩・九岩洞・龍巖洞・上九雲石・下九雲石
 山間に在るもの 積石里・石橋里・巨石里・立石里・石山里・石德里・朴石村・黑石里・龜石洞・石隅・鳳石里・九石里・上巨石里・下巨石里・支石里・古石・石旨・莘巖里・龍巖里・花巖里・九巖里・牧巖里・木月巖里・上文巖里・下文巖里・月巖里・陽巖里・白岩洞・釣臺岩・貴岩・馬巖洞・魚巖里・鮎巖里・三岩里・陰巖里・印岩里・塔巖里・船巖洞・廣巖里・朴岩洞・松岩洞・大岩洞・立岩洞・鞏

岩山里・古岩洞
 沿河地に在るもの 石灘里・丁汀里・石泉里・石寺里・下石潭里・小黑石里・新石灘里・石北里・石南里・石上里・支石里・立石里・浮石・三同岩洞・文岩里・貴石・松岩里・儉岩里・文巖里・紅岩里・牛巖里・印岩洞・甌岩洞・龜巖洞・西巖洞・孔岩洞・鳥巖・鷹岩・杜岩洞・鯨岩洞・望岩洞・鳩巖洞・會岩里・東柿岩里
 臨海地に在るもの 白石里・石浦里・石橋里・立石里・帆石洞・九石洞・石堂里・石田里・石門洞・松石里・雷石洞・錦岩里・大岩洞・海岩里・上巖・松巖・幽巖里・檢岩里・月岩里・元岩里・鐘巖里・鳳岩里・南岩里・爭巖洞・赤巖洞・新岩洞・西岩洞・東岩洞・大古岩・中古岩・小古岩・芝岩村・場岩村・鶴岩洞・虎岩里・雌雄岩・文岩洞・笠岩里・七岩里・龍岩部・蘆岩部・藥岩里・上赤岩里・下赤岩里・碎岩里

坪

平地に在るもの 幕坪・沙坪・倉坪・下泉坪・上泉坪・北蒼坪洞・文巖坪・内墟坪・長承坪・盤項坪・新廣坪・長坪洞・中坪洞・新坪里・後坪里・驛坪里・楸坪洞・莘坪里
 山間に在るもの 蓮壘坪・葛鎮坪・北蒼坪・蒼坪・蒼越坪・蒼坪・大地坪・葛坪・間坪・沙器坪・新坪・下松坪・黃坪・溫水坪・長基坪・草坪・仲坪・湯水坪・文略坪・楊柳坪・蓮頭坪・上園坪・下園坪・鷹田坪・十里坪・小沙坪・東京坪・雲坪・春生坪・洗魚坪・龍坪・上蘆坪・下蘆坪・泉坪・長坪・柳坪・斗坪・莎坪・茅坪・楮田坪・新德坪・蘆田坪・陰地坪・柴田坪・消日坪・杏場坪・士養坪・三壘坪・寧城倉坪・西唐坪・東唐坪・長坪・僧沼坪・狸坪・石坪・升坪・畚坪・烏坪・上廣坪・下廣坪・梨坪・南坪・梧坪・漁大坪・松坪・葭城坪
 沿河地に在るもの 春坪・坪村・仕夫坪・岳沙坪・赤瓦坪・間坪・石建坪・鶴城坪・青山坪・鴻雁坪・五里坪・松坪・三花坪・諸善坪・甘草坪・蕨坪・下坪・丹坪・上坪里・下坪里・後坪里・外加坪・松老坪・蘆田坪・頓坪・茅坪・冠坪・下天坪・遮川坪・東溪坪・仲坪・古倉坪・愛新坪・新興坪・春生坪・寶坪・都地坪・下沙坪・中沙坪・上沙坪・水南坪・仲興坪・安興坪・淵坪・梨木坪・廣大坪・新田坪・錢坪・下十里坪・葡坪・文地坪・下蓮坪・泊舟坪・朱坪・西坪洞・蒼坪洞・城坪里・壯坪里・老坪里・倉坪里・華坪里・沙坪里・東坪里・於坪洞・走坪洞・瓦坪里・栢坪里・兔坪里・下汝坪洞・仲坪里・竹坪里・化坪洞・坪村里・宮坪里・丹坪里・桑坪里

臨海地に在るもの 九龍坪・沙坪・草坪・蘆坪・青坪・院坪・開三坪・新坪里・蟬坪里・半扶坪・草坪里・金坪里・大坪洞・院坪洞・上坪里・下坪里・獐坪里・龍坪洞・德坪洞・新坪・柯坪洞・仲坪洞・松坪洞・驛坪洞・下坪部・南坪洞・倉坪洞・坪村洞・間坪洞・蘆坪里・中坪里・坪里・長坪里

德

平地に在るもの 金山德・安春德・信儀德・龍山德・中德・五峯德・大西儀德・勝地德・小西儀德・蓬田德・廣臺德・東谷德・九石德・新峯德・芝草德・寺德・長德・楡德
山間に在るもの 松德・大新德・小新德・在隅德・高飛德・斗邑德伊・造龍德・光彬德・外新德・内新德・福進德・加味德・楸德・綠竹德・先達德・困德・月隱德・將軍德・長財德・防困德・草坪德・古花隅德・兀德・軒水德・仲德・細草德・於倉德・朴山德・梨德・新田德・青山德・方儀德・泉德・風德・皮德・客德・窟德・洞馬德・在隅德・掛德・化豐德・大操德山・敦修德山・伏虎德嶺・葛麻德・飛岩德・富德德・南峰德・虛項德・劉玄德・鳩岩德・羅里德洞・高果德山・杉德・利須德・於倉德・坤長德・上長德・下長德・下青德・烟始德・安問德・山在德・王哥德・石沙德・成朴德・東新德・嶺德・大竹德・九崇德・安哥德・應德嶺・前德・女貞德・月山德・安班德・訓練德・八峯德・風風德・長德・正富德・南德・小月山德・豐舞德・順觀德・中德・八龍德・觀峯德・間城德・小麻德・九十德・外德・金富德・釜山德・長厚德・小竹德・大竹德・梨德・利田德・東德・楊德・梁景德・明堂德・白雲德・南山德・士夫德・長財德・新德・狗伏德・上柯德・下柯德・積俗德・釜德・栢德村・解德・方龍德・造龍德嶺・光彬德・栢哥德・劍德・姜登德・上姜登德・馬場德・楸德・明八德・老士德・士居德・林崇德・果樹德・莎草德村・潤德・明水德・聖人德・新草德村・沈哥德・泉德・正成德・小盤德・千石德・朴山德・金石德・儉岩德・韓水德・果德・新田德・敏期德・政生德・金山德・元德・老松德・察防德・地面德・百日德・兀千德・嶺德・鮑德・前綱德・在德・成石德・峙德・地德・長谷德・馬堪德・獐德・億西德・西火德・黃邊德・佳里德・倉德・霧降德・雍軍德里・廣城德・平安德・間伊德・雲德・屏風德・鳳堂德・生草德・小德・大新德・萬孫德・元守德・煙山德・避難德山・屯德・上新德・下新德・龍歸德・黃錢德・朴足德・上德・坪豐德・燕加德山・内井水德・外井水德・高井水德・柑德・伐德洞・雲德洞・龍岩德・西水德・朱雀菓德・西作德・梨富德・正鐵德・灰麻田德・熊德・麥田德・虎君德・高山德・槽仁德山・雅支德・寺德・烏首德
沿河地に在るもの 二里大西儀德・二里小西儀德・二里仲德・一里葛麻德・三里梨茂德・中德・樺德・敦德・梨茂德・後德・古倉德・柏

基

平地に在るもの 小福基・大福基・場基・新基・鳥拂基・新基洞・論基洞・中基洞・下館基・長基
山間に在るもの 陳基・雲基・館基・福基・陳凡基・大基・新基・南新基・田鳳基・上書基・下書基・漢陽基・加富基・德地基・無時基・新方基・有富基・鳥籠基・孟山基・車基・胡遊基・車哥基・堡基・韓基・千石基・瓦基・泰周基・山竹基・基洞・新基谷・安基洞・院基洞・豐基洞・山基里・伊愛基・肥基・壯子基・道基・都事基
沿河地に在るもの 泰周基・黃基・斤基・新基・古來局基・坦基・猪蠶基・水基・朴光基・市基・間基・新基里・通基里・余基洞・新基洞・沙新基洞・寺基谷・下基里・基洞里・白谷里新基・草谷里新基・石里新基・月基・古來基
臨海地に在るもの 僂商基・竹基・谷山基・古基・漢陽基・書基・鳥拂基・大承基・小承基・新基・雄基・禮迪基・尙伯基・也自基・漢基・浦基村・東基洞・煙基谷・場基・宜基・昆基

伊 (咸鏡道・平安道殊に 寧遠郡地方に多し)

山間に在るもの 加德伊・國三伊・甘接伊・枯木伊・塔巨伊・果哥德伊・斗邑德伊・後德伊・古長伯伊・内巨伊・陰達伊・登在巨伊・三防伊・文岩伊岳・東巨門伊岳・九德伊・阿直加伊・上德伊
沿河地に在るもの 德伊・明石伊・三巨伊・五木伊

九味・口味・邱味・九非・仇俳・口尾

山間に在るもの 徐九味・獨九味基村・鳥口味・樓口尾・沙口尾・戰場口尾

沿河地に在るもの 大九味・艾田九非・地壇九非・下仇俳・上仇俳・金昌仇俳・五仇俳・中仇俳・楸下仇俳・茂昌仇俳・榛仇俳・扭九非・柳九味里・論九味里・汗九味里・楸九味里・地富九味里・北九味里・方九味里・青魚九味里・於隱九味里・皮馬九味里
 臨海地に在るもの 蛤九味・梨口味・小九味・財昌九味・昌九味・池西九味・青魚九味・福德口味・外口味・鯉邱味・馬口味・通九味・猪口味・栗九味・内口味里。

官衙・建築物に関する部落名

平地に在るもの 貞陵里・雪門里・佛堂洞・亭子里・台城里・蓮亭里・南城里・接亭里・鹿院里・陽亭里・竹城洞・土城洞・城下里・天亭里・柳城里・楠亭里・郷校里・陵村・驛上里・驛下里・館隅洞・堂洞・馬場洞・城隍祭洞・上城洞・東城洞・陽城洞・兵營・小館洞・大館洞・江城洞・校洞・弘門洞・陵洞・書堂里・長堂里・槐亭里・掛陵里・古亭里・漁城里・草堂里・上館里・中館里・下館里・臥亭里・校村里・嚴亭里・新城里・防築里・清堂里・仙門里・後宮村・塔洞・里門洞・城隍堂・山境里・塔沼里・城底里・樓底里・官洞・官廳街・碑石里・雪倉里・禾倉里・悟倉里・駕舞院・甫里院・西岳書院・許古院・淡院・仁德院・廣水院・新院
 山間に在るもの 茅亭里・上城里・沙亭里・鳳城里・五亭里・甘城里・鳳亭里・松亭里・龍門里・岩亭里・弓院里・堯城里・錦城里・院豐洞・上縣里・下縣里・上新院里・下新院里・城里・古城里・連堂里・斜亭村・長城村・草門洞・森堡洞・東門洞・雪館里・上本宮・下本宮・院洞村・城隍谷・城隍・明堂洞・城洞・城山洞・馬陵洞・亭洞・馬亭里・内堂里・外堂里・西門洞・襄陵洞・烽臺山・烽洞・遊戯廳・泗水倉・新袋倉・冷倉・北倉里・松倉・外倉・上南倉・上高飛院・下高飛院・老德書院・上細周院・新館院・内院・大平院・大秋院・要路院・財利院
 沿河地に在るもの 松亭里・鳳城里・奉城里・高亭里・德城里・高陵里・高堂里・月亭里・元堂里・竹堂里・大城里・玉城里・花亭里・杏亭里・郷校里・王亭里・金城里・校村里・眞亭里・東城里・南城里・西城里・汶洞・院洞・巴陵里・柳寺里・石寺里・甫城里・廣城里・新城里・古城里・土城洞・新亭里・社稷洞・柳亭山・書堂時・影堂洞・本宮村・書院里・遊臺里・坪城洞・柳寺洞・寺洞・上城橋洞・梅城里・陵谷・山城里・甘城里・薪門里・栗寺里・梅堂・東亭子・西門洞・石城洞・馬院・石院・南亭洞・船所里・社稷洞・守義廳・内倉・東倉・金城倉・守樂倉・都倉・西倉・社倉里・倉里・假倉里・召倉里・倉洞・岐倉・鳳倉里・倉村・藹倉・魚倉・黃水院・山城院・楸木院・朱院・上新院・馬首院・鶴院・石院・平地院・臥柳院・無良院・桐子院・馬院・小洞院・感地院・太廟洞・承門洞。

通化門前・水門洞・内橋・杵橋・新橋・二橋・孝橋・土橋洞・中芳橋・奉常司前・旋門洞・長垣洞・南塘洞・北門洞・紫門洞・内司前・内廳司・備邊司・五官洞・紅門洞・北塘洞・南嶺塔洞・里門洞・思樂橋・松橋・小芳橋・十字橋・武橋・義盈車洞・館前洞・内需司前洞・翰林洞・司倉洞・壯元亭洞・内需司・館後洞・月宮洞・繕工洞・舊巡廳・魚橋・鏡橋洞・京橋・廣濟橋・軍器寺・西小門内洞・新門内・中學橋・典獄前洞・水庫洞・司僕洞・鐵物橋・長橋・舟橋・塔洞・上板橋・下板橋・宮洞・毛橋・儲慶宮洞・寫字廳洞・弘門洞・掌藥院洞・典獄後洞・敦寧洞・吏判洞・長太郎洞・水閣橋洞・青寧樹洞・小廣橋洞・訓練院・漁橋洞・下都監洞・毓祥宮洞・禁橋・惠化門内・宜禧宮洞・片橋・昌城洞・伏車橋・雨傘閣里・小貞陵洞・東廟洞・典農里・杏堂里・瓦署洞・鑄城里・梨泰院洞・萬里倉・賑恤倉・西永庫一契・場内陵洞・平倉・射亭洞・武陵洞
 臨海地に在るもの 佳亭里・官校里・竹亭里・宮村里・金城里・鎮西里・松亭里・錦城里・古城里・右水營・左水營・南亭里・長城洞・羅亭里・大亭里・華亭里・堂社里・侍郎里・堂洞里・龍門里・大社里・雲城里・館城里・浪城里・土城里・南館洞・北館洞・松陵里・上城底里・豐門洞・寺谷・壽陵里・龍城里・漁城里・大學洞・東堂洞・西堂洞・地陵里・大廳里・山城洞・寺洞里・金陵洞・德城洞・良城洞・新亭里・城洞・草堂洞・蘭亭里・元堂里・佛堂里・篤亭里・青陵・官廳里・烽臺里・防築里・城堡里・外西倉・南倉・船倉・舊船倉・大邊倉・西倉里・海倉・石倉里・臺院

站 (平安北道江界・熙川郡地方)

平地に在るもの 水站
 山間に在るもの 直洞初站・直洞中站・直洞上站・新站・内站里・茂棠站・通寺站・回標站・臥雲站・長林站・章興站・後山站・倉坪站・問站・九峰站・開陽站
 沿河地に在るもの 新得站・院豐站・問坪站・馬章站・甘站洞・東山站・門岩站・沙下站・開林站・陰地站・城峴站・漁谷站・柱洞站・朴州站・乾浦站・看山站・仁可海站・梁坡站・可也物站・河上站・河坪站・吉下站・倉站・坪站・亭站・問站・陽站・初站・水占站・館站・馬站・禾旺站・九寒站・大洞站・福洞站・於口站・下城站・上城站・仲坪站・直洞站・新坪站・利切站・東上站・南浦站・草幕站・温下站・温上站・浮庄站・斗塔上站・鸞站・菊花站・卜竹站・方富站・温水站・温於口站・温初站・温中站・金坪站・白土站・京沙站・東口站・左浦站・瑞站・法興站・橋站・木田站・新興站・大站・仲站・觀站・東站・向陽側站・向陽初站・初站・草上站・草中站・草初站・上清站・院站・富饒站・清側站・馬足站・奮站・堂峴站・北坪站・西興站・長隅站・豐德站・陰地站・鸞峰站。

雲興站・天登站・泥岬站・蘆中站・水碓站・茄德站・龍興站・柳院站・洪浦站・前程站・外住站・祖元站・富司站・龍巖站・内住站・道成站・鷹峰站・牛伏站・白雲站・黃境站・院笠站・石山站・鶴舞站・嶺大站・柳中站・鷹岩站・獐項站・菊花站・聖教站・天培站・寶臺站・龍頭站・中站・曲站・永中站・小坪站・下站・箕隱站・廣巖站・草德站・水奕站・永下站・藏芝站・倉站・堡站・長坪洞陽站・鶴洪站・和樂站・串峙站・東沙站・杏古乃站・香山站・寧云站・小巖站・加佐洞下站・方幕站・龍頭站・船沙站・佳藏站・玉泉站・雲鶴站・東上站・番上站・番中站・杏江站・九龍站・淵龍站・如雲下站・鰲巢站・花坪站・華口站・如雲中站・華上站・都峰站・武陵站・唐站・青龍站・堀井站・新倉站・沙岬站・蘆田站・龍島站・瓦站・街上站・場井站・間站・萬和站・墓聖站・龍浦站・龍潭站・鳴牛站・龍峯站・國沙站・都直站・山幕站・間雲站・上坪站・釣波陽站・釣波陰站・紫榮站・平站・新開站・馬轉站・都家站・長坡站・側站・利文站・上間站・下間站・清溪站・署山站・沙下站・論中站・論下站・下雲谷站・泰安站・龍伏站・石澗站・三浦站・碎木站・襄德站・月峰站・鷄鳴站・晚項站・水底站・中央站・中間站・憂日站・東倉站・岐陽站

庄 (咸鏡北道地)

(方に多し)

平地に在るもの 萬家庄・敬庄・園初庄
山間に在るもの 中庄・迎秋庄・西門上庄・西門下庄・紅門庄・南門庄・長城庄・龍坪庄・西洞初庄・西洞中庄・周坡庄・雪館庄・東沙庄・越上庄・越下庄・於口庄・麻德庄・魯洞庄・中庄・上庄・下庄・西庄・陽庄・南上庄・南下庄・柳下庄・水雲庄・高城庄・中興庄・龍水庄・門岩庄・雲水庄・直庄・小德庄・新興庄・大德庄・最香庄・大興庄・南庄・德庄・猪庄洞・良庄洞・巨武所庄
沿河地に在るもの 上庄里・下庄里・雙青堡庄里・於口庄里・吾村庄・堡庄・堡後庄・巖幕庄・唐隈庄・下佳庄・上佳庄・外斌庄・隅斌庄

鎮

堡

(鴨綠江及び豆滿江沿岸地方に多し)

山間に在るもの 古堡・破堡・普天堡・舊新堡
沿河地に在るもの 黃坡鎮・舊鎮・新野坡鎮・滿浦鎮・外貴鎮・從浦鎮・平南鎮・惠山鎮・中江鎮・舊鎮・高山銅・柔院鎮・仁進堡・黃土堡里・舊堡・魚而堡・西馬慶堡・河山堡・自作堡
臨海地に在るもの 釜山鎮・於蘭鎮・義鎮

幕

平地に在るもの 新幕・東幕里・笠幕・幕洞・無愁幕・內幕洞・外幕洞・把撥幕
山間に在るもの 沙器幕・開野幕・倭幕谷・岩廻幕・柯理幕・山幕洞・良板幕・杼幕洞・草幕洞・土幕巨里・間東幕・越東幕・加幕洞
山幕洞・新酒幕・德幕・加枝幕洞・新炭幕
沿河地に在るもの 下主幕・東幕・葛幕・墨幕里・後酒幕・土幕浦・鷹幕・酒幕・孔山幕
臨海地に在るもの 東幕・鉢幕・火幕・野幕・兀幕

道德・信仰に関する部落名

平地に在るもの 吉祥里・三德里・理里・佳德里・隱德里・中德里・壽三里・君臣里・安國里・道德洞・德化洞・安昌里・孔子洞・德興里・德洞・興法・德洞里・蓬萊里・學究洞・重德里・諸寶洞・居安村・下德里・新德里・憂忘洞・德村里・昌德里・寶五里
山間に在るもの 古德里・吉祥里・三豐里・德洞里・任縣里・大德里・理住里・厚德里・孝梯里・美良里・公正里・貢進里・傑生里・新德里・招賢里・德晉洞・長豐洞・生德里・士養坪・興德里・甘德里・壽寧里・東德洞・博士洞・天德洞・福洞・福德源・豐洞・道德洞
蓬萊洞・長興洞・長生村・居士洞・新德村・廣德村・德巨村・孝敬洞・福洞・厚仁洞・逃避村
沿河地に在るもの 長安里・加德里・無愁洞・大德里・佳樂里・上德里・新德里・舊德里・新豐里・仁德里・憂忘洞・豐德里・道安里・德生洞・孝思・九惠里・富興里・弘德洞・富壽峴・孝子洞・保老洞・納德洞・德村・富士洞・豐興里・德雨里・武德里・公德里・君德里・孝橋・養賢洞・道德洞・四賢洞・昌禮洞・保民洞・長興洞・美洞・孝谷・藝洞・五壯洞・卜車橋洞・禮賓洞・彰義洞・祭基里・彌阿里・興禮洞・詩洞
臨海地に在るもの 德巨里・七美洞・德化里・德成里・新德里・壽洞里・德興里・新豐里・應德里・長興里・同樂洞・大學洞・禮啓洞・善和里・忠烈里・德星里・德豐・達孝里・興德里・處士洞・壽山・富洞・德興洞・富興里・今德里・晚吉里・富吉里・道德里・萬聖里・新吉里・君子里・占卜

産業・經濟に關する部落名

平地に在るもの 典農里・炭洞・漁隱里・社倉里・廣鏡里・倉村・府倉洞・營庫洞・鑛店洞・管轄洞・站橋洞・馬場村・舍人場・海倉洞・班市洞・蔘圃洞・店洞・釜堤・倉上里・皆舟里・店里・釜上里・倉内里・玉米里・木薪里・瓮店里・沙店里・甕店里・庫田里・磚洞里・新蔘里・酒蔘里・倉前里・船里・米洞里・漁梁里・中茶里・下茶里・酒洞・鳴蔘洞・倉岩洞・上牧里・下牧里・永酒里・軍糧洞・開倉洞・園里・土店瓦里・曲場・土橋場・南市・土器店・沙器店・山後店・甕店
 山間に在るもの 自作里・場基里・土器店街・藏財里・屯田里・瓦川里・倉泉里・茶谷里・召倉里・倉里・上農里・下農里・倉後里・金倉里・瓦浦里・農事里・水碓洞・典場・倉浦洞・陶店・黑碓洞・直米浦・瓦德・沙器幕谷・鉛店洞・坂幕洞・錢洞・黃錢洞・農村・東新洞・銅店里・鑛店・店谷・瓮店・北倉・新倉洞・釜德洞・舊店洞・舊倉洞・左倉洞・生茶洞・正財洞・發銀洞・場市洞・銀店村・紙蔘村・蔘造里・店村洞・倉里洞・瓦邱洞・舟庫洞・貢進洞・舍人岩・店村・農所里・店洞・鑛錢洞・倉外村・蔘銀谷・鐵店洞・鑛店村・新洞場・朱村後場・朱村前場・内田場・梅場・石場・笠岩場・蟹岩場・新福場・陶店・甕店谷・銅店・銅店嶺・山店德里・沙器店・熊店洞・中店・細巾店・大甕店・黃店里・沙店洞・通店嶺
 沿河地に在るもの 蠶室里・炭洞里・麻造里・碓店里・舟津里・小農里・紙村・新倉街・磚石洞・石炭里・糸豆洞・上店村・下店村・瓦坪里・倉里・庫内里・鉢蔘里・内舟里・外舟里・店洞・馬場洞・金店洞・小倉洞・沙器幕・土店里・酒蔘里里・米廩上新洞・米廩下車洞・農圃洞・藥田中契・藥田契・麵洞・西醬洞・紬麩洞・紬洞・砂器麩洞・米廩洞・鞋廩後洞・鹽洞・昌廩洞・鑛洞・銀洞・粉場洞・布洞・紙匠里・四會場・古場・豐場・古縣場・河清場・時川場・東谷場・旺津場・漢場・球揚里・新場・文岩場・花開場・舟橋場・茂豐場・安城場・青山場市・永山市・大山市・甕店・矢川店・寬巖店・漆店・土店洞・概店・大甕店・石隅店・小新店・桶店
 臨海地に在るもの 海倉里・農陽里・農事谷・酒蔘里里・倉洞・上瓦洞・中瓦洞・下瓦洞・耕田里・店村洞・酒泉里・農村里・酒墳里・米洞・倉里・漁村里・酒廳里・平里場・水魚店・沙器店・甕器店・長城店・牛頭店・陽地魯耕・陰地魯耕。

田・畚・堡

平地に在るもの 屯田里・丹堡洞・竹田里・磯田里・梧田里・薪田里・巖田里・新堡里・於田里・新堡里・玉田里・判堡里・樞田里・營堡里・蘆田里・粉堡洞・於田洞・良田洞・場田洞・薪田洞・麻田洞・花田里・己田里・用田里・菁田里・長田里・松田里・柯田里・庫田里・場堡里・山堡里・黄土堡・中原堡・高陽堡・營堡・斗堡
 山間に在るもの 大田里・勒田里・新堡里・龍田里・法田洞・鳳田洞・花田洞・柳田里・花田里・上竹田里・保田里・樞田里・龍田洞・下堡村・堡田村・荏田洞・葛田洞・新田洞・竹田洞・花田里・豐田里・德田洞・芝田里・大田洞・佛田里・高堡洞・獻堡洞・麻田洞・笠田洞・麻田洞・松田洞・蘆田洞・德田洞・松田里・楊田里・花田洞・瓦堡洞・黃堡洞・干田里・蛾田洞・花田洞・弓堡里・沙田里・竹田里・場堡里・平田里・茅田里・中堡里・坪田里・駕田里・楮田洞・琴堡里・栗田里・寺堡・長水堡・高堡・別陽堡・石堡・拿夫堡・故堡・備堡・上間堡・達田里・荷田里・葛田里・下馬堡・口田里・財田里・麻田項里・瓜田里・朴氏堡里・雲田里・田基洞
 沿河地に在るもの 歸田里・松田里・春田里・大田里・堯田洞・葛田里・麻田洞・葛田里・松田里・坂田里・黃田里・薪田洞・新田里・葛田洞・欣田洞・竹田洞・洞田里・寶田里・長田里・花田里・浦田里・場堡里・旺堡里・新堡里・迷田里・倉堡里・新堡里・塘堡里・樓堡洞・館堡・富昌堡・高作堡・小馬堡・斗安堡・小漢堡・竹堡・上間堡・椿堡・野丁堡・指牛堡・大宮堡・院堡・南山堡・龍富堡・富居堡・富昌堡・水口堡・陵堡洞
 臨海地に在るもの 長田里・鳳田洞・松田里・竹田里・田下洞・霧田里・竹田里・耕田里・梅田里・藥田里・麻田里・屯田洞・田中村・良田里・耕田里・小畚洞・大畚洞・鹽田里・月田洞・艾田里・新田里・大田里・沈田洞・長田洞・沙田洞・石田里・松田里・高堡里・梅田里・新堡里・東堡里・於田里・瓦勿堡里・德堡・淑堡・蛛堡里・屯田洞

姓氏に關する部落名

平地に在るもの 朴哥洞・孫哥洞・孫哥亭・張村・洪村・襄村・盧村・張村洞・崔村・安村・安洞・韓村・車村・康村・鄭村・徐村・南村・郭村・金村・羅村・朴金里・朴氏堡里・陰村・墨洞・梁村里・内唐里・外唐里・張哥洞・朴村・李村・魯村・李氏洞・姜村・劉村・許村・朴洞里・洪洞・趙哥洞・李村洞・趙全里・趙村洞・全村洞・朴丁里・大朴里・朴浦里・洪海村
 山間に在るもの 梁村・高洞・黃洞・姜子洞・車哥基・朴氏堡・大宋哥谷・小宋哥谷・崔哥嶺・許哥洞・卞哥洞・崔哥洞・趙哥洞・魯哥洞・黃哥洞・馮哥洞・姜哥洞・王哥洞・安哥地・嚴氏洞・金氏洞・全村・閔村・蔡村・吳村・成村・高哥洞・沈哥德・朴哥堡・劉哥峰・宋哥洞・白哥洞・韓村・朴氏堡里

沿河地に在るもの 梁村・洪姓坪・金姓洞・申村・襄洞・朴井洞・白洞里・南朴村・一里孟哥洞・車洞里・三姓洞・車村洞・金哥谷・姜哥谷・岡哥洞・劉氏洞・趙氏洞・韓哥洞・楊哥洞・吳哥洞・車哥坪・朴洞・宗村・宋洞・朴哥嶋・章村・表村・柳洞・吳村・任村・黃村・成村・許村・洪村洞・唐村洞・全村洞・趙全洞・元魯洞・龜村洞・金呂洞・俞村洞・齊洞・朱村洞・浩呂洞・趙村洞・張察訪洞・薛氏宋洞・唐人里

臨海地に在るもの 徐村洞・張村洞・白村洞・金村洞・盧村・姜哥洞・徐哥洞・朴哥洞・姜村・曹哥血村・朴下洞・上金洞・禹村・池哥村・南哥洞・張子村・盧村・陳村・柳村・朴上洞・朴中洞・唐浦洞・唐村、(「哥」字を有する里洞は咸鏡道・平南道に多し)

景勝に関する部落名

平地に在るもの 仙遊里・月溪里・鳳鶴里・九龍洞・舞鳳里・舜琴里・鳳鳳里・彈琴里・舞袖洞・歌舞里・月峰里・鳳棲里・月松里・遊山里・清涼里・遇仙里・白鶴洞・江清洞・龍舟里・月岸里・大月里

山間に在るもの 月古里・於鶴里・雲鶴里・鳳鳴里・鶴仙里・雲月里・曲江里・七星里・舞鶴里・金鳳洞・龍沙洞・逍遙里・龍泉里・龍潭洞・鶴浦洞・龍浦洞・煙霞洞・浦月村・清潭洞・君鶴浦・上堂月・下堂月・半月里・月亭里・五龍洞・清溪洞

沿河地に在るもの 月亭里・龍鳳里・鳳峴里・月尾里・龍淵里・水清里・九龍里・月谷里・鶴鳴里・月松里・月良里・華鶴洞・龍浦里・寶鳳里・鳳棲里・玉江洞・泉甘洞・新月里・月來・月通里・花虎洞・曲浦里・月海村・月谷里・神鶴里・桃源里・月浦里・月噤里・月溪里・水月里・仙源里・鳳鳴里・花溪里・龍潭洞

臨海地に在るもの 鶴裏里・新月里・涯月里・龍潭里・秋明里・龍雲里・龍溪里・龍遊洞・龜龍洞・月浦里・龍浦洞・白鶴洞・九龍坪・龍湖洞・九鳳里・明月里・鶴舞洞・龍井里・月峰里・龍潭里・九溪里・鳳鳳里・鳳棲里・龍虎里・半月里・清溪里・月輪里・月弦里・松湖里・幽巖里・七星洞・月洞里

動物に関する部落名

平地に在るもの 虎里洞・鶴里・龍興里・鳳鶴里・龍化里・雙龍里・魚龍洞・九龍洞・龍下里・龍上里・野鶴洞・鶴洞・清鶴里・虎村洞・龍江里・鳳鳳里・新龍里・上魚里・下魚里・烏山里・馬山里・龍宮里・新鶴洞・盤龍里・鳳棲里・上猪山・下猪山・白鶴洞・五龍洞

二鳥峴里・龍虎洞

山間に在るもの 放鶴里・雲鶴里・鳳鳴里・烏洞里・鶴仙里・鳳甲里・勤龍里・龍化洞・金鳳洞・下龍里・龜龍里・龍浦里・鷹德里・龍源里・龍坪里・鷹德里・龍興里・龍會里・青鶴里・龍岩洞・生龍洞・青鶴洞・鳳德洞・鶴浦・尋鳳洞・青龍村・龍巢谷・每鷹洞・鷹德洞・熊洞・四馬洞・龜德洞・馬蹄洞・蜂村・鳳洞・走馬洞・牛馬洞・鷹斗里・鷹坪洞・馬轉洞・青龍洞・牛峴洞・君鶴浦・鶴落里・龍鶴洞・屈魚里・多鶴里・龍洞・鳳鳴里・龍村・回龍里・五龍里・雲龍里・鳳棲里・渴羊洞・回九龍洞・上鳥里・中鳥里・下鳥里・大鳥里・新鳳里・上鳳里・中鳳里・興龍里・巢龍里・雙龍洞

沿河地に在るもの 青馬里・馬龍里・新鳩里・烏洞里・龍洞・龍興里・回龍里・龍洞・馬洞里・鷄鳴里・雁洞里・盤龍里・興龍里・良馬里・龜洞・馬甘里・龜洞・蛤洞・魚橋・大龍洞・九龍洞

臨海地に在るもの 上馬里・馬浦里・牛浦里・龍洞里・三馬里・巨龍里・虎洞里・熊島・牛登里・龍興里・獐島洞・龜龍里・龍化里・鶴島里・龍南洞・龍北洞・龍浦洞・龍坪洞・龍洞・回龍洞・鳥嶺・內嶺島・外嶺島・龍一里・龍五里・鷹島洞・牛毛里・鶴東洞・大鳥洞・上鳥洞・下鳥洞・海鳥洞・上馬島・中馬島・下馬島・馬鳴里・龜洞・龍洞里・牛中里・牛東里・馬洞・中馬洞・舊鶴里・新鶴里・熊浦里・大馬島里・小馬島里・龍洞

植物に関する部落名

平地に在るもの 梧野里・芳木里・月松里・龍禾里・五木里・杏木里・雲里・九林里・冷林里・芳松里・蘆沙里・竹林里・梧蘆里・北枝里・盤松里・楊化里・蓮芝里・東海里・槐巖里・柳亭里・三花里・薪枝里・松陽里・柳樹洞・栢洞・棗木洞・松洞・梨木洞・林村・梨木街・松橋里・蘭洞・三花里・新艾洞・小麻洞・大麻洞・鶴林洞・平艾洞・菊花洞・柳橋洞・栢村・蓬洞・柳洞・林下里・柴木洞・蘆洞・枝洞・盤松洞・林助里・下蓮里・上蓮里・山林里・月林里・道林里・華柳里・銀杏亭里・七木里・杏村・柿木洞・上禾里・下禾里・槐花里・青林洞・盤松里・栗枝里・月松里・梧木洞・草綠洞・桃花洞・竹洞

山間に在るもの 杏村里・愛蓮里・柳坪里・德木里・晚木里・開花里・桃花潭里・楊新里・蘆基里・德林里・梧里洞・花竹里・梨上洞・梨下里・桃李浦里・棠木洞・上草洞・中草洞・花草洞・新楊松洞・羅竹里・下楸洞里・柳洞里・蓬縣里・梨木里・蓮上里・蓮中里・蓮下里・楸洞里・開蓮里・楸洞里・林長里・杉里・佳林里・林洞・五柳洞・檀洞・楊柳村・柳巨里・松林里・下梨洞水南・下梨浦水北

柳洞・多木洞・栢德村・松茸洞・芝蔘洞・松茸洞・桃花水洞・松梨洞・東新洞・梨洞・栗洞・楡洞里・蓮花洞・松島・梨花洞・楸洞・内楸洞・上梨木・下梨木・楡木洞・桃花洞・細松里・上蓬洞・下蓬洞・紅樹洞・大楸洞里・小楸洞里・嚴木洞・楡洞・松洞・草木洞・蓮花洞・竹上洞・竹中洞・竹下洞・蓮坪洞・栢子洞・皮木洞・五花洞・三梗洞・櫛洞・栗木洞・草左洞・項林洞・山杏洞・草木洞・鐵竹洞・松洞里・草直里・白蓮里・松連里・柯檀洞・香楡洞・梨木洞・若菜洞・桂花洞・榛洞・杜霧洞・梨木洞・桃元洞・葛洞・梧里洞・上竹洞・下竹洞・翠松里・花柯里・大草里・上竹里・下竹里・梧里・盤松里・栗里・梨木里・新茅里・大木洞・柳坪里・柳木里・桃花洞・三花洞・松柯里・松蘿洞・柳上里・柳中里・柳下里・榛村里

沿河地に在るもの 三栗里・初果里・傍花里・開花里・栢岩里・楊澤里・桑坪里・梧杏里・丹芝里・蘆洞里・松内里・平林里・柳等里・外松里・内松里・長梅里・大松里・北松里・蓮上洞・東草洞・柳草洞・楸洞・梨松洞・柳草洞・柳洞里・杏洞里・柳北里・柳南里・官柳洞・柳洞里・栗木洞・杏洞里・柳洞里・新草里・柳坊洞・蒲柳洞・柳陽洞・新葛洞・小梅洞・大梅洞・蘆洞・艾浦洞・五楊洞・蘆木洞・梅庄洞・蘆花洞・江林洞・桃花里・柳洞里・柳青里・東林洞・三槐洞・竹林洞・蓮花里・夢松里・鶴林里・木果里・槐洞・芳竹里・細柳里・松岩里・蘆洞里・七松里・薪洞・上松里・下松里・小松里・茅洞・竹活里・下木里・竹洞・小竹里・梨木・竹林・上梧里・下梧里・梧松里・木金里・東栢岩里・麻東里・麻西里・柯梓洞・葛村・梨橋・松木洞・海洞・銀杏洞・杏花洞・芹洞・倭松洞・桃洞・椎洞・上茶洞・中茶洞・下茶洞・麻洞・棗洞・桑木洞・芋洞・雙林洞・椒洞・大山林洞・山林洞・草洞・桂洞・梨花亭洞・大松井・漆木洞・栗園・七槐洞・桃花内洞・大棗洞・麻根洞・白蓮洞

臨海地に在るもの 木内里・草芝里・玉蓮里・草元芝里・松麻里・三花里・蘭芝島里・草落島里・傑梅里・大草里・五林里・茅島里・草江里・竹島里・梨津里・蓮花里・坪林里・荏浦里・雷林里・蓮橋里・龍林里・蓮興里・桑麻里・柯坪里・梨岩里・蘆坪里・松新洞・花龍洞・梨橋洞・上松洞・松興洞・竹里・梨隅洞・蘆洞・桃洞・桑麻洞・孤松街・上栗里・中栗里・下栗里・栗洞・竹洞・梅花里・柳林里・鷹林里・梅松里・麻洞・藪里・柿木里・五柳里・松上洞・松下洞・松浪洞・桃木里・竹青里・草上里・草中里・草下里・草坪里・果木里・蓮花里・上柳里・下柳里・新林里・竹林里・芹洞・蓮洞・竹洞・杏洞・蘇洞・枳洞・樹洞・内竹里・小竹里・栗里・大竹里・木上里・木中里・木下里・銀杏里・大草里・三花里・内花里・外花里・上草里・下草里・内松里・外松里・竹洞・蘆洞・栗村里・梨木里

形容に關する部落名

平地に在るもの 牛耳里・伏龍里・鷲岩里・泰山里・牛角洞・伏龍里・琴山里・鉢山洞・琴峴・鳳頭洞・冠洞・鉢山里・鳳頭里・龍頭里・子抱里・上鉢里・下鉢里・馬頭里・山頭開・龍頭里

山間に在るもの 鳳頭洞・臥龍洞・頭龍洞・龍頭里・馬首洞・鳩項里

沿河地に在るもの 臥龍里・牛頭里・鳥項里・首面里・内猪項里・外猪項里・上羊魚頭・下羊魚頭

臨海地に在るもの 獐項里・馬項里・背魚窟・龍頭里・牛形里・龜沒洞・臥龍・龍嶺里

第三節 地名の變遷

「東國郡縣沿革表」を見ると、朝鮮に於ける郡縣改廢の跡を明らかにすることが出来るが、『文獻備考』にも『記以方言吏語雜行名號之厯亂甚矣』とあるが如く、朝鮮古代地名の讀法は音訓種々に用ひられ、難解のものが頗る多く、これが變更に當つても一様でない。新羅の第三十五世景德王は新羅中興の祖と言はれ、漸次衰へつ、あつた王權の回復に志し、國內の行政區劃を改め、國內を九州に大分し、更に之を五小京、百十七郡・二百九十三縣に細別したが、此の時地名も従つて一齊に變更され、『三國史記』は、舊名及び改名を明記して居るので、當時に於ける地名變更を研究するには最も都合がよい。金澤庄三郎博士は據れば、この當時の地名改稱には、

(一)舊地名を類似音の好字に改めたるもの、(二)舊地名に音讀せるもの、義譯、(三)舊地名に訓讀せるもの、義譯、及び(四)舊地名に訓讀せるもの、義譯があることを述べて居る。今同博士が、明治四十五年四月の「朝鮮總督府月報」誌上に掲載された「日鮮古代地名の研究」中より、其の例證を示すと次の如くなつて居る。

(1) 舊地名と類音の好字に改めたるもの

眞寶縣 (Chinpo)	本 深巴火 (Simp'ha)	禦海縣 (Ōmo)	本 陰 達 (Ūm)
嘉善縣 (Ka-syon)	本 加害縣 (Ka-hai)	道安縣 (Toan)	本 刀良縣 (Toryan)
道同縣 (Totong)	本 刀冬火 (Totong)	嘉善縣 (Kashu)	本 加主火 (Kachyu)
壽同縣 (Shutong)	本 新同火 (Satong)	金地縣 (Kinch'i)	本 仇 知 (T'uch'i)
地育縣 (Chiyuk)	本 知 六 (Chiryuk)	同福縣 (Tongpuk)	本 豆夫只 (Tupuchi)
務安縣 (Muan)	本 勿阿兮 (Mura)	積利縣 (Chyōkri)	本 赤里忽 (Chyōkri)

(2) 舊地名に音讀せるもの、義譯

兎山縣	本 烏斯含達 (Osākantar)	三陟縣	本 悉 直 (Sirchik)
冠文縣	本 高思曷伊 (Kasākari)	淸風縣	本 沙熱伊 (Sayōri)
翊谿縣	本 於支谷 (Ochi-thau)	泗水縣	本 史勿縣 (Sā-nur)
松峴縣	本 夫斯波衣 (Pusāphau)	松山縣	本 夫斯達 (Pusātar)
海曲縣	本 波 且 (Phatan)	鉛城縣	本 乃伊忽 (Naimurhar)

(3) 舊地名に訓讀せるもの、義譯

比屋縣	本 阿火屋 (A-pur-ok)	高丘縣	本 仇 火 (Ku-pur)
-----	------------------	-----	----------------

餘善縣

本 南 内 (Nan-an)

金壤縣

本 休 壤 (Sui-yang)

密津縣

本 推 浦 (Mir-pho)

雲峰縣

本 母 山 (Ūmi-san)

陰峰縣

本 牙 達 (Ūn-tar)

翰山縣

本 大 山 (Han-san)

尤も地名の變更は、必ずしもこれ等の如く規則だつた方法に依つたものばかりではなく、舊地名の音訓何れにも關係なくして改められたものがあり、殊に別名を以て置きかへられたものも尠くないこと、思はれる。郡縣名には三國時代より高麗・李朝時代の各時代毎に其の名稱を改めて居るものと、一たび行はれた改稱後永く其の名を變へないで續いて來たものがある。例へば高句麗の述爾忽縣(爾一作彌一)は新羅時代に峰城縣となり、高麗で瑞原縣、李朝で坡州となつた。百濟の熱也山縣は、新羅・高麗・李朝を通じて尼山縣であり、新羅の永同郡は高麗・李朝を通じて矢張り永同縣と稱して居る。

最近に於ては、日韓併合後、地方制度の改正に依りて、郡面の廢合が盛んに行はれ、明治四十五年一月一日現在の郡三百十七、面四千三百五十一(明治四十三年新官制實施當時の現在数は四千三百九十二)であつたものが、昭和八年一月一日現在では郡島二百二十、邑面二千四百四十六に減じて居り、これが爲めに舊郡・面名の失はれたものが尠くないが、これと同様に、多くの里洞が合併して一里洞を成して居り、例へば、全羅北道全州郡參禮面の參禮里は、もと同郡昌徳面の新后里・上后里・西余里・舊酒里・上酒里・中酒里・萬頃里・馬川里・安座里・新安里・下白里・加仁里の各

全部、及び東余里・西新里・大川里・舊金里・益山郡豆村面鷄淵里の各一部の十七里洞を合併したものであり、益山郡金馬面東古都里は、もとの十九里洞に跨つて居る。尤も北鮮地方の一部等には地勢、戸口、其の他の關係から、一里洞が分裂して二里洞を構成し、其の結果、總里洞數に於て増加を示したやうな特例もあるが、一般に數個の里洞から一里洞を構成したものが多く、爲めに里洞數に於ても、其の當時六萬二千五百三十二(明治四新官制實施當時の現在數は六萬三千八百四十五)であつたものが、昭和八年一月一日現在では二萬八千三百三十六に激減して居るので、舊里洞名の失はれたものは實に多きに上つて居る。またこれと同時に里洞名の様々なる變更が行はれて居るのは、特に注意を要する點である。併合後に於ける里洞名の參考資料としては、明治四十五年一月一日現在に依り、朝鮮總督府道・府・郡・面及び洞里の名稱を輯録した「地方行政區域名稱一覽」があり、里洞廢合の實際を表示したものに、「新舊對稱朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽」があり、當時の里洞名中には、現在の如く、里或は洞を附したるものは勿論多かつたが、これ等の外に、里洞の字を附して居ないものも各地にあつた。例へば佐夫川(當時の慶尙南道固城郡葡萄面)・駕龍浦(同上)・上雲岩(當時の全羅南道鎭昌平郡大面)・内文峙(當時の全羅南道鎭昌平郡德面)・大墨申(當時の黃海道白川郡石山面)・杜音坊(當時の黃海道白川郡雲山面)・板幕站(平安北道江界郡龍林面)等の如くである。また下里漁遊池洞(咸鏡南道安邊郡永豐面)・二里上富坪洞(同上衛益面)・二里公須田洞(同上茅峙面)・鶴橋稼美洞(當時の黃海道白川郡角山面)等頗る長いものもあり、單に面内の里洞全部を數字を以て表したるものもあつた。例へば咸鏡北道茂山郡の邑面に於ては、洞里の數十八あるを以て、一洞より順次十八洞までとし、下東面は九あるを以て、一洞より九洞まで、上面は十六あるを以て、一洞より十六洞まで、延面は十

五あるを以て、一洞より十五洞まで順を逐ひて命名せられて居る。

里洞名の變更には種々あつて、單に洞の語を里に改めたものや、里を洞に改めたもの、洞に里を重ねたるもの、里又は洞がなかつたのに里或は洞の語を附したるもの、村に里を重ねたもの、村に洞を重ねたもの、村が里に改められたもの等があり、上長田(當時の全羅南道寶城郡福内面)が上長里、下津項(同上)が下津里、龍池登(當時の全羅南道寶城郡彌力面)が龍池里、牛臥谷(同上)が牛臥里、五道峙(當時の全羅南道寶城郡榮於面)が五道里、皇風亭(當時の全羅北道鎭山郡南一面)が皇風里、沙器所(同上)が士基里と改められた如きも處々に見られ、これ等は或は田・項・登・谷・峙等の如き地形を示して居る語辭、或は亭の如き交通に關する意味を有つ語辭、或は所の如き工業に關する意味を有つ語辭が消え失せた例であるが、これと類似の地名變更が廣きに亙つて行はれたことは、尠くとも地理研究に當つては非常な障害を與へて居り、特に當時地方に於ける心なき俗吏の手に依りて、部落と最も密接なる關係を有する由緒深き地名が無雜作に捨てられて、何等緣故なき無意味の地名に改められたことは、歴史に富む古建築の廢棄と同様に遺憾の至りである。

二個乃至十數個の里洞の合併が行はれる場合、これ等里洞名中に見ざる、全く新しい呼稱を附したるものも勿論多く、例へば京畿道安城郡大徳面竹里は、もと安城郡竹村面の敦里・堂里及び外坪一部が合併して出來たものであり、全羅南道寶城郡文徳面龍岩里は、もと寶城郡文田面の可川里・栗里及び長洞里一部が合併して名づけられた呼稱である。また合併されたる舊里洞名中の一里洞名を採りて、其の儘新里洞名としたものや、舊里

洞名中の語より其の一部分宛を抽出して、新里洞名が出来上つたものも非常に多い。更に舊地名を同音若くは類似音の異字に改めたものも多く見られる處であるが、これ亦上場里が上長里、沙器所が士基里となり、場基が章基となつたりして、地名の考説には妨げをなすことが往々ある。と同時に現在の地名を見るに當つても唯單に漢字の字義のみに依りて解釋することが妥當でないことを物語つて居る。里洞名は併合後のみに就きて見ると、一つの地名が屢々改廢され、例へば明治四十五年一月一日現在の地方行政區域名稱一覽では、黃海道白川郡は、三百十五洞里であつたが、大正二年十月二十九日告示第二十四號を以て、里洞の區域を變更して九十五洞里に激減せしめ、これと同時に從來の呼稱を改めて一里・二里・上一里・下一里・中一里・中二里等、全部上中及び數字のみを以て里洞名を作つて居たが、現在では或は以前の地名を復活させ、或は以前の洞里と關係あるものを用ふるに至つた。(當時の延安郡と合併し、て現在延白郡と云ふ) また前に茂山郡に就いて、數字を以て舊地に置き替へた例を擧げたが、これも現在では總べて改廢されて居る。また徒らに長い里洞名も今では概ね改められ、朝鮮に於ける里洞名は大體に於て三字を以て落付いて居る。唯都會地に在つて内地人の多く入り込んで居る處では、よく町の語が使用され、京町・錦町・港町・柳町・倭城臺町・長谷川町等、長短不揃ひのものもある。而してこれ等内地流の呼稱たる町の語を用ひたもの、内にも、何等かの縁故を辿つて命名されたものが相當に多く、京城に於ける練兵町・古市町の如き命名、及び舊名の鑄字洞を壽町、銅峴を黃金町と改めたる如きを例に擧げ得べく、また花房町・竹添町・兼二浦・長谷川町等の如き縁故深き公使又は將軍等の姓名を取りて命名としたものもある。内地人の鮮内移住者は、主として都會地に住んで居るが、農業または漁業を目的として、朝鮮内の地方農村若くは臨海地に移住して生活して居るものも多く、これ等内地人移民部落の名稱にも、山形縣人を以て構成せられた全羅北道沃溝郡米面山北里の山形村及び新山形村(何れも農、業部落)、廣島縣人を以て構成せる慶尙南道統營郡山陽面美修里の廣島村(漁業部落)、岡山縣人を以て組織せる慶尙南道統營郡山陽面道南里の岡山村、廣島縣人湯淺凡平に因める慶尙南道密陽郡上南面禮林里湯淺村の如きがある。各地に在る洋村・支那町・唐人里・唐村里の如きは、外國人の集團居住せる所よりいつとはなく呼び馴れて來た部落名稱である。

舊里洞名と同音若くは類似音の異字に改めたるもの

改稱	開○堀○	楊○門○	杜○居○	福○網○	三○田○	法○塘○	石○化○	安○洞○	龜○洞○
地名	開○堀○里	楊○門○里	杜○居○里	福○網○里	三○田○里	法○塘○里	石○化○里	安○洞○里	龜○洞○里
改稱前	介○丹○	陽○文○	杜○巨○	福○岡○	三○典○	法○堂○	石○花○	安○鳳○	龜○洞○
所在地	京畿道竹山郡府一面	忠清北道報恩郡西尼面	京畿道竹山郡北二面	京畿道安城郡居谷面	京畿道安城郡于谷里	京畿道水原郡葛潭面	京畿道水原郡台村面	京畿道水原郡台村面	京畿道水原郡台村面

水隱粉塔本
洞○洞○洞○洞○洞○
里○里○里○里○里○

水隱粉塔本
洞○洞○洞○洞○洞○

京畿道果川郡下北面
忠清北道清州郡東州内面
全羅北道泰仁郡西村面
全羅南道靈光郡六昌面
全羅南道靈光郡馬村面

九鳳東東明
山棲薪倉岩
洞○洞○洞○洞○洞○

九鳳東東明
山棲薪倉岩
里○里○里○里○里○

平安北道鐵山郡柏梁面
平安北道鐵山郡雲山面
咸鏡南道甲山郡雲興面
咸鏡南道甲山郡雲興面
全羅南道靈光郡六昌面

洞に里を重ねたるもの

光亭方屯防
石大背堡築
里○里○里○里○里○

光亭方屯防
石大背堡築
洞○洞○洞○洞○洞○

京畿道安城郡德谷面
京畿道安山郡北方面
京畿道果川郡上北面
忠清南道公州郡益口谷面
忠清南道連山郡食汙面

里を洞に改めたるもの

洞を里に改めたるもの

新虎○加牛孝珍○上駕○奉奉丑靈子○楊東新新月云○豐○佳○
盛○頭 福○家○門○庄○長○岩 基○棲○庄○九○抱 亭○化○基○基○岩○觀 舞 庄
里 洞 洞 洞 洞 洞 里 里 洞 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 洞

新胡○加牛孝陣○上加○奉奉丑靈自○楊東新新月雲○楓○可○
成○頭 ト○加○文○長○場○岩 已○西○長○龜○抱 華○起○企○岸○觀 舞 庄
里 洞 洞 洞 洞 洞 里 里 洞 里 里 村 谷 丁○里 里 里 里 里 洞 洞

京畿道水原郡玄巖面
京畿道金浦郡古縣内面
忠清北道報恩郡思角面
忠清北道報恩郡山内面
忠清北道報恩郡山内面
忠清北道報恩郡朱城面
忠清北道報恩郡山外面
忠清北道永同郡南一面
全羅南道寶城郡白也面
全羅南道寶城郡蘆洞面
全羅南道靈光郡元山面
全羅南道靈光郡六昌面
全羅南道靈光郡古上面
全羅南道寶城郡南下面
慶尙南道蔚山郡内廂面
慶尙南道蔚山郡下府面
慶尙南道蔚山郡江東面
慶尙南道昌寧郡城上洞
慶尙南道龍南郡閑山面
咸鏡南道三水郡邑 面

里を附して里洞名としたるもの

新沙谷	新沙谷	京畿道安城郡晚谷面
銅谷	銅谷	京畿道安城郡北里面
松亭	松亭	忠清北道黃澗郡梅下面
九井	九井	忠清北道黃澗郡上村面
		全羅北道泰仁郡仁谷面

洞を附して里洞名としたるもの

九梅谷	九梅谷	京畿道安城郡晚谷面
禮谷	禮谷	慶尙南道山淸郡車峴面
昌坪	昌坪	慶尙南道山淸郡黃山面
昌坪	昌坪	慶尙南道居昌郡川内面
地境	地境	慶尙南道居昌郡高梯面

村に里を重ねたるもの

龍前村	龍前村	全羅南道靈光郡六昌面
南前村	南前村	全羅南道靈光郡佛甲面
儀南村	儀南村	全羅南道靈光郡佛甲面
坪儀村	坪儀村	全羅南道靈光郡馬村面
		全羅南道寶城郡彌力面

村に洞を重ねたるもの

中倉村	中倉村	慶尙南道山淸郡章谷面
東倉村	東倉村	慶尙南道山淸郡金萬面
茂東村	茂東村	慶尙南道宜寧郡上井面
校茂村	校茂村	慶尙南道居昌郡古川面
		慶尙南道居昌郡加皆面

村を里に改めたるもの

中倉村	中倉村	京畿道安城郡見乃面
東倉村	東倉村	忠清北道淸州郡山外一面
茂東村	茂東村	全羅南道寶城郡彌力面
校茂村	校茂村	全羅南道寶城郡蘆洞面
		全羅南道靈光郡六昌面

舊里洞名中の一里洞名を探りて其の儘新里洞名としたるもの

改稱洞名

京畿道坡州郡條里面竹院里

忠清北道槐山郡延豐面柳下里

忠清南道大田郡九則面金灘里

全羅北道全州郡紆東面菴山里

全羅南道和順郡清豐面白雲里

全羅南道和順郡清豐面白雲里

坡州郡條里面竹院里・嶺山里・高陽郡沙里大面總門里・芝英里・交河郡支石里・縣内面金陵里各一部

延豐郡縣内面柳下里、及び柳中里・梧水洞・積谷洞各一部

懷德郡九則面金灘里、及び公州郡鳴灘面新東里一部

全州郡紆東面鳳岩里・新下里・山亭里・山舟里・明洞里・新菴里、及び龍岩里・菴山里・竹洞里・九伏里・鳳翔面九亭里各一部

綾州郡新豐面白雲里・伏龍村

慶尙北道永川郡新村面竹田洞
慶尙南道統營郡一運面長坪里
黄海道谷山郡清溪面青松里
平安南道成川郡通仙面德岩里
平安北道泰川郡南面新岩洞
江原道杆城郡高城面松峴里
咸鏡南道高原郡下鉢面湖坪里
咸鏡北道富寧郡下茂山面盧通洞

新寧郡新村面竹田洞・稷堂洞・蓮池洞・所逸洞(一名小日洞)
巨濟郡一運面長坪里・淵谷里
青松里・卦田里
成川郡仁山面德岩里・泉谷面新溪里各一部
新岩洞、及び鶴林洞・三峯洞各一部
高城郡安昌面地境里・松峴里・九川洞
高原郡下鉢面湖坪里・文潮里・興坪里各一部
清津府下茂山面盧通洞・廣岩洞・烟臺洞

舊里洞名中の一部宛を採りて新里洞名を作り上げたもの

改稱洞名	舊里	洞
京畿道始興郡君子面城谷里	安山郡瓦里面茂谷洞・城頭里	
忠清北道清州郡米院面雲岩里	清州郡山内二上面窟岩里・雲東里・雲西里・引風里・埜田里・馬項里・華川里・玉湖里・報恩郡朱城面鳳凰里一部	
忠清南道公州郡新下面清興里	新興里・三清洞・明德里、及び武陵里・旺大里各一部	
全羅北道益山郡北一面於陽里	益山郡北一面陽池里、及び於串里・弓洞・東一面新良里・龍飛里・豆川面松亭里各一部	
全羅南道谷城郡石谷面芳松里	谷城郡石谷面花汀里・芳洲洞・上松里及び龍珠里・下松里各一部	
慶尙北道義城郡點谷面西邊洞	義城郡點谷面西基洞・西臺洞、及び東邊洞・西後洞・西前洞各一部	
慶尙南道泗川郡邑東面嶺山里	泗川郡東面嶺川洞・埜山洞、及び伏象洞一部	
黄海道長淵郡侯南面谷井里	長淵郡侯仙面東谷洞・西谷洞、及び古井洞・撐石洞・浦頭洞各一部	
平安南道順川郡殷山面伊幸里	縣内面幸坪洞、及び鎮江河洞・伊倉洞・城内面礪溪洞・楓田面黃鶴洞各一部	
江原道伊川郡古味吞面龍金里	金坪里・龍淵洞里	

咸鏡南道德源郡内面三越里
咸鏡北道鏡城郡龍城面龍鄉洞

元山府内面三埜洞・水越洞
龍湖洞・都郷洞

備考 以上の記述及び表は、調査の都合上併合後大正五・六年迄の行政區劃に據りたる爲め、現在のものと區劃名稱を異にするものあり。

尙ほ現在の里洞名を見るに、其の語尾に里の語を附するものが多く、洞の語尾を有するものは左表に示した地方に過ぎなくなつて居るが、京城を始め、木浦・群山・新義州・元山・清津の如き市街地に在つては、内地流の「町」の語尾を有するものと其に、洞を用ひたるものが多く、里の名稱のつくものが少い。

里洞名の語尾に洞を附したる地方

道名	府	郡	島
京畿道	京城府(過半)		
忠清北道	忠州郡(部)・清州邑(部)		
全羅北道	群山府(新興洞のみ)		
全羅南道	木浦府(六箇洞のみ)		
慶尙北道	達城郡・慶山郡・永川郡・盈徳郡・英陽郡・青松郡・安東郡・義城郡・軍威郡・漆谷郡・星州郡・高靈郡・清道郡・善山郡・鬱陵島(全部)	醴泉郡(大)・迎日郡・金泉郡(過半)・榮州郡(洞を用ふ)	
慶尙南道	釜山府(二箇洞)・馬山府(二箇洞)・宜寧郡(宜寧面に三箇洞)・咸安郡(咸安面に二箇洞)・昌寧郡(昌寧面に四箇洞)・密陽郡(密陽邑に二箇洞)	蔚山郡(蔚山邑)・東萊郡(東萊邑)・固城郡(固城面に一箇洞)・泗川郡(泗川面に一箇洞)	
		蔚山郡(蔚山邑)・東萊郡(東萊邑)・固城郡(固城面に一箇洞)・泗川郡(泗川面に一箇洞)	

第二章 聚落の名稱

朝鮮の聚落 (前篇)

平安北道 郡(南海面)・河東郡(河東面に邑内)・山清郡(山清面)・咸陽郡(咸陽面)・兵昌郡(兵昌面)・陝川郡(陝川面に邑ある)
 新義州府(三箇洞あるのみ)・義州郡・龜城郡・泰川郡・雲山郡・熙川郡・寧邊郡・博川郡・定州郡・宣川郡・鐵山郡・龍川郡・朔州郡・昌城郡・碧潼郡・楚山郡・渭原郡・江界郡・慈城郡・厚昌郡(以上)
 元山府(一) 清津府(新岩洞浦項)・鏡城郡(大)・明川郡・吉州郡(全)・城津郡(大)・富寧郡・茂山郡・會寧郡・鍾城郡・穩城郡・慶源郡・慶興郡(以上)

町の語尾を用ふる地方

道名

府

郡

島

京城畿道 京城府(一)・仁川府(大)・開城府(全)
 忠清北道 清州郡(清州邑)・忠州郡(忠州邑)
 忠清南道 公州郡(公州邑)・大田郡(大田邑)・論山郡(江景邑全部、論山面の一部)
 全羅北道 群山府(大)・全州郡(全州邑)
 全羅南道 木浦府(大)・光州郡(光州邑)・順天郡(順天邑)・海南郡(海南面)・羅州郡(羅州邑)
 慶尙北道 大邱府(全)・金泉郡(金泉邑)
 慶尙南道 釜山府(大)・馬山府(大)・晋州郡(晋州邑)・昌原郡(鎮海邑)・統營郡(統營邑)
 黄海道 海州郡(海州邑)・黄州郡(兼二浦邑)

平安南道 平壤府(一)・鎮南浦府(一)
 平安北道 新義州府(大)
 江原道 江陵郡(江陵邑)・元山府(過半)
 咸鏡南道 清津府(大)・鏡城郡(羅南邑)・城津郡(城津邑)
 咸鏡北道

第三章 聚落の種類

第一節 位置に依る分類

聚落の位置は千差萬別であるが、その市街地附近に位置せるもの、臨海地に位置せるもの、沿河地に位置せるもの、山間部に位置せるもの等によりて、その分布・大小・發達・産業・生活等に、それ／＼異りたる特色がある。今試みに各種の位置に構成されたる聚落に就き數種の實例を示し、以て聚落と位置との關係の密接なる理由を明かにして見よう。

京城近郊の小市街 (京畿道高陽郡蘆島面蘆島)

京城近郊には往十里・清涼里・麻浦・西氷庫等の小市街地があるが、蘆島は京城府の東四軒の處に在る小市街である。京城市街の中央を貫きて東流せる清溪川は、箭串里東側に於て漢川に合し、北一・五軒の處を西南に流れて漢江に注ぎ、京城光熙門より往十里を過ぎて利川・江陵に通ずる自動車道路は、北一軒餘の處を東に向ひて走り、また京城驛より元山に至る京元線は、圖中新村里を經、漢川右岸に沿ひて北走し抱川郡・漣川郡に入る。蘆島の南側は即ち漢江右岸に臨み、江原道の森林地帯より舟運に依りて下り來る薪炭は、この地に於て陸上げせられ、また一岸出船の渡場があつて、始興郡に通じて居る。北は一面畑地をなし、林檎其の他の果

樹園あり、蔬菜の栽培が行はれ、陸上げされたる薪炭と共に京城の市街に供給し、大都會附近の聚落としての

特色を有して居る。京城水道の水源地は西端にあり、轟島面事

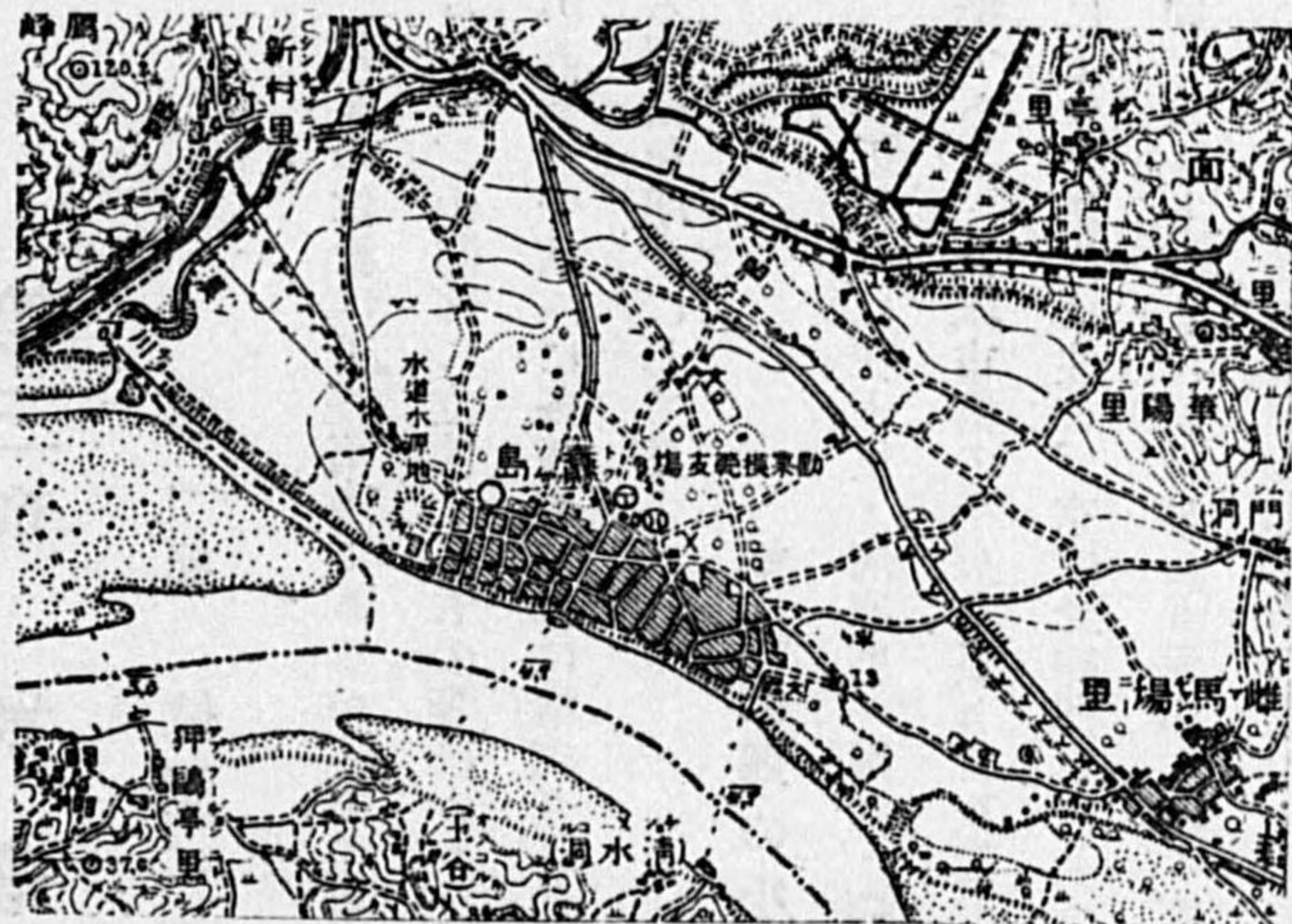
務所・普通學校・警察官駐在所等が置かれ、内地人四一戸、二

〇三人、朝鮮人九二三戸、五、三九七人、支那人一戸、六人、

計九六五戸、五、六〇六人である。

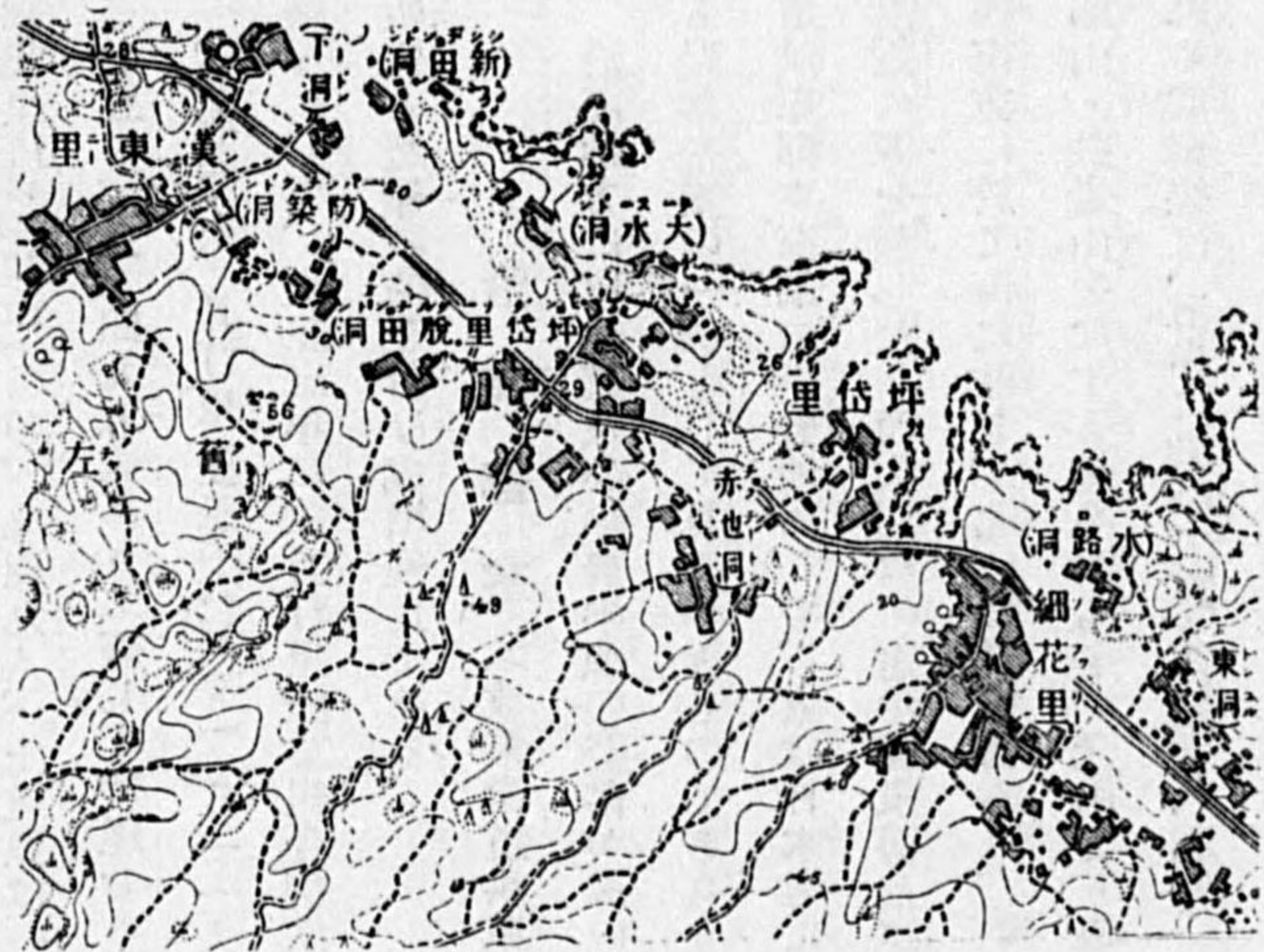
平壤附近の村落（平安南道大同郡南串面地方）

大平壤を中心として附近には小市街が發達しつゝ、あるが、南串面地方は都市近郊の村落としての特色を有して居る。平安南道寧遠郡小白面より出でたる大同江は、妙高山地帯の岩山重疊する處を鑿流し、途中、社倉里・寧遠・徳川の各地を過ぎて南走し、仁川・慈山附近に至るや、地勢漸く開け、樂浪準平原に出で、始めて溶々たる大河となる。大同郡南串面は、この大同江左岸の樂浪準平原中に在り、中和郡古生陽面より出で、西北に向へる昆陽江は、この面の南境界を曲流西走して大同江に注ぎ、附近一帯土地最も肥沃で、古くより農業よく開け、粟の生



（一分萬五）島轟面島轟郡陽高道畿京

産多く、而かも僅か東四籽の處には大需要地としての西鮮の雄都平壤市街を控え、糞尿・汚物・蘆芥等は潤澤に得られて肥料其の他に供することが出来るので、甘藷・大根・白菜・葱・其の他の蔬菜類の栽培が最もよく行はれ、全鮮有数の蔬菜栽培地として著名であるが、また養鶏・養豚も盛んで、養豚の指導部落に指定されて居るところもある。この地方はもと樂浪郡に屬し、樂浪郡治所のありたる大同江面土城里は東約三籽にして、當時の遺跡たる古墳は樂浪郡治址を中心として其の數夥しく、圖中長梅里蘆梅洞の西北、大梅洞の西側、小梅洞の周圍、長洞の東方にも點々散在し、往昔の面影を偲ばせて居る。各部落の戸口數を示せば、南串面長梅里は一八五戸、九六九人、猿岩里は内地人二戸、五人、朝鮮人一四一戸、六八五人、計一四三戸、六九〇人、龍浦里は一一二戸、五七一人、大松里は一〇四戸、五三七人、魯南里は一四六戸、八五八人、孝南里は内地人三戸、朝鮮一三三戸、七〇〇人、計一三六戸、七〇六人、坪湖里は八六戸、四六〇人、月内里は一四七戸、七七八人、鯉新里は六九戸、三八〇人、小耳島里は一八戸、六三四人、古平面文發里は一八戸、四四四人、長光里は七〇戸、四二八人、望日里は九三戸、五〇〇人、大同江面斗團里は一二五戸、七三六人、中和郡唐井面松塙里は九四戸、五〇九人、陽羅里は一一一戸、五八七人、積善里は七九戸、四七五人、間里は五〇戸、二七二人、儉岩里は一一一戸、六三九人となつて居り、戸口最も稠密で、南串面のみを就いて見るに、一方里に付人口數四、〇二〇人に達し、稀に見る標式的聚村の形式をとつて發達して居る。尙ほ大同江の對岸古平面・龍山面・大寶面附近には支那人の來住せる者が多い。



(一分萬五) 里花細面邑舊島州濟道南羅全

濟州島は地勢の關係上、部落は大部臨海部に形成されて居るが、小部落の密集せる一例として舊左面細花里附近を挙げる事が出来る。細花里は舊左面東北海岸に面し、濟州・金寧を経て海岸に沿ひ東走し來れる二等道路はこの地に來り、漢東里・坪垈里・細花重・上道里の諸部落の間を縫ひて島の東海岸に出で旌義面に入る。また坪垈里及び細花里よりは何れも西南に向へる聯路を出して居る。濟州島は海岸線の灣入屈曲少くして概ね斷壁を成し、僅かに城山浦及び西歸浦の二港が汽船を入れ得るに止まつて居るが、全島火山岩より成り耕地少く飲料水は沿岸地方にあらざれば湧出せず、而かも島民は滿潮の時を利用して小船を出し、また海女により沿海漁業を營むところから、島の周圍を海岸線に沿ひて漁業部落を構成するもの多く、殊に細花里附近は最も戸口密集し、

島嶼部落

(全羅南道濟州島舊左面細花里)



(一分萬五) 方地面申南郡同大道南安平

細花里は戸數三三〇戸、九四九人、上道里は一二八戸、五六八人、坪垈里は三九三戸、一六四〇人、漢東里は三七五戸、一、四九五ありて著しく發達せる聚村を形成して居る。尙ほ西北海岸に在る杏源里は二九四戸、一、五七四人、月汀里は三三六戸、一、八一一人あり、近海は濟州島に於ける有數の漁場に當り、特に鱈の漁業盛んにして、大正五年には月汀里漁業組合創立せられ、漁獲物共同販賣と遭難救恤を行ひ成績優良である。

沿海部落 (咸鏡南道洪原郡洪原地方)

沿海地方には漁業及び半農半漁の聚落が多いが、洪原地方の如きも聚落密集の一例として見るべきものであらう。この地方は咸鏡南道洪原郡東南端の平野地にして、東は日本海に面し、希賢面龍城里附近に源を發したる西大川は、途中鶴泉面及び州翼面を過ぎて圖の西南方に於て海に注ぎ、北には鷄頭峯あり、その餘脈東に延びて思郎山・鼓岩山をなすも皆高からず、元山より退潮を経てこの地に來れる咸鏡線は、海岸に沿ひて東北に走り、利原・端川を経て咸鏡北道に入る。また一等道路を以て西南十二里の咸興、東北十四里の北青に通じ、日々數臺の自動車この間を往復し、一條の達路は西南に走



(一分萬五) 方地原洪郡原洪道南鏡咸

つて退潮を過ぎ西湖津に至る。海路は前津港により沿海航路汽船の便ありて、新浦・新昌・遮湖・汝海津・西湖津・元山等道内各港に通じ、また遠く城津以北の諸港に到る。咸鏡南道沿海の地勢は東海岸に在りては比較的屈曲に富み、到る處港灣良浦を形成し、漁業根據地として好適の地も尠くないが、前津は元山・新浦・遮湖・六垈と共に五大漁業根據地の一に數へられ、近海は漁族豊富にして多數漁船の出漁を見、殊に近來沖合漁業發達し、明太刺網・延網・擧網・手繰網・逐魚網・鯀壺網等の漁業が最も盛んに行はれて居る。従つて附近平野よりは米その他の農産物を出すと共に、海の天恵に浴する事の多い漁村聚落であり、部落は海岸に近く著しく密集し、所謂塊村の形を成して不規則に發達して居る。尙ほ洪原には洪原聚廳・洪原警察署・州翼面事務所・洪原郵便所・洪原公立尋常小學校・洪原公立普通學校・洪原金融組合・洪原漁業組合等の官衙・團體あり、圖中各部落の戸口を擧ぐれば、壯東里は五〇戸、二六五人、壯亭里は八七戸、三九五五人、方西里は七〇戸、四五二人、穿中里は内地人一二戸、二九人、朝鮮人一五七戸、八七五人、支那人一戸、四人、計一七〇戸、九〇八人、南興里は一六〇戸、八一七人、西興里は四八戸、三三八人、南塘里は一〇八戸、七八〇人、來源里は内地人七戸、二一人、朝鮮人二三三戸、一、〇五一人、支那人一戸、三人、計二四二戸、一、〇七五人、龍川里は四四戸、三四九人、南松里は七九戸、六五四人、岐陽里は内地人六戸、一八人、朝鮮人三一戸、一六一人、計三七戸、一七九人、南山中里は四三戸、二九三戸、回興里は二九戸、一八五人、南山西里は四一戸、二八四人となつて居る。

沿河部落 (江原道春川郡西面上里)

沿河地は土地肥沃なると交通の便利なる關係上、聚落の發生を容易ならしむるを通則とし、渡船場聚落としての性質を有するものが尠くない。西面上里部落は春川郡西面上の東南部に位し、脊梁山脈の鷹山附近(江原道淮陽郡泗東面)に源を發した北漢江は、途中淮陽・華川を過ぎ、山谷の間を縫ひて、この地に來り、これより西南方に向つて京畿道楊平郡楊西面の西南端に於て漢江の本流に合する。部落は北漢江の右岸に位置し、西七軒餘には八五八米の駕徳山聳え、その東麓の溪谷より出でたる小川は部落の南に於て北漢江に注ぐ。南六軒には春川あり、東南四軒には史上に名高き牛頭山がある。部落の背後には二五二米の小山迫り、住家は北漢江とこの山との間の狭長なる低地に南北に伸びて營まれて居る。對岸には春川から華川を経て金化に至る二等道路が江に沿ひて西北に走り、南は田畝の平野開けて春川に迄及ぶ。部落の西南端に西上面事務所あり

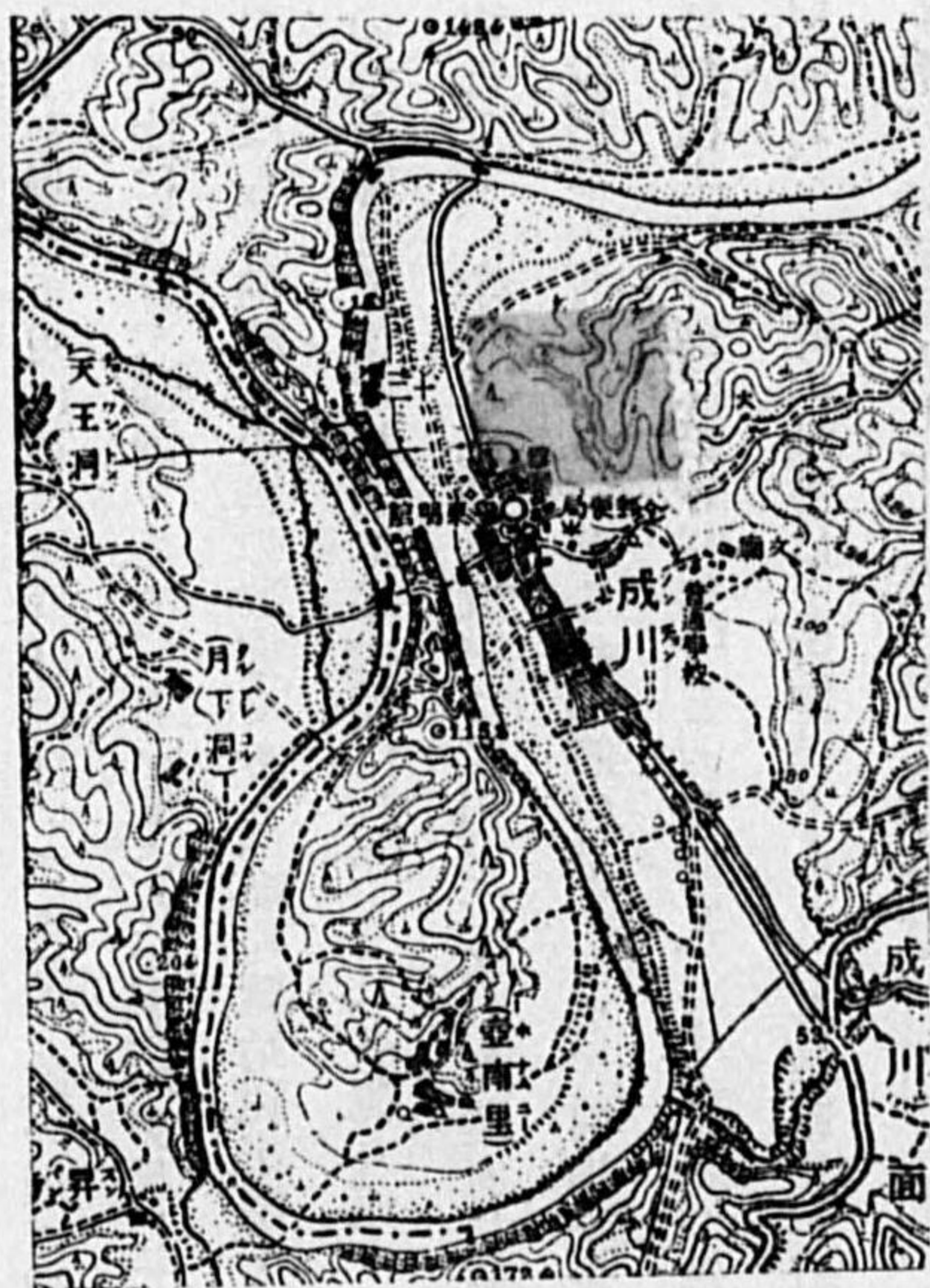


(一分萬五) 里上西面上西郡川春道原江

り、川には對岸に至る一岸出船の渡場が設けられ、戸數一八二戸、人口九四五人である。尙ほ牛頭山南の新北面牛頭里は、昭陽江右岸の平地に流れに沿ひて南北に狭長に立地し、戸數二〇一戸、人口一、〇二七人である。

沿河市街 (平安南道成川郡成川邑内)

沿河地に多くの市街が發達して居ることは都邑の部に於て詳説してあるが、成川邑の如きも沿河市街の特色を有して居る。成川邑内は成川郡成川面の西部に在り、東は水德里・永陵里に接し、西は沸流江の曲流を以て通仙面と境し、南には順德里・龍仙里あり、北は三徳面と境して居る。四面は丘陵又は小高き山を以て圍まれ、



(一分萬五) 内邑川成郡川成道南安平

沸流江左岸の狭長なる低地に南北に長く聚落が形成せられ、順川から殷山を経て來た道路が其の中央を縦走し、更に平壤から江東を経て此の地に來つた自動車道路は陽徳を過ぎて元山に向つて居る。對岸の紇骨山はもと山城所在の地であり、又下部里には成川の鎮山たる鶴岑山がある。陽徳郡吳江面と孟山郡元南面附近から源を發した二川は、陽徳郡化村面白石里に於て合流して沸流江(卒本川)となり、西流して此の地に來り紇骨

山下を過ぎて更に西し大同江に注いでゐる。此の川に沸流の名があるのは、紇骨山底に四石穴があり、水が其の穴中に入りて通過するや、石を衝いた水流が沸騰して西に出るからである。と東國輿地勝覽は誌してゐる。此の地はもと沸流王松讓の故都であり、高句麗始祖東明王朱蒙が、北方扶餘より來りて卒本川(沸流江)に都し、此地を降して後は松讓は多勿侯に封せられ、高麗太祖十四年剛德鎮を置き、顯宗九年成州防禦使に改め、後知郡事となり、李朝太宗の十五年に成川と改名し都護府に陞し、世祖朝鎮を置かれ代々地方政治の中心であつた。

成川は山河險固と稱せられ形勝の地を占め、前掲紇骨山の東には巫山十二峰あり、朴元亨の詩にも「江上群峰劔様尖、峰前江水正接藍」とある如く、江上に峙つ奇峰と沸流江の清流とは、こゝに天然の美景を形成して居るが、一方此の地方は土壤肥美であり、各種産業が行はれ、殊に養蠶・畜産・煙草栽培等は近來頗に好成績を挙げ、特産品としては成川紬・成川煙草・成川栗等があり、爲めに市場も漸次發展し昭和六年の取引高は十七萬二千二百四十七圓に上つて居る。成川郡廳・成川警察署・平壤專賣支局成川出張所・成川郵便所・成川金融組合・公立普通學校・成川郡農會・成川郡森林組合・日本金屬株式會社成川選礦所・東亞日報社支局・成川酒造業組合・成川煙草耕作組合等があり、内地人四九戸、二五人、朝鮮人四三八戸、三、一三一人、支那人五戸、一九人、計四九二戸、三、三五五人である。尙ほ下流地方の沿岸に靈泉面松江里一一三戸、六〇〇人、龍岩里一四〇戸、七〇〇人、大坪里一八〇戸、九〇〇人、大丁波里二二一戸、六二六人の如き比較的大なる村落が多い。

背山臨流 (忠清北道報恩郡馬老面箕大里)

古來朝鮮には、墓地・民居・聚落の選定に就いて風水の迷信があり、従つて聚落に背山臨流の地を選ぶことが盛んに行はれて居る。その代表的のものとしては、慶尙北道の河回・安東・川前・臨河等の諸聚落を挙げ得るが、箕大里の如きもその適例である。報恩郡内地面に源を發したる報青川は、途中、報恩面・炭釜面を過ぎて馬老面に入り青山の南方を西南に流れて錦江に注ぐ。箕大里はこの報青川中流右岸に位置し、東南三料には五〇五米の甌峰を望み、東北七料には八七六米の九屏山聳立し、後に四五〇米の雲霧峰を控え、所謂背山臨流の部落である。雲霧峰北麓の大陽里、三竹山北麓の炭釜面城池里、三竹面川南里、五四三米の道徳峰南麓の沃



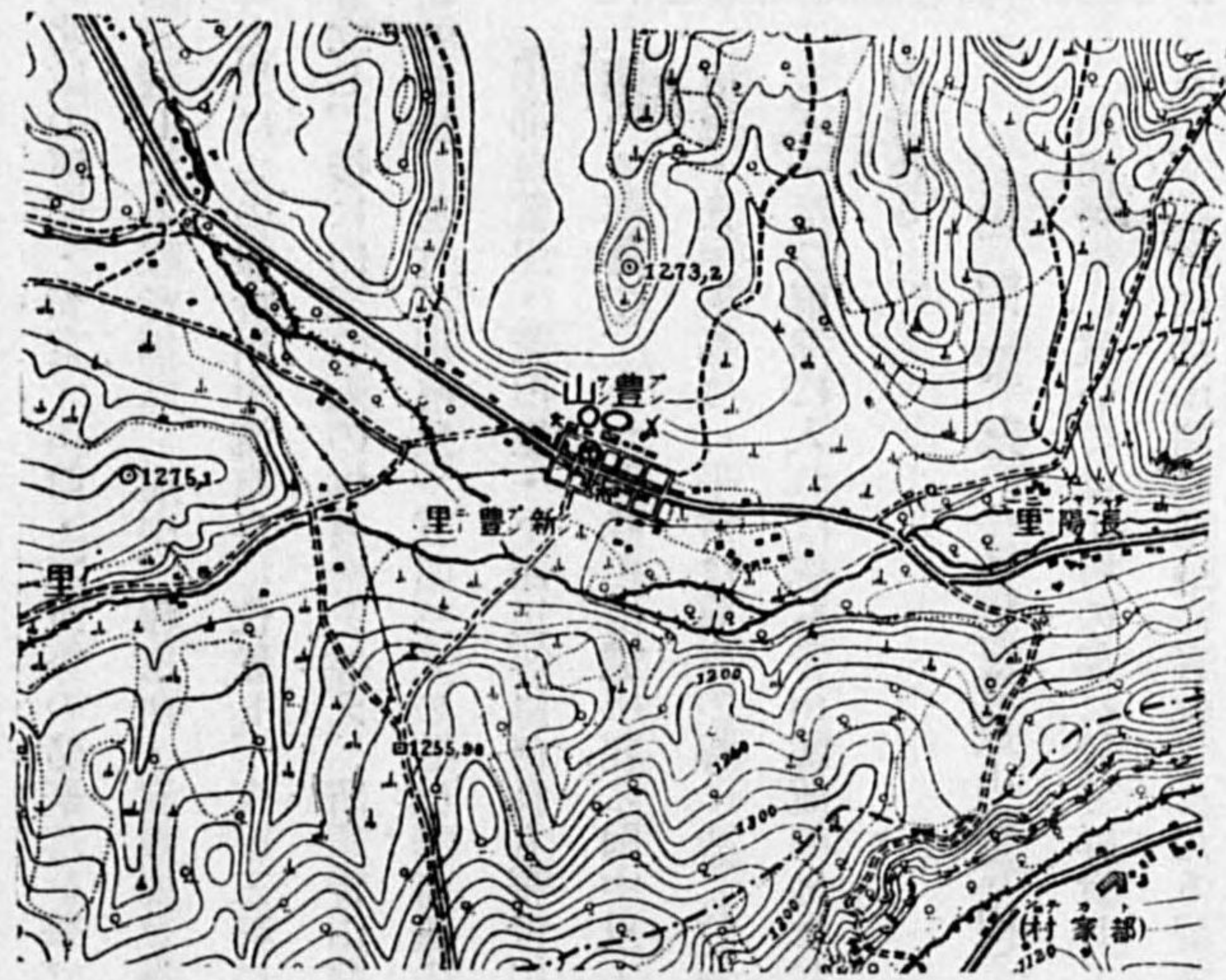
忠清北道報恩郡馬老面 (一分萬五)

川郡白雲里・芝田里・下西里等は何れも報青川に臨める部落で、また甌峰の南麓に在る閑中里・十屯里・世中里等は、平常は前方の谷に流れなきも、一度び雨季に入れば忽ち背山臨流の地となるのである。

山間聚落 (咸鏡南道豊山郡豊山)

山間聚落に就いては山村の部に於て詳説してあるが、朝鮮には山間の高地に形成されたる聚落が多い。豊山・甲山・長津等の如きはその著名なる

ものに屬する。北青より南大川左岸に沿ひ、北青甲山線二等道路に依りて西北走し、一、三三五米の厚峙嶺を踰えて豊山郡に入れば、氣温俄かに低下し、所謂蓋馬高原地帯が展開する。豊山郡廳の所在地豊山(新豊里)は厚峙嶺の北方、地境里川左岸に在り、高度一、一五〇米を有し、民家は東西に走れる前記二等道路の兩側に狹長に延びて鍾村の形式を以て發達して居る。この地はもと甲山郡に屬したが、大正三年府郡廢合の際、北青・甲山兩郡の各一部を以て豊山郡が新設せられてよりは郡廳が置かれ、北青・甲山線の外、楊坪里に至る新豊里・江口線(三等)道路を西に出し、豊山館・寶來館の如き内地式旅館ありて、咸南高地帯に於ける交通の要衝を占め、高原地帯の聚落としての特色を現はして居る。附近には火田民の聚落多く、燕麥・馬鈴薯・粟・稗・大麥・大豆の耕作行はれ、牛・馬・豚・鶏・蜜蜂等の畜産多く、林産にはカラマツの用材・薪炭豊かに、陰曆三・八の日に開



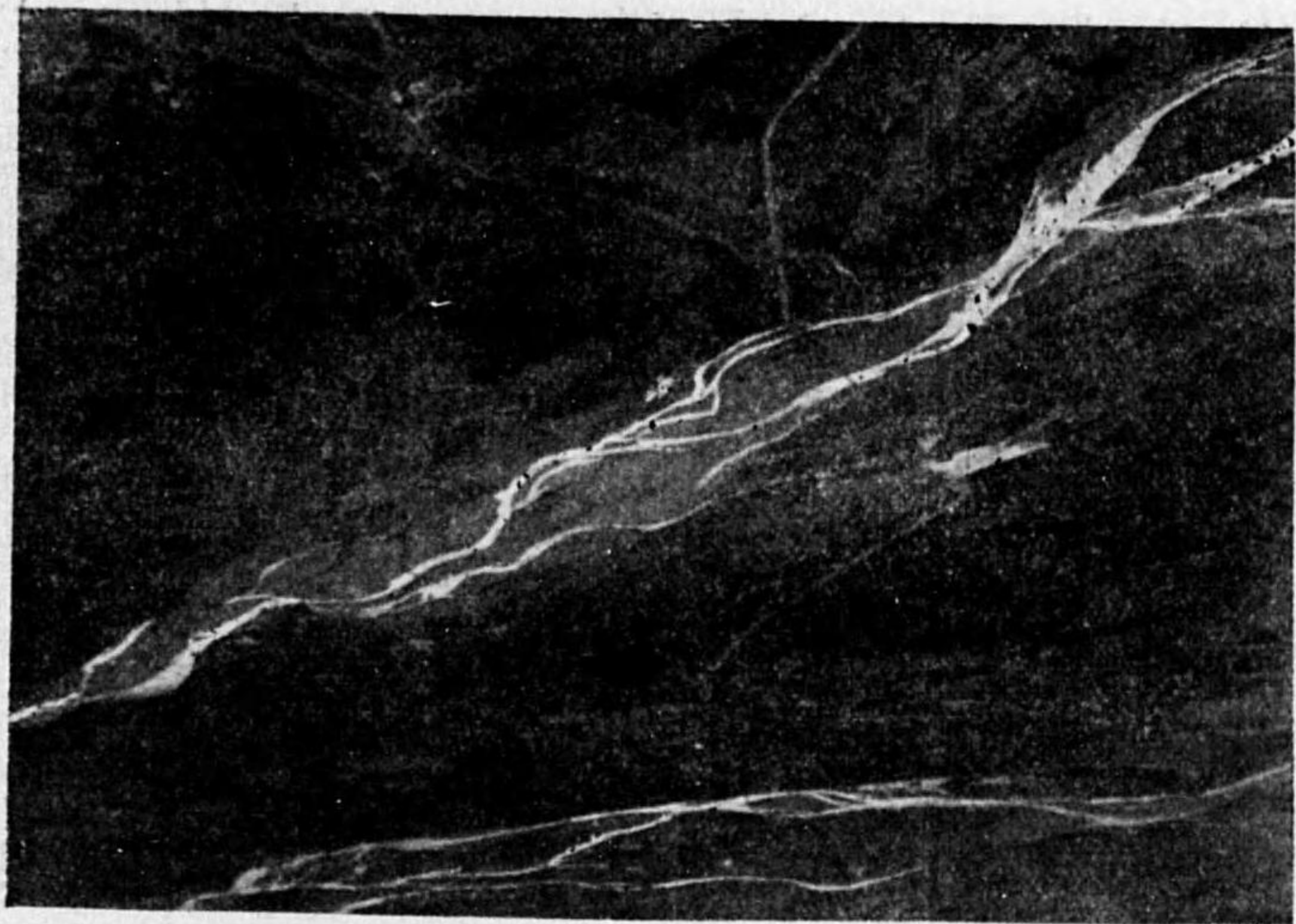
(一分萬五) 山豊郡山豊山 咸鏡南道

かれる新豊市場の昭和六年中賣買高は四萬七千六百九十五圓に上つて居る。

豊山には豊山郡廳の外、警察署・面事務所・郵便所・金融組合・森林保護區・小學校・普通學校が置かれて居り、人口は内地人九八八人、朝鮮人一、六四四人、支那人一〇人である。尙ほこの附近は朝鮮に於て最も寒冷厳しき地方に屬し、零下三十四度五分に下れることあり、十月に入れば既に積雪を見、櫻の咲くのは五月末頃である。

國境都市 (咸鏡北道會寧郡會寧)

清津の北方九三・八軒、咸鏡線の終點に位し、國境豆滿江岸に於ける産業・交通上の中心都邑で、町は八乙川及び會寧川の間に在る眞高二百五十一メートルの丘陵地の南斜地に形成せられて居る。附近には沃野開け、粟・大豆・大麥・蔬菜等の畑作が盛んである。咸鏡線はこの驛で潼關鎮に通ずる圖們鐵道に連絡し、圖們鐵道は上三峯に於て天圖鐵道に接続して滿洲國間島に通ずる。慶源(琿春方面に連絡)との間には定期自動車の便があり、また元山會寧線(一等)、會寧穩城線(二等)、茂山慶興線(二等一部未改修)等の諸道路ありて國境各郡との連絡があり、豆滿江の舟筏に依りて製材盛んに行はれ、また附近一帶に互りて無盡藏の石炭を産し、對岸間島地方よりは夥しき穀物が齎られる。國鐵の終點が上三峰に移つてからは、稍々その影が薄れたる感はあるが、依然として北鮮の産業交通の中心都邑であつて、商工都市として一層發達する素因を有して居る。會寧はもと會寧開市のありたる處で、清國官吏と立會の上、農牛・食鹽等の交易が行はれたが、現在に於ても附近



飛行機の上より見たる寧寧附近

は牛・馬・緬羊・豚・鶏等の牧畜が盛んであり、また慶興・鍾城・穩城・慶源及び富寧と共に六大鎮の一に數へられ、國境都市として鴨綠江岸の義州と共に古來有名である。日滿兩國の關係が密接を加へ鐵道聯絡の行はるゝに至りたる結果、將來會寧の經濟・交通・文化の上に及ぼす影響は甚大なるものがあらう。現在歩兵第七十五聯隊・工兵第十九大隊・憲兵分隊が置かれ、會寧郡廳・警察署・營林署・地方法院支廳・稅關支署・郵便局・衛戍病院・商業學校・金融組合・其他銀行會社あり、電話・電燈・水道等の設備があり、人口内地人二千二百七十餘人、朝鮮人一萬四千八百八十餘人である。特産品としては、特異の雅味と技巧とを以て、最近めき／＼とその眞價を認められて來た會寧燒の逸品を擧げることが出来る。尙ほ顯忠碑・會寧城址・吾晉會城址・雲頭城址・雲淵の古碑等の古蹟がある。

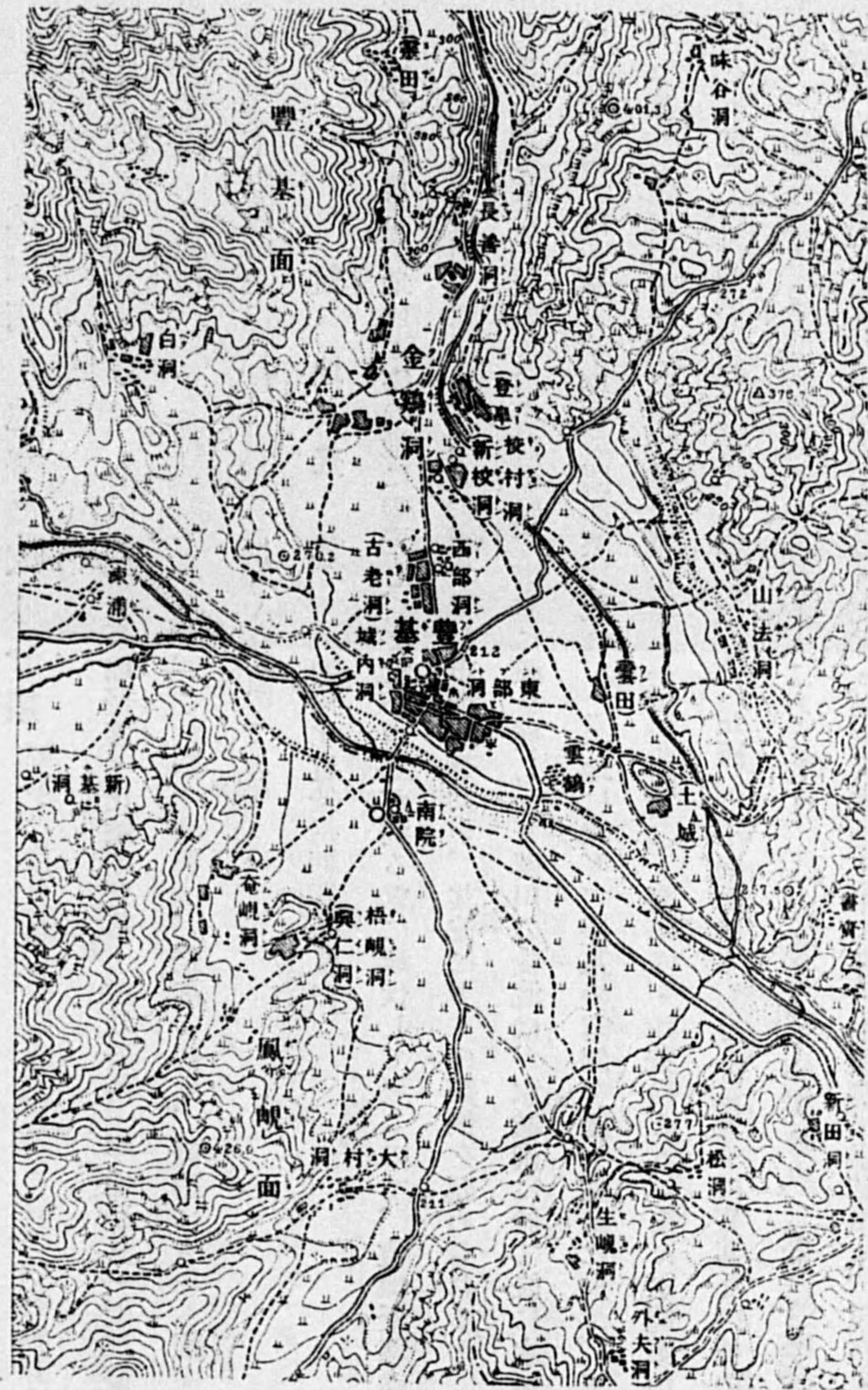
第二節 地勢に依る分類

聚落の地勢に依る分類としては、高原聚落・臺地聚落・丘陵地聚落・盆地聚落・平地聚落・低地聚落・谿谷聚落・濕地聚落・其他種々に分ち得るのであるが、これ等の地勢は、聚落の發生、發達に大なる關係あり、その交通・産業・文化の上に及ぼす影響も亦尠くないのである。

盆地聚落（慶尙北道榮州郡豐基邑内）

朝鮮に於ける舊市街地は要害の地に發達し、また小山脈が到る處に起伏して居るので、盆地聚落は極めて多く、京城・開城・慶州・彦陽・宣川・吉州の如き市街地を初め、其他に多くの類例を認められるが、豐基邑内の如きも盆地聚落の一である。小白山脈の東麓に源を發したる西川の支流は、水鐵洞に於て既に水田を灌漑し、途中昌樂洞・白新洞・前邱洞の間を東に流れ、この地に來りて豐基の南側を過ぎ東南に向ふ。東は安定面の丘陵にして、西には前記小白山脈中に蓮花峰（一、三九四米）・兜率峰・妙積嶺あり、南には龍巖山聳え、北には遠く一、四二〇米の國望峰を望み、四方が山又は丘陵・小山をめぐらせる盆地中に豐基その他の聚落が發達して居る。豐基はもと豐基郡治所のありたるところにして、また古くより市場あり、米荳・蕪麥・海菜・海衣・鹽・綿布・綿花・麻布・明紬・蠶絲・乾柿・茵席・紙地・平涼子・牛犢等出場品多く、現在も尙ほ城内洞に陰曆三・九日を市日として取引が行はれ、豐基面事務所があり、内地人八戸、四四人、朝鮮人五〇〇戸、

二、八一七人、支那人一戸、四人、計五一〇戸、二、八六五人にして、忠州より丹陽を経てこの地に來れる二等



(一分萬五) 内邑基豊郡州榮道北尙慶

道路は流の右岸に沿ひて東南に向ひ、榮州を経て盈徳に達し、また南には醴泉、東北には韶川里を経て永春に至れる達路を出し、この地方産業、交通の中心を爲して居る。附近部落の戸口を擧ぐれば、豊基面金鷄洞は二二〇戸、一、一七六人、校村洞は一八八戸、六三三人、西部洞は一七四戸、九二六人、山法洞は八二戸、四八三人、白洞は一七戸、六〇〇人、鳳峴面梧峴洞は一八二戸、八九六人、大村洞は一六戸、五五九人、安定面生峴洞は五一戸、二八七人となつて居り、梧峴洞南院には鳳峴面事務所がある。

高原聚落 (江原道鐵原郡鐵原市街)

朝鮮に於ては地勢及び火田耕作の關係上、高原に位置する聚落が多く、従つて高原に發達せる聚落も尠からず、江原道の平康や鐵原の如きもその一である。鐵原は京城驛を發し國有鐵道京元線を北走すること一〇一・三料、漢灘川支流の流域に在り、海拔三百八十二メートル、もと高勾麗の鐵圓郡治、新羅の鐵城郡治のあつた市街である。後弓裔が兵を起し、高勾麗の舊地を略取し、松都郡より來つて此の地に都し、國を泰封と號したが、其の間僅かに十七年で、高麗太祖即位し、都を松嶽に徙してよりは、東州、次いで鐵原と改められ、永く地方行政の中心地であつた。泰封城址は驛の北八料の北面古關里に在り、其の外廓は今尙ほ指點することを得賣買高る。附近には米・大豆・粟・小麥・大麥等の農産多く、また牧牛も盛んで、昭和六年中邑内市場に於ける畜類は五二七、五一四圓に上つて居る。この地方は水利事業が普及し、土地改良・農事經營が著しく發達して居る。鐵原には郡廳・警察署・郵便局・金融組合・邑事務所・地方法院支廳・道立醫院・水利組合・穀物檢

查所・金剛山電氣株式會社・農蠶學校等が置かれ、舊邑内に對し停車場所在地が新市街を形成して居る。人口内地人二千餘人、朝鮮人一萬二千九百餘人、外國人百五十餘人である。この地を起點とする金剛山電氣鐵道は



(一分萬五) 街市原鐵郡原鐵道原江

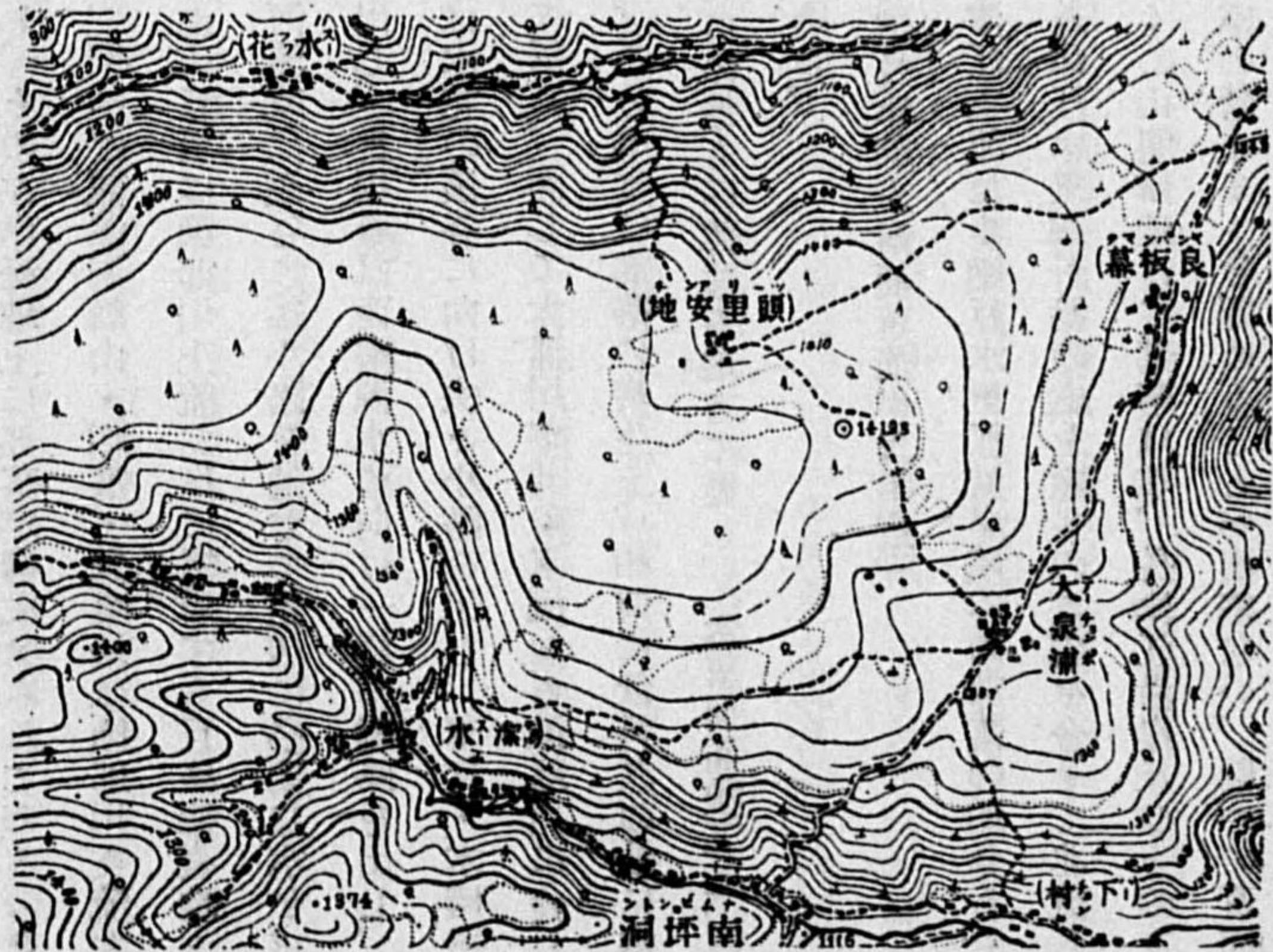
長安寺(内金剛)まで全通し、金剛山探勝への主要徑路に當り、附近には泰封城址の外、到彼岸寺銅佛及び古塔・褒忠祠等の古蹟がある。

臺地聚落

(咸鏡北道鏡城郡朱南面南坪洞附近)

朝鮮には眞高一千メートル以上の山村に富み、その中には臺地に位置せる聚落が多く、就中、蓋馬臺地に屬する地域には德・徳などの名稱を有する臺地聚落が隨所にある。南坪洞附近も臺地聚落の適例にして、漁郎川の支流た

る大浦川上流沿岸の部落である。東二里に海拔一、五八四米の甘味峰聳えて明川郡上等北面の境を爲し、西二里半の處には二、一三九米の掛上峰の遠望あり、南約二里には二、二〇九米の萬塔山聳立し、北三里には二、一七一米の冠帽峰あり、附近一帯は所謂蓋馬臺地の一部を成して全くの山間僻地である。住家は大浦川邊の溪谷(海拔一、一一六米)或は河岸段丘を求めて營まれ、例へば南坪洞源水・潔水・下村・上村・下長浦・大板崖・小板崖等の如きはそれで、朝鮮の山地に於ける部落構成の位置はこれが最も普通であるが、良板幕・大泉浦・頭里安地が、これ等溪谷或は河岸段丘から更に上つて臺地上に部落を成して居るのは、この地に於ける大浦川の溪谷が狭少に過ぎ、且又河岸の段丘が散岩に妨げられて部落發生を困難ならしめたが爲めであらう。小泉浦・草坪・廣徳洞・車岩洞・大乾浦・

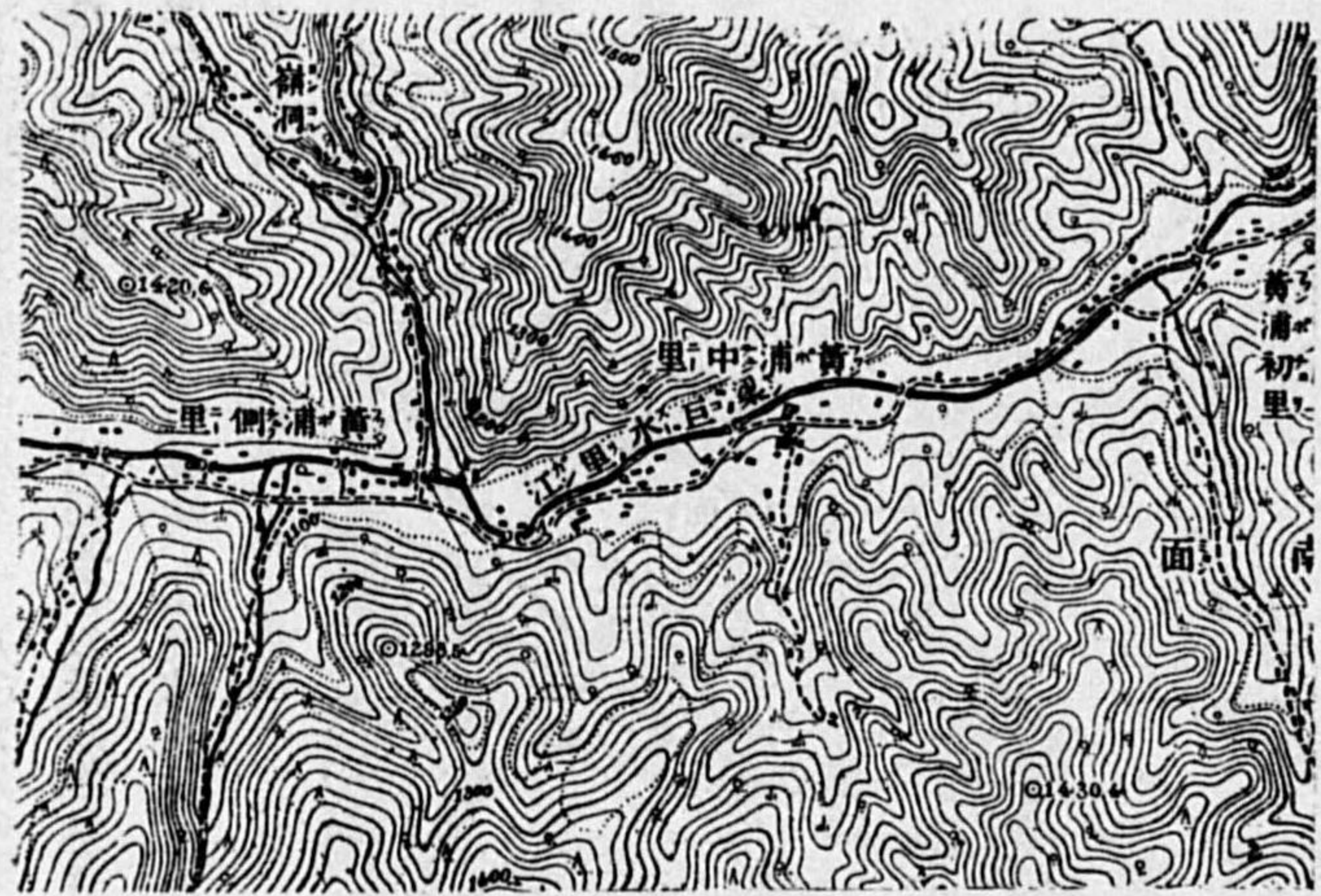


(一分萬五) 近附洞坪南面南朱郡城鏡道北鏡咸

大福基・小福基・木國司等も亦大浦川の東流するに平行し、その左岸臺地上に部落が構成せられてゐるのを見受ける。此の外附近には臺地に住家の點在するもの多く、例へば龍潭洞鶴山・咽喉・鶯巢始は漁郎川支流左岸臺地の南邊縁に立地し、朱北面杜里安地・前杜里安地・土店巨里は漁郎川上流左岸に蟠居する巨務德臺地上に位して居る。これ等臺地に於ける部落は概ねその近くの河流或は溪谷に迄小路を通じて生活に必要な水を求めて居る。即ち頭里安地は漁郎川支流の溪谷に向け小路を出し、良板幕は西南源水に向け一條の聯路を出し、大泉浦は源水への聯路の外、南は下村、西は潔水及び東北は水花の溪谷に向け夫々小路を出し、草坪・木國司・大乾浦は何れも西北の谷間に向け聯路或は小路を走らせて居る。而して大浦川が其の本流たる漁郎川に合し下流に向ふや、部落はまた溪谷・河岸段丘に構成せられる。この事實は部落の發生上、如何に飲料其の他に水が必要なるかを物語つてゐるものであらう。附近一帶は人口の最も稀薄なる地方に屬し、朱南面面積五五、四四三方里に一四、六九九人、一方里當り僅か二六五・一人である。

谿間部落 (咸鏡北道長津郡上南面黃浦中里附近)

朝鮮山間部には谿谷部落の形成されたものが多く、長津江支流たる梁巨水里江沿岸溪谷の部落の如きもその一例である。西北三軒には二、〇七七米の白山聳立し、長津江は東西軒餘の處を數多の支流を合せて北流し、南四軒には長津江支流倉坪里江が東流し、附近一帶は全くの山間僻地にて部落は唯、長津江沿岸及びその支流溪谷にのみ發達して居り、その他の場所に於ては全く民家の營まるゝを認めることが出来ない。圖中の黃浦初



(一分萬五) 咸鏡南道長津郡上南面黃浦中里附近

里は二八戸、一五四人、黃浦中里は三五戸、二四一人、黃浦側里は一九一戸、一、一六二人あり、各部落の高度は何れも千米を越え、仙陞堂より流れに沿ひて東走し來れる一條の聯路は、これ等の部落を貫きて更に東し、梁巨水里に於て、咸興より長津を経て慈城に至る二等道路に合する。嶺洞よりは更に小路北に向ひて走り、白山の東側を過ぎて郡内面に入り、西洞江沿岸部落鷹田坪に至り、また黃浦初里より谷底を縫ひて南に向へる小路は倉坪里江岸に達し、臥碣里・倉坪里・馬登里等に至り、各部落間の連絡は聯路又は小路によりて行はれる。

濕地部落

(咸鏡南道豐山郡安水面長坪里附近)

谿谷又は斷層の低地に位置せる濕地部落としては、咸鏡南道豐山郡安水面米田里・江原道平康郡高挿面洗浦里・忠清南道扶餘郡窺岩面扶餘頭里などもその例に屬するが、長坪里附

近も湿地聚落を成して居る。一、八〇九米の明堂峰の東北麓に源を發した黄水院江は、途中法成水・天門洞・姜興里・仲興坪・雲潭・仙遊墟等の諸部落を過ぎてこの地に來り、更に西して黄水院に向ふ。圖中、江の左岸は所々湿地を成し、その邊縁に部聚點在し、下村は湿地の東側及び北側に、安興村は南側に、倉坪里は湿地の周



(一分萬五) 近附里坪長面水安郡山豐道南鏡咸

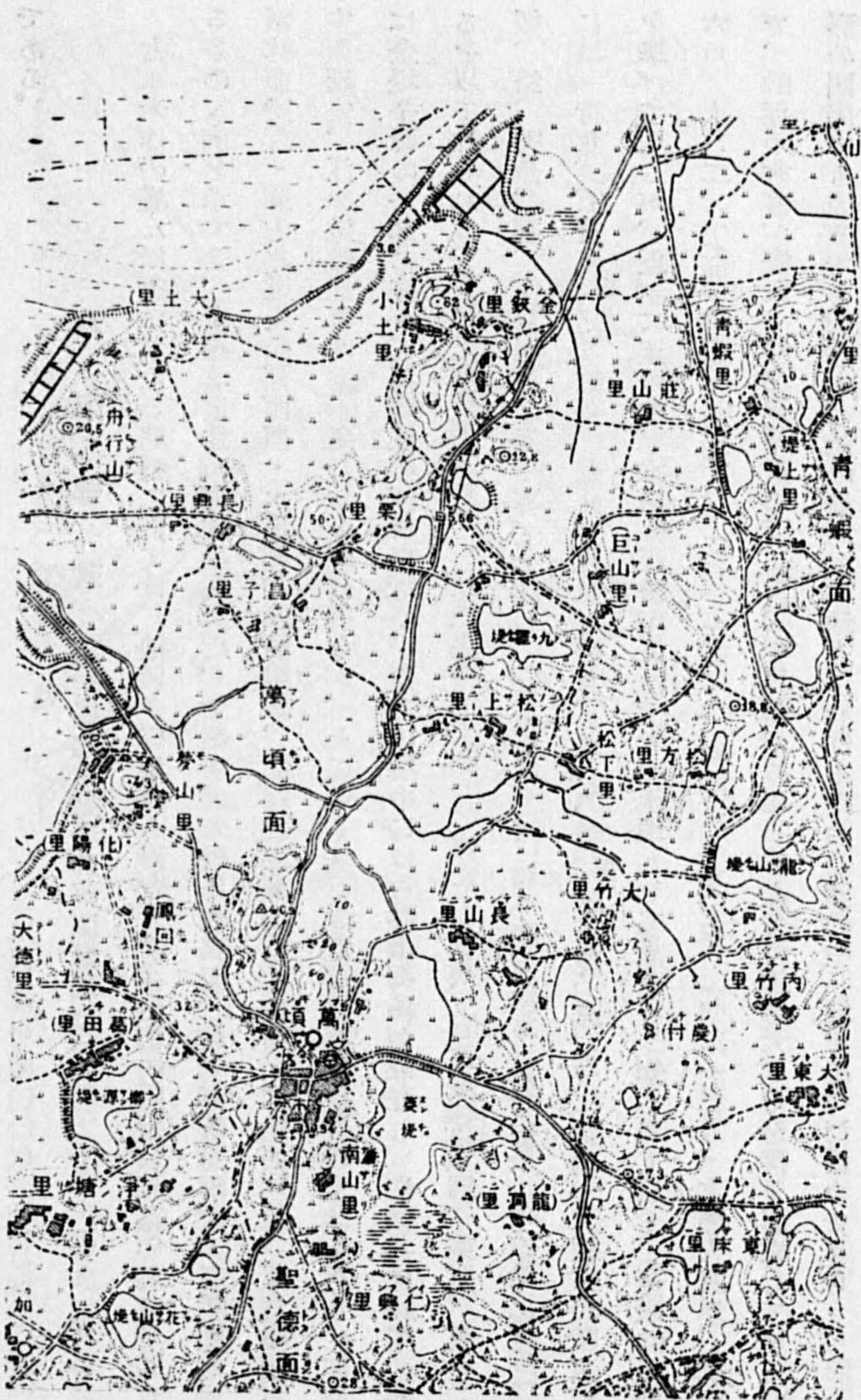
圍に在り、咸興より新興を経て黄水院に至れる二等道路はこれら湿地の間を走る。この江の沿岸には湿地多く、黄水院の西北、後洞附近には南北に狹長なる湿地あり、また圖の西南方には江の右岸に散在し、これらの邊縁に起雲潭・雲潭・漁隱洞・福洞村等の部落がある。北約八軒の處には二、一三米の大徳山聳え立ち、附近は高地帯を成し、各部落の立地高度は一、二〇〇米を越えて居り、朝鮮特異の火田民の聚落である。尙ほ長坪里の戸數は四〇〇戸、人口は二、六一七人

である。

池沼部落 (全羅北道金堤郡萬頃面地方)

古來米作の盛んに行はれたる朝鮮に於ては、池沼多い地方も尠からず、池沼の附近に聚落の形成せられて居るもの、例を示すと、全羅北道益山郡咸羅面附近、全羅南道光州郡飛鴉面・長城郡南面附近・高敞郡星内面・新林面附近・慶尙北道慶州郡西面・永川郡北安面附近、慶尙北道慶山郡珍良面・押梁面附近、黄海道延白郡延安面延安、江原道鐵原郡北面附近などを擧げ得るが、その最も著しきものは萬頃附近の聚落である。即ち萬頃は金堤平野の一部に在り、萬頃江の江口に近く、西方の海中には古群山列島が散在し、海陸共に物産の豊富なを以て知られ、「新增東國輿地勝覽」には萬頃縣「土産」の條に「青魚、石首魚俱出群山島、鯽魚、葦魚、真魚、芡、蟹、蛤、秀魚、薑、(新增)菱、蓮、蓴、蓴」を誌し、「攷事新書」には「鯽、葦魚、芡、菱、蓮、蓴、海物」、邑誌には「青魚、石首魚俱出古群山島、鯽魚、葦魚、真魚、秀魚、蟹、蛤、薑、芡、菱、蓮、蓴、(新增)大蝦、烏賊魚、鹽」を擧げて居るが、近年に至つては水田の經營が盛んで米の産地として最もよく知られて居る。萬頃は戸數四〇六戸、人口二、二七四八(内、内地人一二戸、三五人、朝鮮人三九〇戸、一一、二一五人、支那人四戸、二四人)で、附近の村落が概ね一三〇戸乃至二百二十三十戸なるに比してよく發達し大なる聚落を形成して居るのは地形の關係にも因るであらうが、此の地が古來地方に於ける政治交通の中心地であつた爲めであらう。而して金堤より此の地に來り更に西走する道路と、南方扶安より此の地に來り更に北走して萬頃江を過ぎ地境里方面へ

向ふ道路の交叉する十字路を中心として部落は發達し、爲めに略々十字狀路村の形を取つて居る。附近には大



(一分萬五) 方地頃萬郡堤金道北羅全

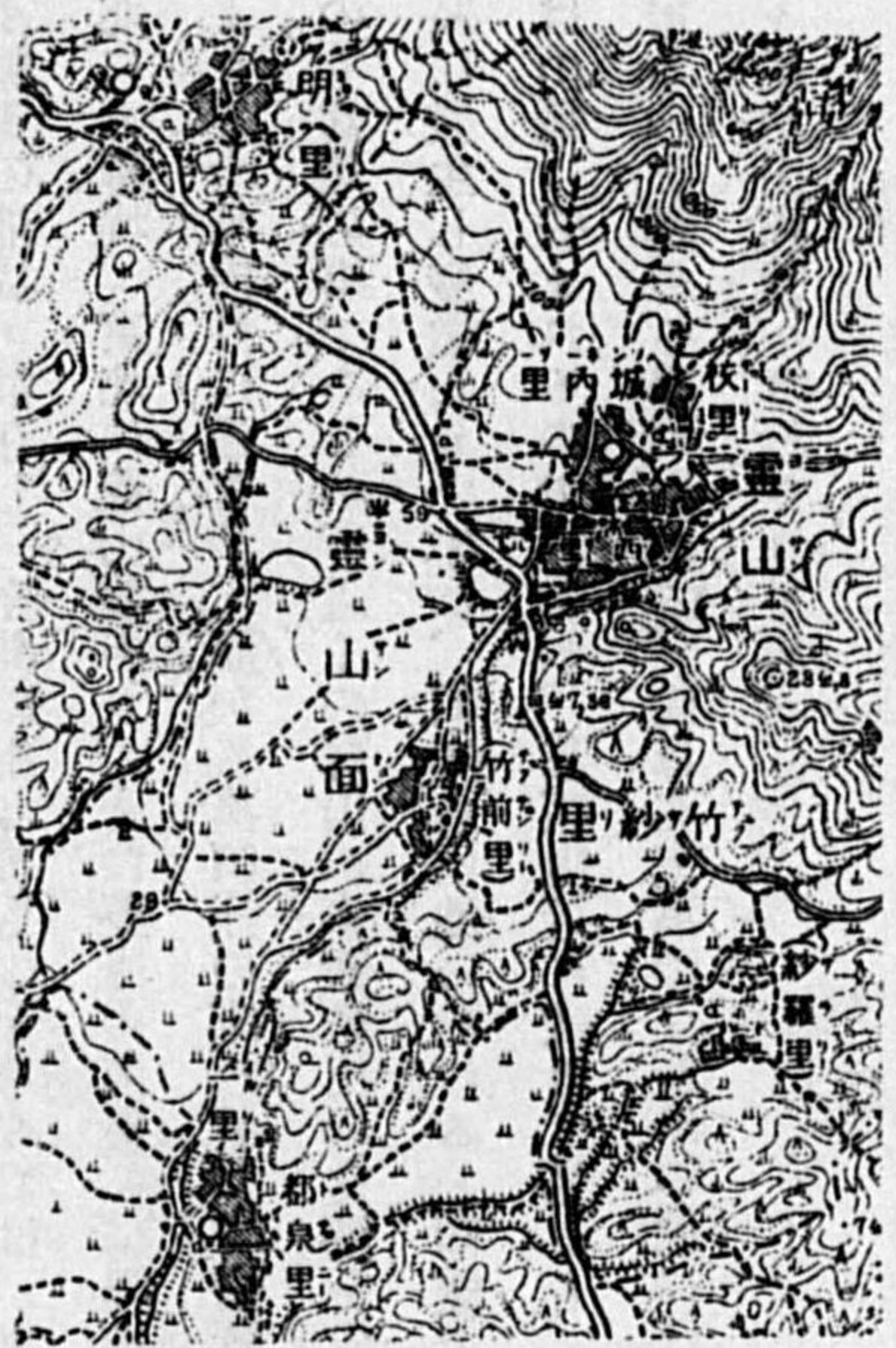
小數多の池堤が散在し、今其の主なるものを擧ぐれば、東に菱堤、西に柳源堤、南に花山堤、馬堤、岐谷堤、北に九羅堤、東北に龍山堤あり、また菱堤の南邊には濕地があり、一帯は土地低平で畚耕作地の眞高四、五米より二十米内外に過ぎず、而かも萬頃江の流れありて灌漑の便よく此の地が水田耕作適地として知られて居るのも當然の事であるが、近くの群山が米穀輸出の良港を成せるも亦天恵の一つである。部落が水田經營可能地に發生し發達し易いのは、朝鮮も内地に於けると同様で、此の場合、民家は低平卑濕の地を避けて、丘陵或は山麓に營まれるのであるが、萬頃附近に就きて見ると、部落は附近平地から幾分高い場所を求めて立地して居るのを認める事が出来る。尙ほ北方萬頃江右岸の地には臨盆水利組合灌漑地・益沃水利組合灌漑地ありて大々的水田經營が實行されて居る。

第三節 形態に依る分類

聚落をその形態上より分類するときは、集村・散村・路村等種々にこれを分つことを得、更にこれを細別することも出来るが、聚落の形態及び大小は、地形・地勢・人口・交通・産業等の關係によりて種々に成立し、變化し、發達して行くものである。既に從來に於ても集村及び路村中には、市街地に膨脹したものが尠くないが、文化及び經濟の沈滯期の李朝時代と異なり、交通の便開け、經濟文化の進展著しき將來に於ては、人口の増加に伴ひ、各地に大小の聚落が發達勃興すべきことは火を睹るよりも明かである。

集村 (慶尙南道昌寧郡靈山附近)

朝鮮の社會組織には部族政治の色彩が極めて濃厚であり同族部落が多い關係上、特に集村の形態を有するものが多い。その著例としては、全羅南道順和順面・西面附近(砥不江流域)・慶尙北道達城郡玉浦面・花園面附近、忠清南道扶餘郡玉山面・保寧郡珠山面附近(平野、丘)、忠清南道論山郡連山面・楊村面・夫赤面附近(論山)、京畿道振威郡古德面杜陵里・文谷里附近・咸鏡南道洪原郡龍源面(東大川左岸の平野、海濱)には約二軒にして達す、咸鏡南道北青郡青海面・坪山面附近(南大川流域)等々擧げ得るが、靈山附近及び南原谷城附近も集村の標式的聚落である。洛東江



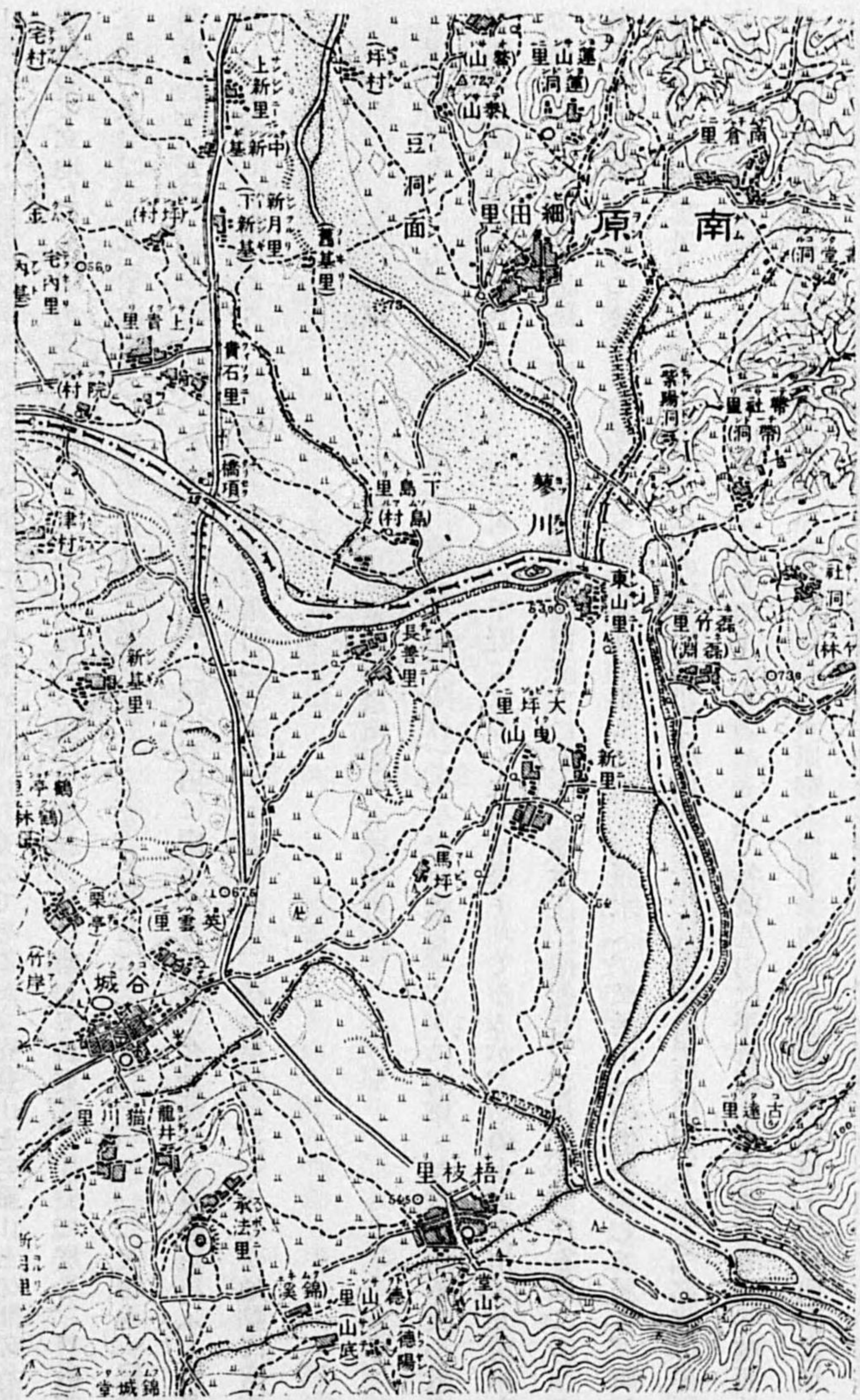
慶尙南道昌寧郡靈山附近 (一分萬五)

中流左岸の平地又は山麓に在り、東北方に六八一米の靈鷲山聳え、西には芍藥山を控え、丈尺湖・石谷湖・連氣湖その他大小幾多の湖池散在し、統營より馬山を経て北走し來れる二等道路は咸安郡漆北面徳村里に於て洛東江を渡り、此の地に來りて靈山の西側を貫き、西北に折れ昌寧を過ぎて大邱に至る。而して又靈山より新反里に至る達路を西に出し、靈山の南、竹前里の東より一條の達路走り釜谷面に向ふ。靈山は靈

山面の東里・西里及び城内里よりなり集つて一聚落を形成せるものであるが、靈鷲山と芍藥山との間の谷間に西面して立地し、小川が部落の南側を東北より西南に向ひて流れ、更に南して洛東江に注いで居る。戸數四五戸、人口二、三九六人である。都泉面都泉里及び一里が一聚落を成して二七〇戸、一、三二二人あり、桂城面明里は二一五戸、一、一三六人にして何れも平地、殊に水田に圍まれて居る。各部落よりは數多の小路を放射し、水田中を亂走する。此の地方の聚落は集村の形式をとるもの多く、殊に民家は最もよく一地點に密着して居る。

集村 (全羅南道南原・谷城附近)

蘆嶺山脈と小白山脈との間に蟾津江中流の兩岸が開けて小平野を成し、こゝに南原・谷城を始め大小數多の聚落が發達し集村のよき一例を示して居る。平野には多く水田が營まれてゐるが、この中を全州より南原を経て南走し來れる二等道路は圖中梧谷面梧枝里の西南方に至りて蟾津江に接近し、これより同江右岸に沿ひて東南に向ひ求禮の南方に於て川の東流するのと分れて順天に至り、麗水へ、又馬山への道を起して居る。而して谷城の東北、英雲里より玉果に至れる一條の達路は蟾津江支流の左岸に沿ひて西南に向ひて走る。部落は平野に在るものではあるが、而も幾分山手よりに立地するものが多く、谷城邑内は平野の中央に在るも、谷城面竹洞里・校村里・鶴亭里は兄弟峰の西麓に在りて東面し、南原郡金池面宅内里・豆洞面蓮山里・水盲面南倉里も亦山麓の部落であり、又谷城郡古達面帶社里・磊竹里の一部は丘陵地に在り、牧洞里は東に四〇二米の鷹峯を控



(一分萬五) 近附城谷道南羅全

え、古達里も背面は山にして前は蟾津江に臨み、梧谷面徳山里・梧枝里は天徳山麓の部落にして北は平野に面し、東は蟾津江に臨み背山臨流の地である。このことは矢張り蟾津江流域の求禮附近の聚村に於ても同様にて、求禮邑内が背後に鳳城山を控へて南面せるを初めとして、各部落は概ね平野の周圍を取巻く山々の麓又は谷間に近く所在して居るのを認める。かく部落が平野の中央と言はむよりは、寧ろ多く山麓或は丘陵、若くはこれに近き處に發達して居るのは、平野が狭少なると卑濕なるにも因るであらうが、山地に近ければ飲料水・薪炭・その他生活資料を得るに利便多き爲めであらう。

今圖中に見ゆる部落の戸口を見ると、南原郡豆洞面細田里は二四一戸、一、二五七人、金池面上貴里は二二四戸、六〇四人、谷城郡古達面牧洞里は二一五戸、一、〇七八人、谷城面東山里は六五戸、三五〇人、大坪里は一六二戸、八四五人、新基里は一五八戸、七四四人、長善里は一六五戸、七六八人、谷城邑内四〇三戸、二、二七八人、梧谷面梧枝里は三七四戸、二、〇五五人となつて居り、各部落の戸口が相當に大きい。尙ほ圖の北、蟾津江の支流たる蓼川流域には同様、相當多數の戸口を有する部落の構成せらるるもの多く、その著しき例として南原を擧げることが出来る。尤も南原の發達は、こゝが古くより交通取引の要衝に當り、光州より安義に至る道路と、全州より順天方面へ向ふ道路との交叉する十字路に在つて、全鮮的に著名なる市場所在地であつた爲めであらう。

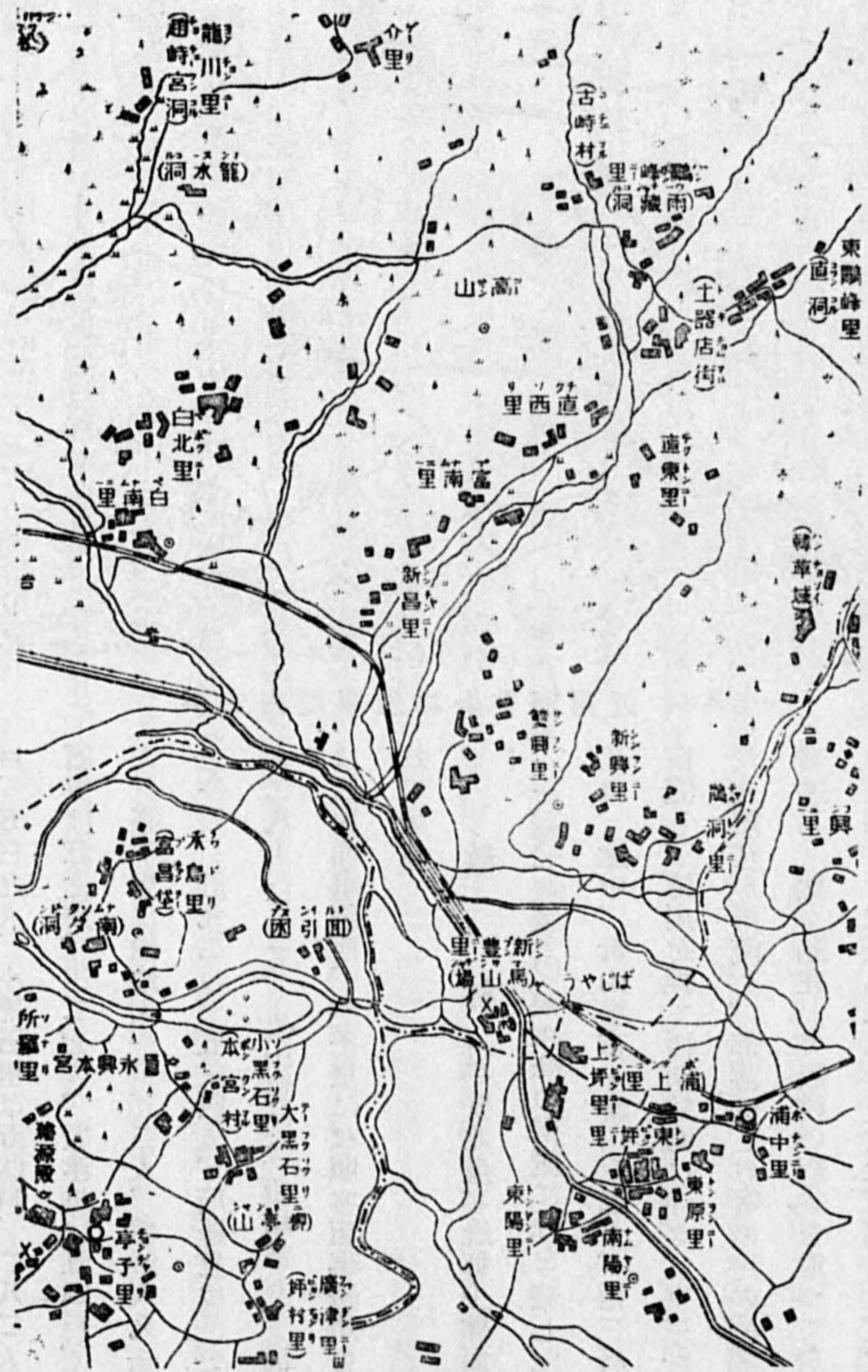
散

村

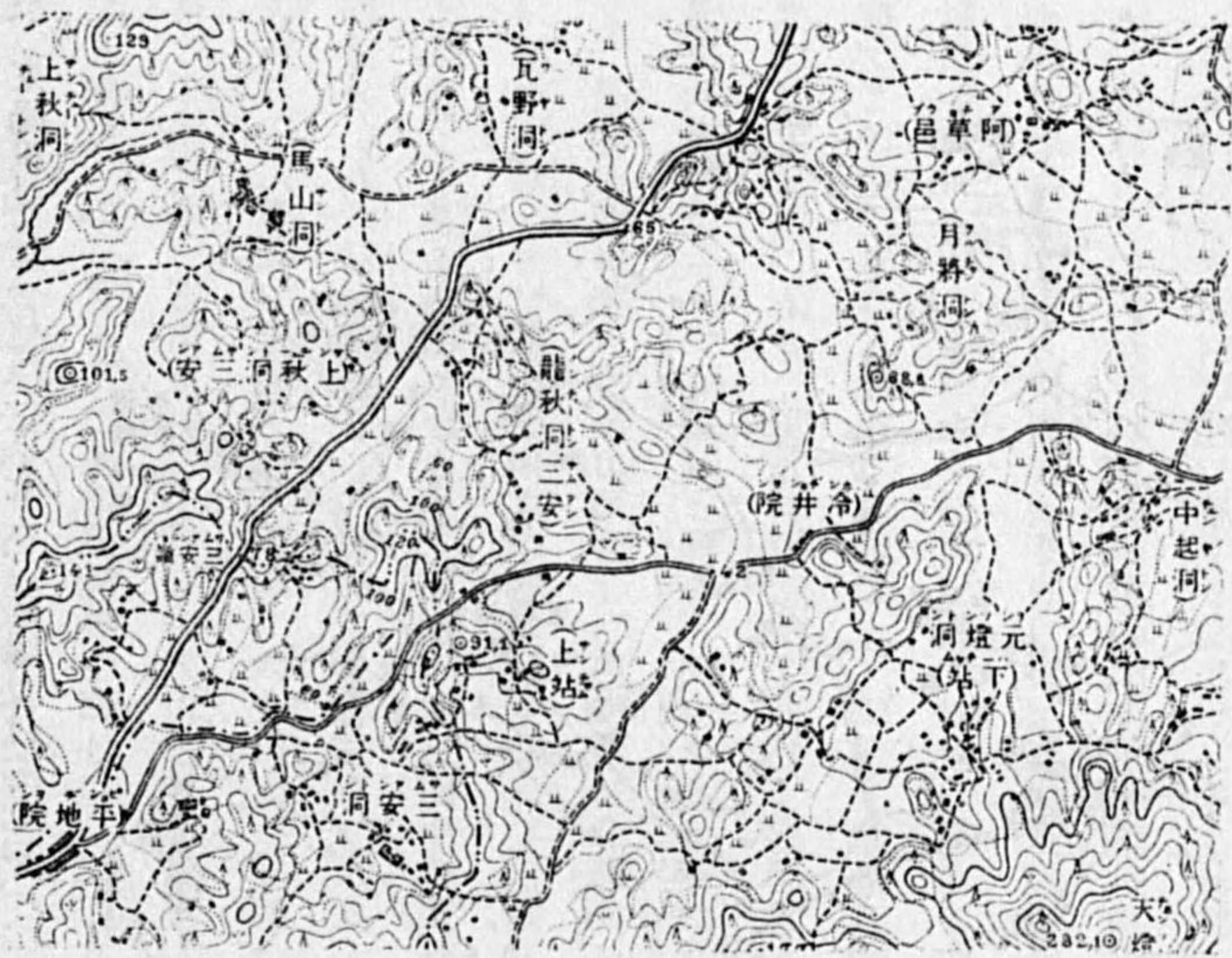
(咸鏡南道永興郡德興面附近)

朝鮮に於ける散村形態に屬する聚落は、多く新開地にこれを見、古くから發達して居る聚落には集村が多いが、散村としての適例は咸鏡南道端川郡上雲義里附近、平安北道義州郡松長面雲川洞・冒野洞附近、咸鏡南道永興郡順寧面附近、京畿道江華郡良洞面道場里附近を始め、次に擧げた地方もこれに該當する。龍興江中流々域の平野にして、永興より鎮興を経て柳島に至れる二等道路は、江の左岸を東南に走り、また元山より永興を経てこの地に來れる鐵道、咸鏡線も、同じく龍興江右岸を過ぎて東に進み、仁興面聖峴里附近に於て左折して北向し定平郡に入る。附近は田畵よく開け、龍興江より派出せる大小幾多の支流は平野の間を亂流錯さうし、數多の部落がこゝに發生して居る。而かも各民家は互に密着することなく、各戸の周圍は耕作地を以て繞らし、田畵の間に點々各處に散在し、所謂散村の形式を取つて發達して居る。而して江を更に下るも同様のものが認められ、また圖の西南方の德池江左岸及び箭灘江流域、又は圖の東北方、金津川下流々域の平野にも散村と認むべき聚落が形成せられて居る。尙ほ圖中各部落の戸口を示せば、德興面東鷓峰里は五六戸、三〇六人、鷓洞里は八六戸、四六八人、新興里は一三戸、八八人、双興里は四五戸、二四七人、新豐里(馬山場)は内地人六戸、一五人、朝鮮人一二六戸、六〇八人、支那人三戸、一四人、計一三五戸、六三七人、直西里は三七戸、二四三人、富南里は二七戸、一四六人、新昌里は二九戸、一四八人、白北里は八一戸、五二〇人、白南里は三四戸、二一五人、仁興面鷓洞里は四七戸、二二九人、化興里は二〇戸、一〇九人、浦中里は七〇戸、三六四人、東原里は内地人一戸、五人、朝鮮人四一戸、二八〇人、計四二戸、二八五人、東坪里は四三戸、二一七

人、東陽里は二二戸、一三七人、南陽里は三七戸、二二七人、上坪里は一五戸、六五人、順寧面禾島里は八九



(一分萬五) 近附面興德郡興永道南鏡咸



(一分萬五) 近附面林少郡邊寧道南安平

戸、五三九人、小黒石里は五四戸、二八二人、大黒石里は五七戸、三二七人、廣津里は五四戸、二八五人、亭子里は内地人一戸、三人、朝鮮人九一戸、五三人、計九二戸、五三四人、所羅里は一一四戸、六二八人にして、馬山場には市場あり、浦中里には仁興面事務所、亭子里には順寧面事務所を置かれて居る。

散 村 (平安北道寧邊郡少林面附近)

一、四七〇米の飛來峰の南麓に源を發したる大寧江は、途中、青山場市・泰川を過ぎ、西三軒の處を南流し、博川を経て西朝鮮灣に注ぎ、東三軒にはまた九龍江が南流し、部落はこれ等の川の流域平野に發達し、廣く點在して散村の形式を取つて居る。孟中里驛より北上し來れる道路は博川より東北に向ひてこの地に來り、平地院・龍山洞を経て雲山に至

り、平地院よりは更に東に走れる達路を出し、九龍江を渡りて寧邊に達して居る。附近には二九五米の鳶峰、一二四米の笠帽峯、九九米の張蓋峯、一八三米の烽燧山等があるが、土地は概ね低平にして、水田が開けてゐる。而して圖の東北方八院面松峴洞附近は矢張り散村ではあるが、民家は餘程密になり、西南方博川附近の部落は多少密集し、集村とならむとする傾向がある。尙ほ圖中各部落の戸口數を示せば、少林面元燈洞は一四七戸、九〇五人、燈山洞は二一五戸、一、三三四人、龍秋洞は二一六戸、一、三一五人、上秋洞は一三三戸、八五九人、博川郡博川面三安洞は一二五戸、七三二人である。

單 線 路 村 (慶尙南道山淸郡山淸面山淸)

路村を地理學的に分類すると、單線路村・片側路村・複線路村・格子狀路村・碁盤狀路村・梯形路村・十字路村・葉脈狀路村・放射狀路村・環狀路村・Y字狀路村等に分ち得るが、朝鮮に於て最も多いのは單線路村にして、慶尙北道山淸郡山淸・全羅南道光州郡飛鴉面飛鴉里・全羅南道長城郡長城面鈴泉里・平安北道朔州郡九曲面新安洞・黃海道平山道金岩面汗浦里・平安南道中和郡祥原面祥原・全羅北道任實郡任實面任實等はこれに屬し、碁盤狀路村の發達したるものとしては、慶尙北道慶州郡慶州・同道漆谷郡倭館面倭館・同道尙州郡尙州・忠淸北道淸州郡淸州等を擧げ得べく、十字路村の例に入るべき聚落は、忠淸南道天安郡天安面等場・全羅北道益山郡益山邑裡里・全羅南道潭陽郡潭陽面潭陽・黃海道平山郡細谷面漏川里等を數へ、この十字路村聚落には多く市場が發達して居る。

咸陽郡西山面に源を發したる南江は、途中安義を経て南流し、生草面に於て瀾川を合してこの地に來り、宜寧郡芝上面に於て、洛東江の本流に注ぐ。山清は南江左岸の小平地に位置し、東北方車黃面新基里黃山場より西南走し來れる道路の西側に密集し、單線路村の形式を取つて發達して居る。尙州・全州方面より安義を経、南江左岸に沿ひて南下し晋州に向へる二等道路は、部落の東側に在るも、この沿道には部落が形成されて居ない。東には浮水山・屯鐵山、西には王山、南には熊石峰・北には九似山・雙橋峯・鷹峯・松義山・龍頭峯等が散立し、附近一帯は山地多く、部落はこれ等の間に生じたる谷間、或は小平地に形成されて居り、南江沿岸の



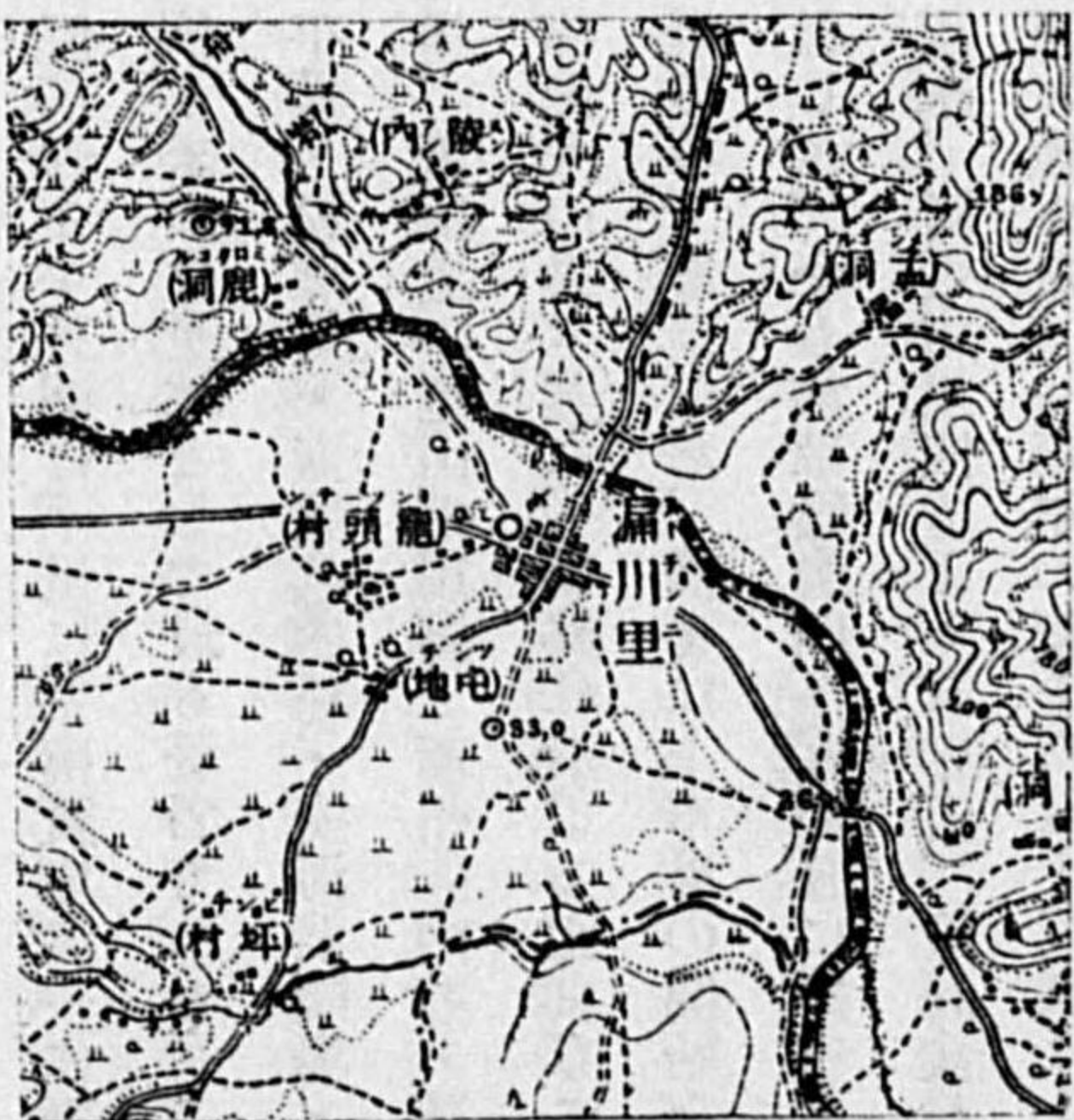
(一分萬五) 清山面清山郡清山道南尙慶

狹少なる平野は肥沃で、水田耕作が行はれて居る。山清郡廳は山清の西端玉洞に在り、寒洞に山清面事務所が置かれ、その他警察署・郵便所・農業補習學校・小學校・普通學校・金融組各・市場等があり、内地人三四戸、一四人、朝鮮人四六九戸、二、五四〇人、計五〇三戸、二、六五四人である。

十字路村 (黃海道平山郡細谷面漏川里)

禮成江支流たる右岸の平地に在り、新院より麒麟里を経て漏川に沿ひ東方汗浦里に至る達路と、南川店及び平

山より西南走して、溫井里、海州に向へる達路とが、垂直に交叉する處に部落が形成され、所謂十字路村を爲して居る。尤もその發達は未だ不充分で、四方に放射する道路に沿ひて部落が伸長せる部分は極く僅少である。東四軒に鐵峰山、東北一・五軒に五峰山があるが、この地方は禮成江及びその支流の流域にして、土地概ね低平、田畝の耕作が廣く行はれて居る。東十五軒には汗浦里ありて單線路村を成し、京義線はその西を北走して新幕に向ふ。尙ほ漏川里には細谷面事務所があり、二〇七戸、一、一三七人である。



(一分萬五) 里川漏面谷細郡山平道海黃

第四節 性質に依る分類

聚落をその性質に依りて分類する方法は學者によりて必ずしも一定しないが、私は本書編纂に當り、村落はこれを農村・山村・漁村に大別し、更に特色ある部落として、同族部落・移民部落・模範部落・特殊部落・新興部落・溫泉部落・鑛山部落を選びて取扱ひ、都邑はこれを府・邑・其他の市街地に大別し、更にその性質より、生産都邑・消費都邑・政治都邑・交通都邑・商業都邑・工業都邑・鑛業都邑・漁業都邑・軍事都邑・教育

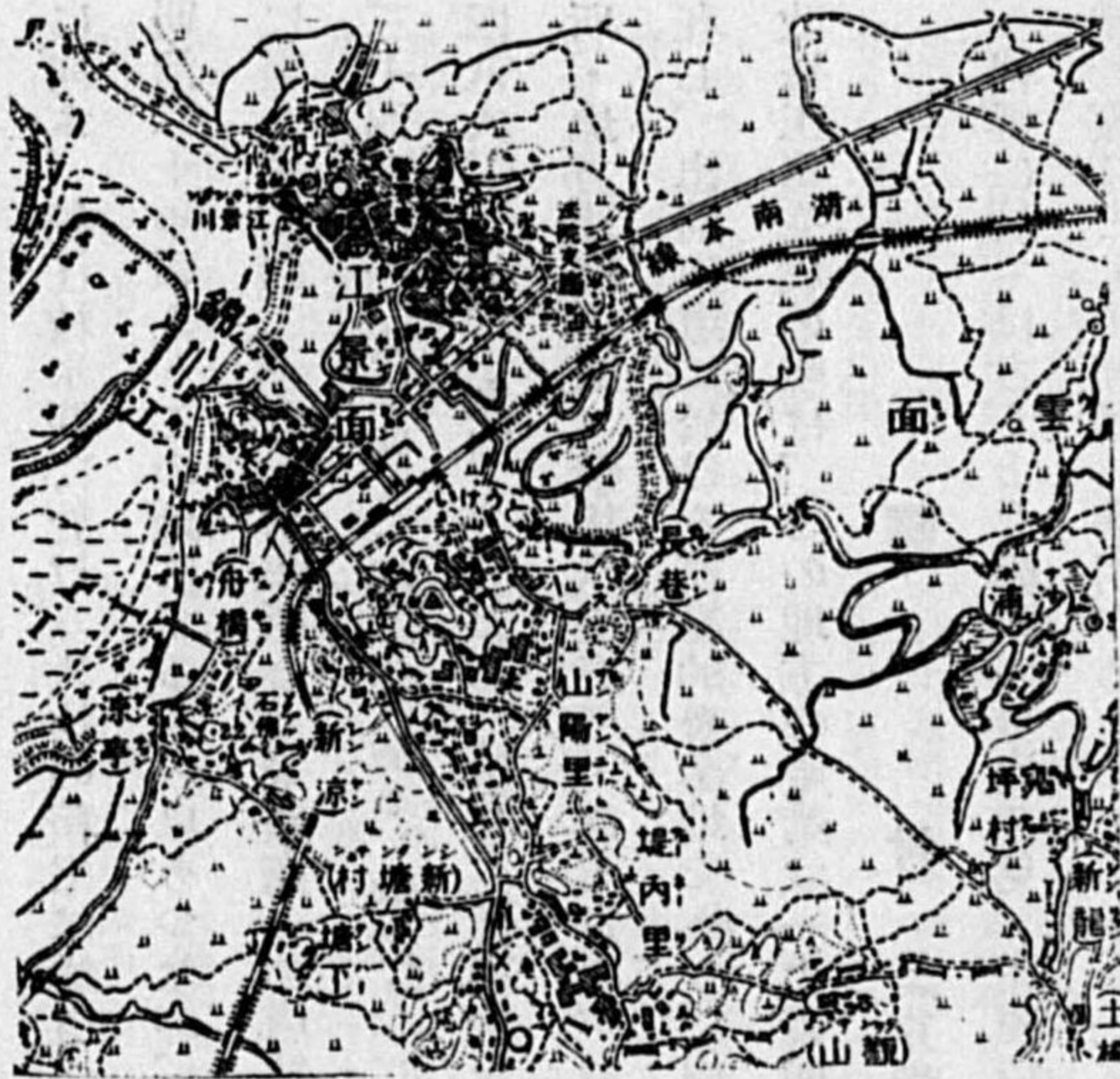
都邑等に分類した。しかしながら以上の如き分類以外、聚落には各種の特色を有するものがあるから、左にその數例を擧げて見よう。

市場聚落（忠清南道論山郡江景）

李朝中朝に一千餘の市場があり、現在一千三百餘の市場を有する朝鮮としては、市場と聚落の關係は極めて密接であり、市場所在地中には著名なる聚落が多い。市場から發達した聚落として代表的なもの、一には江景を擧げることが出来る。江景は錦江下流左岸に位置し、東北十軒にして論山、江を下りて西南に向ふこと四十四軒にして江口に群山港あり、附近一帶には錦江の灌漑する肥沃なる平野開け、夙に三南寶庫の一に數へられ、農産頗る豊富で、殊に總督府始政以來、當局の保護獎勵に依り米の生産地として最も著名である。この地は三百年來商業地として發達し、市場早くより開け、京畿の沙平場・松坡場・安城邑内場・交河恭陵場・稷山德坪場・全羅道の全州邑内場・南原邑内場、江原道の平昌大化場、黃海道の兎山飛川場・黃州邑内場・鳳山銀坡場、慶尙道の昌原馬山浦場、平安道の博川津頭場、咸鏡道の德源元山場と共に、朝鮮に於ける主要なる市場であつたことを、「萬機要覽」は誌して居る。市場は初め下市場のみであつたが、後また上市場の開始を見るに至りて益々盛況を呈し、市街の戸口もこの前後より著しく増加した。今も尙ほ陰曆四・九の日に開市あり、海産物・織物・其他雜貨の集散夥しく、一千を超える露店が出来、附近六里四方より五千人、陰曆盆前、正月前の如きは、二萬人以上の人出を見ることがあり、市中は雜鬧を極める。一箇年の賣上高五十萬圓に上り、

商店の取引も主としてこの市日に行はれる。

由來江景は、一方豊沃なる平野の中央に位すると同時に、他方錦江の舟運の便に依りて發達したるもので、上流は水は深くないが、河船を利用して窺岩里、公州を経て美江に至ることが出来、下流群山港には三、四百



忠清南道論山郡江景（一分萬五）

石積の帆船を自由に往復せしむることを得、米・豆・雜穀の輸移出が盛んである。益山郡礪山面より西北に向へる江景川は彩雲面に入りて曲流亂走し、江景の西南側に於て錦江に注ぐ。江は潮汐の影響を受けることが大なる爲め、江景川の口に閘門を設け、河水の水位を適當に維持し荷便と灌漑とに便して居る。河岸には精米所多く、道の穀物検査所・江景米穀組合あり、荷爲替もこゝで組むことが出来るから、米穀の移出には極めて都合が好い。道路四方に向ひて放射し、論山・魯城を経て公州に至る公州街道が東北に走り、礪山・參禮を経て全州に至る全州街道東南に走り、その他論山・連山・豆溪を経て大田に至る大田街道、石城を経て扶餘に至る扶餘街道、

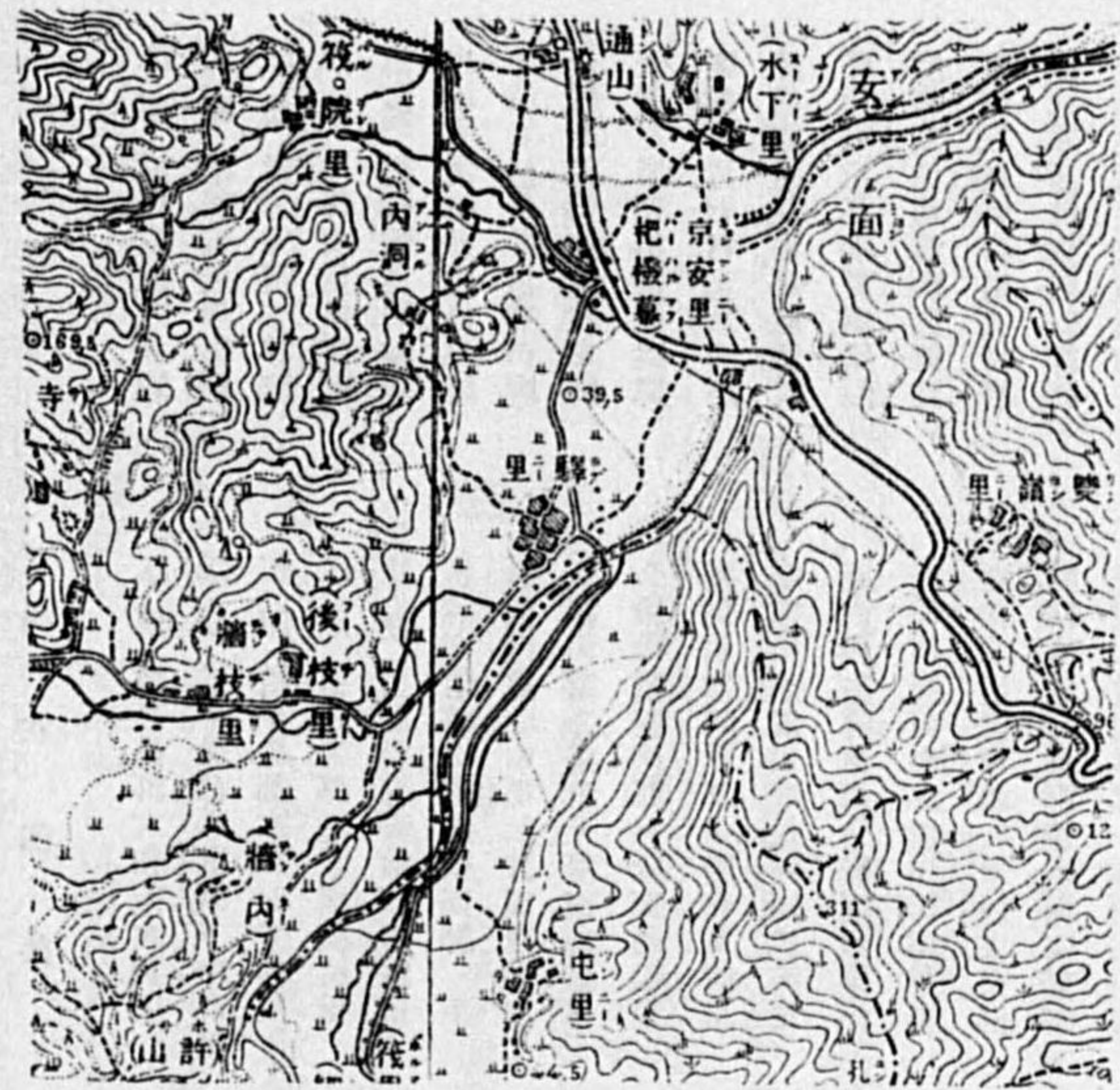
龍安・咸悅・臨陂を経て群山に至る群山街道あり、鐵道湖南線は大田より西南走し來りてこの地を過ぎ更に木浦に向ふ。錦江結氷期に於ける貨物の積出は鐵道に依つて行はれて居る。この地内地人の來住に就きて見るに、明治二十年頃よりこの地に來るものはあつたが、何れも釜山を根據として行商を試みるのみで、未だ定住するに至らず、同二十五・六年頃より米穀商人の店舗を開設する者を生じ、日露戦後は著しくその數を増し、現在三七四戸、一、六二四人に達して居る。朝鮮人二、〇二二戸、九、四三六八人、支那人五二戸、二三四四人、計二、四四八人、一一、二九四人にして、精米工場地として著名である。商業學校・殖産銀行支店・金融組合・邑事務所・地方法院支廳・穀物収檢査所・農業倉庫が置かれて居る。江景市街を中心として、附近には集村部落が点在し、忠清南道に於ける模範的農業地であり、内地人の移民もこの邊に多く分布して居る。目下實施中の河川改修工事完成の曉は、この地方の産業は一大發展を見ること、期待されて居る。

驛 村 (京畿道廣州郡慶安面驛里)

朝鮮に於ては古くより驛政の發達を見、高麗時代の驛數五百二十五に達し、沿道に於ける驛の所在地には、當時聚落として相當に著名なるものがあり、「文獻備考」に據ると、李朝時代の驛數は四百九十七となつて居るが、宣祖三十年に至り百九十二の步撥騎撥の站を置いて居る。されば官營の驛站及び民營の院の所在地は沿道に於ける聚落として發達し、その中には現在著名なる市街及び村落となつて居るものが尠くない。今試みに各地に於ける舊驛所在地聚落の戸口數を示して見よう。

舊驛院名	現在部落	戸數	人		計
			男	女	
江原道保安道天和驛	江原道平昌郡大和面大和里	六七〇	一、六七四	一、五五六	三、二三〇
江原道保安道珍富驛	江原道平昌郡珍富面下珍富里	二二九	七三九	六一九	一、三五八
江原道保安道芳林驛	江原道平昌郡大和面芳林里	四三七	一、三九一	一、二八四	二、六七五
江原道保安道横溪驛	江原道旌善郡道巖面横溪里	二二二	六〇四	五四〇	一、一四四
京畿道延礪道碧蹄驛	京畿道高陽郡碧蹄面碧蹄里	一二六	三三八	三三八	六五六
忠清右道金井道汝泉驛	忠清南道禮山郡插橋面里	八五	二五三	二三八	四九一
忠清右道金井道豐田驛	忠清南道瑞山郡仁旨面豐田里	五四	一五〇	一四四	二九四
全羅左道葵樹道益申驛	全羅南道光陽郡光陽面益申里	一五八	四一九	四一九	八三八
全羅左道葵樹道德陽驛	全羅南道蔚水郡召羅面德陽里	二六二	六九八	七一四	一、四一二
慶尙右道召村道良浦驛	慶尙南道河東郡金陽面良浦里	一二四	三二一	三三一	六五二
慶尙右道昆陽郡鳳溪院	慶尙南道泗川郡昆明面鳳溪里	九九	二八二	二四九	五三一
慶尙右道昆陽郡露梁院	慶尙南道河東郡金陽面露梁津	一七三	五一三	四七九	九九二
慶尙右道南海縣露梁院	慶尙南道南海郡雲川面露梁里	一二五	三六四	三七〇	七三四
慶尙左道安奇道安奇驛	慶尙北道安東郡安邑安奇洞	二一〇	六五八	六一七	一、二七五
慶尙左道昌樂道安郊驛	慶尙北道安東郡豐山面安郊洞	一五五	四〇一	三八二	七八三
慶尙左道安奇道雲山驛	慶尙北道安東郡一直面雲山洞	一〇七	二六七	二八四	五五一
慶尙左道昌樂道通明驛	慶尙北道醴泉郡醴泉面通明洞	一三七	四三五	三七九	八一四
慶尙右道响谷道洛陽驛	慶尙北道尙州郡尙州面洛陽里	一五八	四二四	四六三	八八七
慶尙左道黃山道堀火驛	慶尙南道蔚山郡凡西面堀火里	一八二	四七四	四五六	九三〇

即ち驛村として聚落に極めて多いが、廣州郡慶安面驛里の如きも、鐵道等の影響を受けず、昔の聚落形態を存して居る。驛里は漢江の支流慶安川の左岸に臨み、背後には平野開けて水田營まれ、部落の北約一軒には廣州



京畿道廣州郡慶安面驛里 (一分萬五)

郡廳の所在地たる京安里 (杷撥幕) あり、京城より高陽郡を過ぎて本郡に入れる自動車道路は途中上山谷里・光池院里を経て京安里に來り、これより更に東南に走り、遠く釜山に延び、また京安里より金良場に至る達路は驛里の東側を過ぎ、慶安川を渡りて南に走る。驛里は李朝時代、當時の王都たる京城より南方、忠清左道及び慶尙左道方面に至る、所謂慶南道慶安驛のありたる所で、交通上重要な地點を爲して居た。慶安道には尙ほ德豐 (廣州)・牙川 (東國輿地勝覽には河川とあり) (利)・留春・吾川 (嶺南)・楊花・新津・安平 (驪州) の七屬驛があり、丞一人を置いてこれ等を管して居た。驛里は現在戸數九九戸、人口四六二人で、圖中の京安里は内地人二九戸、八九人、朝鮮人二五一

戸、一、五七八人、支那人三戸、八人、計二八三戸、一、六七五人、雙嶺里は四五戸、二一六人、墻枝里は九六戸、五三五人である。

寺・院 聚落 (慶尙南道梁山郡下北面通度寺)

内地には神社並に寺院の門前は一大市街と發展して居るものが多いが、朝鮮には斯かる例は絶無にして、僅に寺院聚落と認むべきものに通度寺がある。通度寺は慶尙南道梁山郡下北面に在り、京釜線の勿禁驛から釜山驛からも、共に蔚山行自動車を利用して寺の大門口まで達することが出来る。新羅善德女王朝に入唐したる慈藏律師が、肉身文珠より釋迦の頂骨及び舍利百枚を授かり、歸朝してこの地を相し、蔚山郡との境を爲せる一、〇五八米の鷲棲山の南麓溪谷に寺院を建立したるに始まり、爾來長く朝鮮律宗の首刹となつた。李朝に入りても寺運衰へず、文人墨客のこの地に來遊する者も亦多く、今尙ほ土田に富むこと全鮮に一二を争ひ、所屬末寺八十五箇寺、僧尼六百三名あり、三十一本山のうちに數へられ、特別の保護監督を爲されて居る。彦陽より梁山に至れる一條の達路は尊池洞を過ぎ、寺の附近より出で



慶尙南道梁山郡下北面通度寺 (一分萬五)

南流せる小川の左岸に沿ひて南に走る。由來朝鮮に於ける寺は、高麗朝には巷街附近に營まるゝもの多く、僧侶も俗人と交渉接觸するを異としなかつたが、李朝に於ては、排佛崇儒の政策を執り、僧侶は漸次俗人との交渉を絶たれ、市街地の寺院は破壊され、概ね深山幽谷に建立せられたものゝみが残存し、内地に於ける如き所謂門前町若くは門前部落は殆んど認められず、現に三十一本山の各寺に就いて見ても、大なる部落の發生するもの殆んど見當らず、寺院の入口たる附近山麓數里の地に在る聚落には、市場があつたり、寺僧の妾や怪しき女の住んで居ることが珍らしからず、また寺有地の小作人の小聚落が、所在に點在することがある。寺院聚落としてこゝに擧げたる通度寺附近の聚落の戸口を見ると、芝山洞は二〇四戸、九八一人、葦池洞は内地人三戸、六人、朝鮮人一七五戸、九四八人、計一七八戸、九五四人、草山洞は八九戸、四九四人である。尙ほ寺院と聚落との關係を見る爲め、左に三十一本山の所在地を示して置くが、寺院が信仰の中心たらずして殆んど民衆と没交渉であり、一種の地主團體として殘存したことは、社會組織上特異な例である。

三十一 一本山

京畿道廣州郡彦州面	奉恩寺	全羅北道全州郡所陽面	威鳳寺
同 水原郡安龍面	龍珠寺	同 錦山郡南二面	寶石寺
同 楊州郡接面	奉先寺	全羅南道海南郡三山面	大興寺
同 江華郡吉祥面	傳燈寺	同 長城郡北下面	白羊寺
忠清北道報恩郡俗離面	法住寺	同 順天郡松光面	松廣寺
忠清南道公州郡寺谷面	麻谷寺	同 雙巖面	仙巖寺

全羅南道求禮郡馬山面	華巖寺	黃海道黃州郡州南面	成佛寺
慶尙北道達城郡公山面	桐華寺	平安南道平壤府慶上里	永明寺
慶尙北道永川郡清通面	銀海寺	同 平原郡公德面	法興寺
同 義城郡丹村面	孤雲寺	平安北道寧邊郡北嶺峴面	普賢寺
同 開慶郡山北面	金龍寺	江原道高城郡梧笠面	乾鳳寺
同 慶州郡陽北面	祇林寺	同 高城郡西面	楡帖寺
慶尙南道陝川郡伽倻面	海印寺	同 平昌郡珍富面	月精寺
同 梁山郡下北面	通度寺	咸鏡南道安邊郡文山面	釋王寺
同 東萊郡北面	梵魚寺	同 咸州郡北州東面	歸州寺
黃海道信川郡用珍面	貝葉寺		

迷信聚落 (忠清南道論山郡鷄籠山新都内)

一地域に戸口の定着移住して聚落を形成するは、大抵經濟上の理由に基くのであるが、内地の如く神社・寺院の門前町に相當するような聚落を見出し得ない朝鮮に於ても、迷信の盛んなる關係上、何等の經濟的根據なく、徒らに無稽の傳説迷信によりて、多數の移住者を見た例が尠くない。而してその代表的のものとしては、忠清南道論山郡の鷄籠山新都内、及び全羅北道井邑郡井州邑の普天教本部附近の同教信者、並に新興部落中に擧げてある大田郡錦屏山麓に於ける雲水教信者の集團部落の如きであらう。

位置 鷄籠山は忠南公州、論山兩郡に跨り、東方の一部大田郡に接したる朝鮮著名の山嶽にして海拔五百七十五メートルあり、其の最高峰(新都内の上方)に奇岩あり、公州より望めば其の形鷄の冠に似て居り、また

論山郡より望めば、恰も龍の昇天せむとする形體をなせるより此の名がある。

地勢 新都内と稱するは鷄龍山麓論山郡豆腐磨面中の四箇里、及び大田郡鎮岑面中の二箇里を抱含し、面積一方里に過ぎざる南面の傾斜地にして、東西北の三方は山を以て圍繞せられ、唯僅かに南の一方開濶して、湖南線豆溪驛に通ずる約一里半の五間道路開通し、人馬の往來至便にして、牛馬車に依り物資の供給を爲し居り、

其他大田郡敬天方面に通ずる七條の捷徑あるも、急坂にして僅かに里人の來往あるのみである。

移住理由 鷄龍山新都内は、由來迷信の府として全道朝鮮人の腦裡に深く浸潤し、無智の迷信者流が鄭氏の王城と化すべき地なりと言ひ、或は不老不死、羽化登仙の樂天地なりと傳へ、此の迷想に馳られて各道より移住し來る者、大正七年中のみで百數十戸、約八百人に及び、就中、江原道平康に於て白々道教徒が迷信



(一分萬五) 内都新山龍鷄郡山論道南清忠

的妄説を流布してより、一部落擧げて新都内に移住を企て、端なくも教徒と警察官と衝突したる事例さへある。

大正八年三月騷擾以來、鄭姓を樹立して由緒ある王國の建設を爲すは此時にありと、「鄭鑑録」の傳説迷語を時局に附會し、巫女、卜者乃至は宗教類似團體の野心家が宣傳を爲したる結果、移住者は急激に増加し、大正十三年十二月までに八百九十八戸、人口四千五百六十五人の多きに達した。移住者の多くは毫も時勢の推移を覺らず、荒唐無稽の迷説を盲信し、迷信と隠謀に耽ける輩のみなるも、永住するに従ひ當初の豫期に反し、物價の騰貴は貧者をして餓鬼道に陥らしめたるの觀あがる。

移居の際家財を賣却したる若干の財産は、巫女卜術の徒に搾り取らるゝと、無爲徒食の爲め忽ち皆無となりて、已むなく草鞋を造り、又は僅少の山野を開拓して粟粟を耕作し、辛うじて露命を繋ぐの状態にして、中には迷夢より覺醒して歸郷せむとするも、旅費に窮して進退谷まれる者がある。されど其の大多數の者に深く喰ひ入りたる迷信は、牢として抜くべからず、今尙ほ朝鮮獨立の都は、此の地を措いて他になしとの夢想一般に傳はり、其の腦裡より脱却せざるもの、如くである。

宗教及び類似團體 新都内には宗教及び同類似團體教を興し、中には官憲の目を潜り、窃かに怪しき祈禱をなし、人心を詭惑するの例尠からず、大正十年二月鷄龍山内にある甲寺附屬草庵を借受け、住所不定の公無風（七十年）と名乗る自稱禪宗の行者が、徒弟十七名を率ゐ、（徒弟中には女子四名あり、男子中には瑞山郡泰安面長をなしたるものあり、また京城に於て等程度の學校を卒へたるものがある）參禪と稱し二個月位該草庵

に參籠し居たるを、警官が発見取調べたる處、其の言動恰も水滸傳中の梁山伯を氣取り、諸葛亮・張良の智を説き、架空の妄想殆んど常人として目すべからず、所轄公州警察署に於ては此の集團に解散を命じ、公無風以下三名を警察犯處罰令に依り拘留處分に附して解散せしめたことがある。新都内に於て現在堂宇を建立し布教せるものは左の通りである。

- 一、淨土宗布教所
 - 一、眞宗大谷派論山同朋教出張所
 - 一、檀君教忠南支部
- 一、上帝教總本部
- 一、七星教布教所
 - 一、光華教婦人修養會
- 一、萬人教
 - 一、正道教

移住者總數 新都内に於ける昭和五年現在の移住者總數は左の如くなつて居る。

道	戸數	男	女	計
京畿道	三五	一三二	一三三	二六五
忠清北道	九八	二七四	二一〇	四八四
忠清南道	二三二	六二九	六一五	一二四四
全羅北道	四八	一三一	一三一	二六二
全羅南道	四六	一二五	一一七	二四二
慶尙北道	一一二	二六五	二六七	五三二
慶尙南道	三二	八九	八九	一七八

道	戸數	男	女	計
黄海道	一六四	四一七	四一四	八三一
平安南道	三六	一一三	一一四	二二七
平安北道	二四	五九	六一	一二〇
江原道	一一	三六	三五	七一
咸鏡南道	一三	三二	三七	六九
咸鏡北道	二	五	六	一一
計	六八五	二、三〇七	二、二二九	四、五三六

渡船場聚落 (京畿道開豊郡西面蓮山里碧瀾渡)

沿河地に於ける渡船場聚落の數は甚だ多く、浦・津・渡などの名稱の附くものにて小市街を形成せるものは尠くない。碧瀾渡は開城郡西面の西南端、禮成江下流左岸に位置し、北二軒には一九五米の百年山あり、江を隔て、彌羅山を望み、流れを下ること十軒にして禮成江口に出で黄海が開ける。京城より開城を経て此の地に來れる自動車道路は禮成江の渡を渡りて黄海道に入り、延安・海州方面に至り、また京城より新義州に至れる鐵道京義線は東北方五軒の處を右折して北向する。この地は古くより海外交通の要衝を扼し、唐宋時代かの地より開城に齎らされる貿易品は、禮成江を遡りこゝに於て陸上されて居た。碧瀾渡は京畿道と黄海道とを繋ぐ交通の關門に當り、殊に開城は李朝時代を通じて朝鮮に於ける商業の中心地であつた爲め、この地に集まる商人の往復は最も頻繁であつた。權近がその詩に「江接海天。山橫野隴。紆餘渺漫。極目無際。形勢之勝。可謂最矣。然以其爲爭渡之地。而非遊觀之所。故往來者皆芒芒焉。惟利涉是急。故未暇登覽以寓目也。」と言ひて、碧

瀾渡を過ぐる者が皆、附近山河の景勝を楽しむの暇なく、

唯江を渡るに急に、利を思ひて汲々たるを嘆じて居るの、當時の面影が偲ばれて興味が深い。今は經濟勢力の中心が開城を離れて京城・平壤・大邱等に移つたので、海外貿易にもまた影響を及ぼし、仁川・鎮南浦・釜山の諸港に於て貿易が行はれ、かつ鐵又道の開通後は陸上交通もこれを利用する者が多くなつたから、昔時の殷盛に引きかへ、此の渡は僅に地方の一渡船場と言ふに過ぎなくなりて、蓮山里(一五一戸、七七三人)中に含まれ、西面事務所が置かれて居る。對岸の碧瀾里は黃海道延白郡海月面に屬し、内地人五戸、一九人、朝鮮人二〇七戸、一、一八九人、計二一二戸、一、二〇八人である。
高麗朝以來、渡船場聚落として著名であつた碧瀾渡の不振なるに反し、洛東江沿岸の龜浦、錦江沿岸の江景、榮山江沿岸の榮山浦等は、近年に至りて急



(一分萬五) 渡瀾碧里山蓮面西郡豐開道畿京

速に進展したが、これは附近に於ける産業の振興と、鐵道の開通に伴ふ需要供給の増大、並に背後地の人口激増の結果に外ならない。

山城聚落 (京畿道廣州郡中部面廣州)

朝鮮には邑城の外に多くの山城があつたが、廣州の如きは山城聚落としての特色がよく保たれて居る。廣州は京畿道廣州郡中部面に在り、眞高三百四十メートルに形成せる山城聚落である。東四軒餘には京城より利川を経て遠く釜山に向へる一等道路が南走し、西五軒には漢江支流たる炭川が狭長の平野を灌漑して北に流れ、南には近く五四二軒の檢丹山を控え、北は西部面と境し、周圍は城堞を圍らし、一條の達路は東門より出でて東南に向ひ京安里に至り、他方南門より西北に出で京城に至れる達路あり、城堞の西北部に當れる所は南漢山にして頂上に西將臺がある。
この地はもと百濟の南漢山城にして、その始



(一分萬五) 州廣面部中郡州廣道畿京

祖溫祚王十三年慰禮城より移りてこゝに都し、唐の蘇定方が百濟を滅ぼして還歸したる後は、新羅の勢力下に在り、文武王はこゝに日長城を築いた。「増補文獻備考」に依れば、此の山城は石築にして周圍四千三百六十歩、李朝四年に改めて石築と爲し、周圍六千二百九十七歩、女堞一千八百九十七、瓮城三、一は周圍三百四十四歩、女堞一百九、一は周圍二百七十六、女堞八十七、一は周圍九十八、女堞三十一、城廓合して一百十五、四



(一分萬五) 營水右面内門郡南海道南羅全

門十六暗門あり、内に井八十、池四十五あり、英祖二十年には重修が行はれた。南漢山の東側には百濟始祖の王廟があり、部落の戸口は内地人三戸、四人、朝鮮人二四一人にして、住民は農業を以て主業とし、西北端に中部面事務所が置かれて居る。近代交通及び文化に取殘された觀はあるが、歴史上由緒のある地だけに、人情純朴、風俗敦厚の趣きがある。

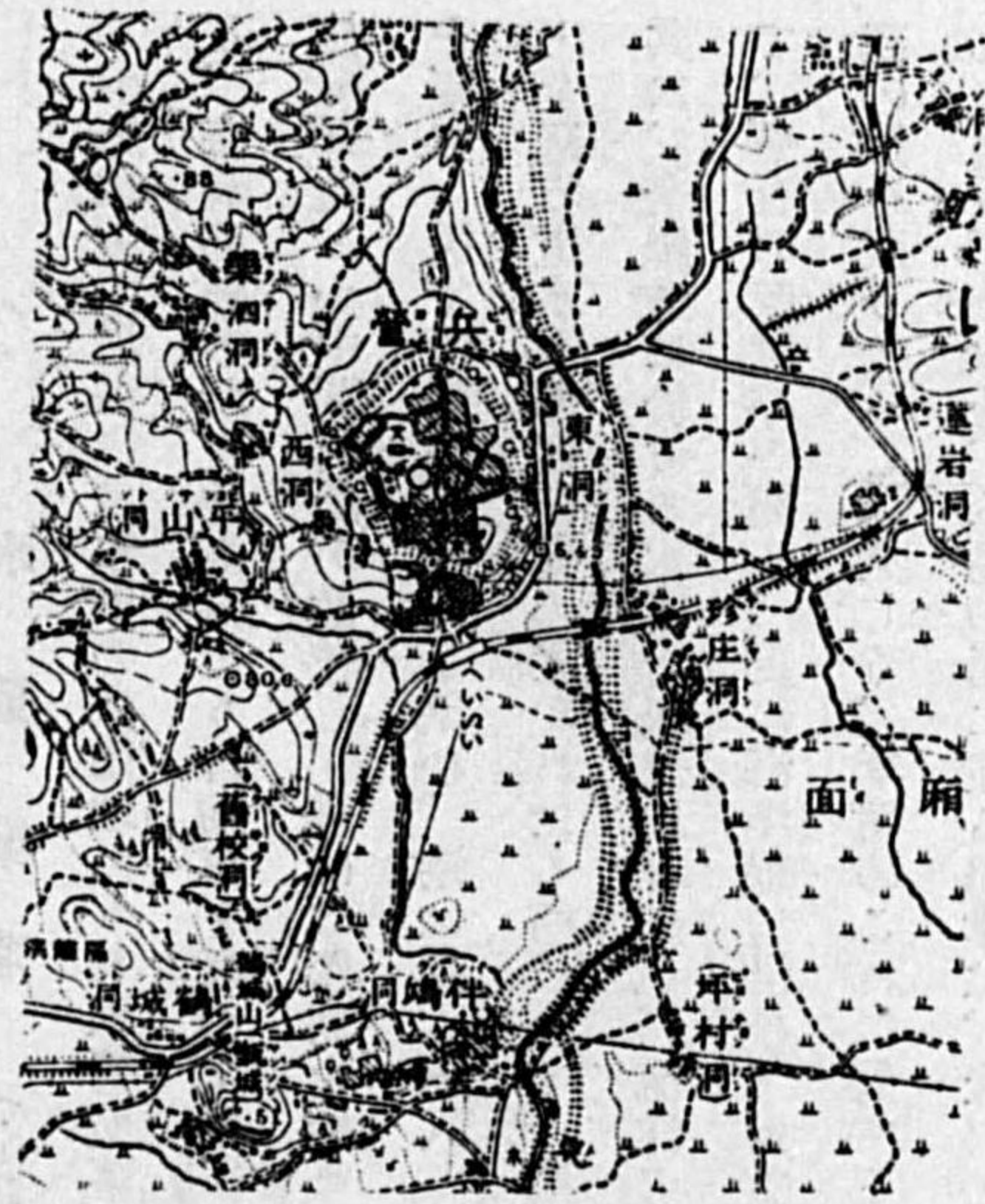
水營聚落 (全羅南道海南郡門内面右水營)

南鮮地方の沿海には水軍の根據地たりし水營聚落が多いが、その一たる右水營は全羅南道海南郡門内面に在り、海南郡廳の所在地海南より自動車を馳つて西すること四町十四町にして達する。西方海中には牛耳群島・扶南群島・小中關群島が散在し、南には珍島を始めとして獨巨群島・巨次群島・楸子群島が蒼布し、濟州海峡を隔て、遠く濟州島漢拏山を望む。港は深く灣入して前に半島を控え、古來國防上重要な地とされて居た。もと全羅右道水軍節度使營の置かれたる所にして、順天南方の海岸、内禮浦に在りたる全羅左道水軍節度使營と共に、全羅道に於ける水軍の根據地を爲し、海洋の防備に當つて居た。現在に於ても門内面事務所を中心にして、壘石の壁障が一週し、更に海岸線に沿ひて南方寶洞の北側に迄延びて居るのを認める。この海岸地方は倭寇の難を蒙りたること久しく、李朝のこれに對する苦心も尋常一様でなく、附近諸島は交戦に關する事蹟に富んで居る。右水營、珍島の間にある鳴津は、壺口の怒濤舂撞して鳴るが如きところから此の名があり、往時李舜臣が、日本軍をこゝに誘ひ寄せ大捷を博したところで、今は對岸郡内面鹿津面との間に渡船の連絡がある。尙ほ右水營の戸口數を擧ぐれば、内地人七戸、二三人、朝鮮人四四三戸、二、四三九人、支那人二戸、七人、計四五二戸、二、四六九人である。

兵營聚落 (慶尙南道蔚山郡下廂面兵營)

兵營は慶尙南道蔚山郡下廂面の西部に在り、東北方の面界には四九二米の舞龍山聳え、西には二〇〇米の小

山を控え、南は平野開け、蔚山郡中南面に源を發したる太和江は、途中凡西面・蔚山面を過ぎて東に流れ、この平野を灌溉して蔚山灣に注ぐ。北は農所面にして、太和江の支流東川は、この面の中央を貫きて南北に狭長なる平野を作り水田耕作が行はれる。釜山より東萊を経て太和江左岸を東走し來れる二等道路は、郡廳所在地たる蔚山を過ぎて兵營の東側を北に向ひて慶州に至り、他方兵營より東南に走れる一條の達路は蔚山灣岸に出で、鹽浦洞を過ぎて南牧・方魚津方面に達する。また蔚山より毛火を経て西岳に至れる朝鐵慶東線も兵營の南



(一分萬五) 營兵面廂下郡山蔚道南尙慶

側を過ぎ、東川左岸を二等道路に沿ひて北に向ふ。兵營はもと慶尙左道兵馬節度使營のありたる所に於て、古くは郡の治所にして、石城築かれ、周圍三千七百二十三尺、高さ十二尺、内に井七、渠二あり、軍倉を設置し、また董戎樓・宣威閣・組練庫が築かれて居た。營はこれより先き慶州東南方に在りたるを李朝太宗朝蔚山の治所に移されたものである。由來蔚山郡は對日關係上、軍事國防の要害地にして、李朝時代、附近には左道水軍節度使營・鹽浦營・西生浦營の如き諸營ありて近海の防備を嚴にし

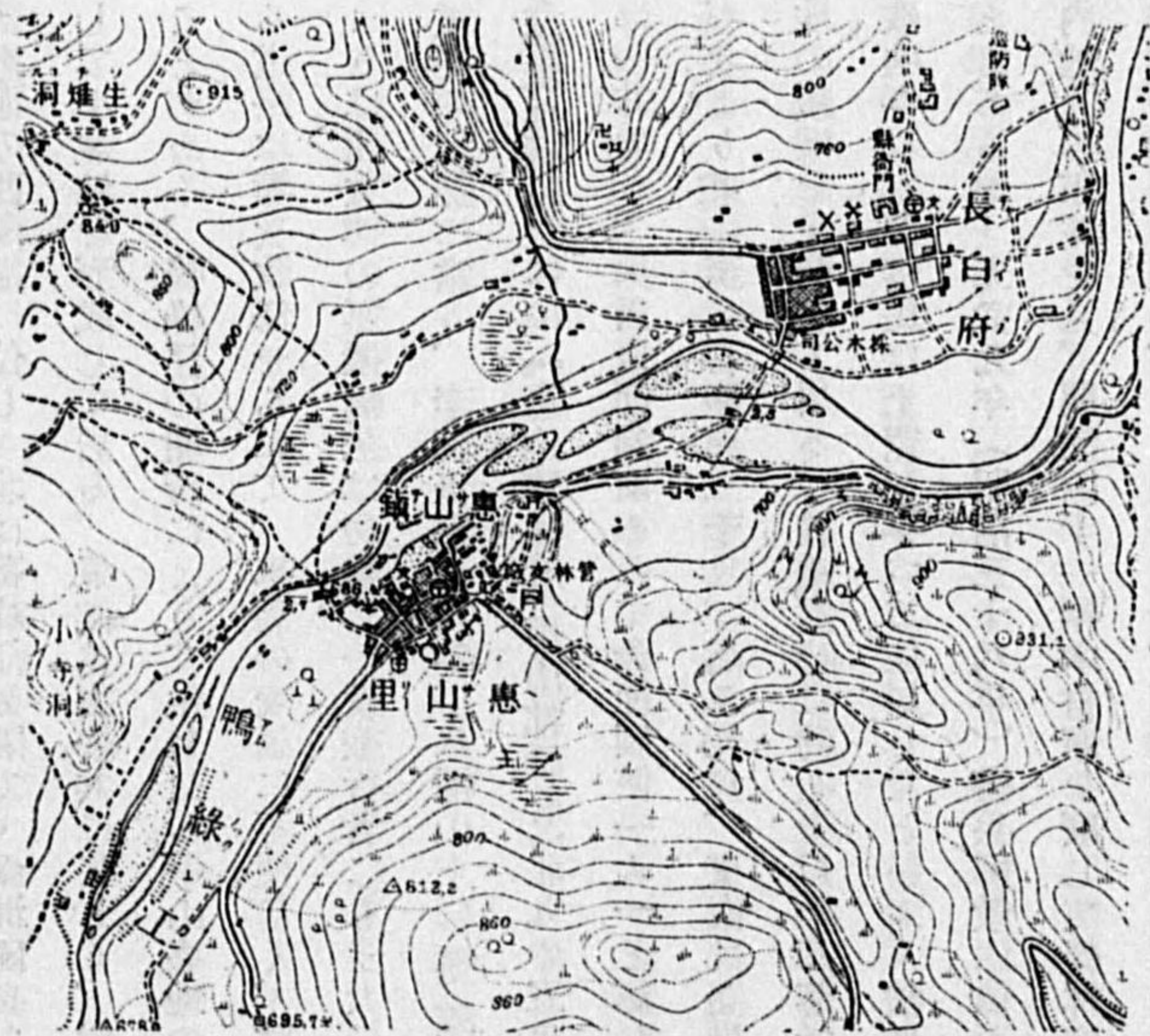
て居た。「東國輿地勝覽」には、鹽浦營の條に「舊有恒居倭戶。正徳庚午。開齊浦之變。悉入本島。」と誌しあるが、この地は齊浦・富山浦と共に三浦の一として足利時代より通商を許され、日本人が集團して住居し、内鮮相互の關係が深かつたのである。尙ほ圖中諸部落の戸口を擧ぐれば、兵營は

内地人八戸、三一人、朝鮮人八六七戸、四、二六一人、計八七五戸、四、二九二人、藥泗洞は一、二八戸、六七八人、蓮岩洞は一九〇戸、一、〇〇九人、珍庄洞は一二〇戸、六八七人であり、兵營には面事務所あり、市場はその南外里に於て毎月陰曆三・八日に開かれて居る。

鎮 營 聚 落

(咸鏡南道甲山郡普惠面惠山鎮)

古來朝鮮に於ては、鴨綠江及び豆滿江方面に鎮堡を設けて守備したる關係上、鎮又は堡の名



(一分萬五) 鎮山惠面惠普郡山甲道南鏡咸

稱を有する聚落が多い。惠山鎮は咸鏡南道甲山郡普惠面の西南端に位し、北は鴨綠江を隔て、滿洲國長白縣と相對し、背後には馬山嶺の高山聳立し、地勢逼迫して小盆地を形成して居る。氣候は寒暑共に甚しく、嚴寒には氷點下三十餘度に降り、酷暑は四十度に達することがある、鴨綠江の開析によりて生じたる甲山臺地の北縁に在り、附近には高山聳立せるも、主要地に通ずる道路は漸次改修せられて、車馬の交通に不便なく、就中大正九年惠山鎮・北青間が自動車の運轉を開始してよりは諸貨物の運搬輸送は勿論、一般旅行者にも多大の便利を與ふるに至つた。この地は國防上、産業上最も重要な地點に當り、李朝世宗十九年、八幡山上に堡鎮を築き、僉節制使を置き軍政の事を兼行せしめた。「東國輿地勝覽」には『惠山鎮は府（甲山都護府）北九十五里に在り、石築にして周二千三百二十尺、高さ九尺、内に一井あり、兵馬僉節制使ありて僉節制使一人』と誌し、「増補文獻備考」にも、『惠山鎮城は北九十五里に在り、北より東に至る石築周二千尺、高さ九尺、東南は高岸にして西北は鴨綠江、内に一井あり』といひて、此の地の鎮城を説明して居る。置鎮當時は約七十戸の部落であつたが、廢鎮後胡賊の襲ふところとなるや、部落は破壊され、部落民は土窟を穿つて住居したといふ。後世に至り北青より駐屯兵五十名を派して駐劄せしめたこともあるが、光武九年（明治三十八年）轉兵解散に依りこれを廢し、翌年軍用木材廠を設置し、此の時始めて内地人の來住を見、明治四十一年木材廠を廢して營林廠を新設し、伐材及び殖林事業が開始せらるゝや、木材事業の發展を促し、これと同時に、第三守備隊・惠山鎮憲兵隊の設置あり、また、同年從來の惠山面及び普天面を併合して普惠面となし、面事務所をこの地に置いた。か

くして惠山鎮は由來軍事上の要地としての歴史を有して居るが、近年は附近一帯の山林より産出する無盡蔵の木材事業が發展し、牛馬の取引、米粟その他雜穀の取引も盛んに行はれ、従つて住民は頓に増加を來し、大正四年には舊部落の西南に三百餘戸の家屋が新築せられ、大正九年より同十一年の間に於ても二百餘戸が新築せられ、而して目下工事進行中に在る國境鐵道もこの地を通過することゝなつて居るから、大に將來の發展が期待せられて居る。内地人の多きことは咸鏡南道内第三位に在り、二二四戸、七六九人にして、朝鮮人は九二六戸、四、四九八人、支那人五〇戸、二四六人、計一、二〇〇戸、五、五一三人である。現在、營林署・守備隊・憲兵分隊・道立醫院・郵便局・專賣局派出所・金融組合・稅關出張所・公立尋常高等小學校・公立普通小學校・警察署等がある。惠山鎮は國境都市たると共に、木材事業によりて發展した市街であるが、従つて流筏期たる五月より十月には市中繁昌し、木材業者、筏夫、藝娼妓酌婦などの入込む者多く、季節的に人口は著しく激増する。

第四章 聚落の大小

凡そ聚落の大小は、その聚落の性質、及び地勢、位置・氣候・地味・交通、並に背後地の人口・産業等、諸種の條件に依り、その影響と制限を受けて大小が定まるものであるが、これを朝鮮内に就いて見るに、大體に於て昔も今も、行政官廳や驛院・鎮・市場・停車場・港灣・漁港・鑛山・工場などの所在地の聚落は概して大きい、これに反して純農村の聚落はその戸口の集團が概して小さい。また村落に在りても、鐵道沿線や臨海地には概して大きな部落が多いが、山間や沿河地には比較的小な部落が多く、これ等部落の發達も、前者に顯著で後者に遲緩なるを認めることが出来る。

聚落の大小は通常その人口數に依りて區別さるゝが、またその人口密度に依りて觀察する方法もある。試みに朝鮮に於ける府邑面を人口密度に依りて分類すると、大正十四年の簡易國勢調査の結果では、大體左の如くなつて居り、一方里當一千人以上三千人未滿のものが八百九十六で第一位を占め、これに亞ぐものは二千人以上三千人未滿の六百六十六であり、第三位は一千人未滿の四百八十四である。而して一方里當三千人以上のものは、大抵その區域内に市街地を包含するものである。

一方里當人口數府面別分類 (大正十四年十月一日現在)

朝鮮の聚落（前篇）

府面數	一方里當人口數	府面數	一方里當人口數
六	百人未滿	六六六	三千人以上
一六一	五百人以上	三六七	三千人以上
三一七	五百人以上	六一	五千人以上
八九六	二千人以上	四一	一萬人以上

備考 當時の面の中には指定面即ち現在の邑を包含す

朝鮮の都會地としては、内地の市に相當する十四府を擧ぐべきであるが、その人口數に依る分類をして見ると、十萬以上のものは僅に京城・釜山・平壤・大邱の四府を算するに過ぎず、五萬以上のものには仁川・木浦・開城、四萬以上のものには新義州・元山・咸興・鎮南浦、三萬以上のものには群山・清津・二萬以上のものには馬山がある。邑の中にも大田・全州・光州、その他相當大なる市街地を包含するものが尠からずあるが、概して朝鮮には大市街地は多くない。

内地の町村に相當する邑面に就いて、所謂大邑面と稱せらるゝ、その人口一萬人以上のものと見ると、これが分布は左の如くなつて居る。

人口一萬人以上の邑面數（昭和六年末現在）

京畿道	一〇	黃海道	一六
-----	----	-----	----

忠清北道	二二	平安南道	二四
忠清南道	二三	平安北道	三八
全羅北道	二〇	江原道	三〇
全羅南道	五七	咸鏡南道	五三
慶尙北道	四九	咸鏡北道	二七
慶尙南道	四〇	計	四〇九

右の中、邑に屬するものは四十一あり、他の三百六十八は面に屬する。尤も邑に在りても市街地の人口よりはるその村落に屬する人口の多いものがあり、市街は村落の一部分に形成されて居るか、又は市街の附近に多くの村落戸口が散在して居るのを普通とするが、邑の中には、昔からの行政官廳の所在地たる舊邑内、又は併合後發達したる著名なる市街地が多い。人口一萬人以上の面の中にも、京畿道高陽郡龍江面・延禧面・崇仁面・蘆島面・漢芝面、平安南道大同郡大同江面・栗里面・南串面の如き、大市街地の一部又は接續地に屬する爲めに戸口の多いものもあり、舊邑内又は市場・停車場及び漁港等の新市街地を包含する爲めに、若くは市街地附近に在りて人口稠密せるが爲めに、戸口の多いものも尠くないが、概して面積廣大なる大村が多い。

聚落の大小はその面積に依りて定めるのではないが、朝鮮に於ては一面の面積三十方里以上の大面は、平安北道九、江原道一、咸鏡南道二十一、咸鏡北道七、合計三十九面あり、就中、咸鏡北道茂山郡三社面の一四六・一方里は最も廣大である。この外咸鏡南道豊山郡熊耳面の九二・二方里、甲山郡普惠面の八九・九方里、咸鏡北道茂山郡三長面の七八・七方里、咸鏡南道長津郡東下面の七四・九方里等も面積廣大である。これ等の諸

面はいづれも山地帯に位置し、人口密度は極めて稀薄であり、部落は遠隔の地に點在し、従つて比較的人口の集團せる部落から面の中心たる面事務所の所在地に至る距離の十里以上に達するものが尠くない。試みに數例を擧げて見ると、面事務所より部落の距離遠きものとしては、鏡城郡朱南面(五十五里餘)の生龍洞十六里十二町、仙境洞十六里六町、龍潭洞十六里、廣徳洞十一里、新雲洞九里、南坪洞八里、鏡城郡龍城面(二十五里餘)の富潤洞六里十八町、吉州郡長白面(三十六里餘)の晦南洞六里二十四町、富寧郡西上面(三十一里餘)の天仲洞七里十八町、茂山郡三社面(百四十六里餘)の倉坪洞七里三十町、迎岩洞十二里三十町等であり、斯かる例は極めて多く、平安・江原・咸鏡諸道の山地帯では、市場所在地の部落に出るに途中一泊せねばならぬ所は珍らしくない。

第一節 部落の性質別大小

都邑の大小に就いては市街地の部に於て叙述してあるから、こゝでは主として村落の單位を爲す部落の戸口に關して考察を試みたい。村落の大小を戸口によりて分類する方法は、學者によりて一定しないが、現在の行政區劃たる里洞の下には數個の部落が包含されて居るから、村落の大小を的確に究めんとせば、部落の戸口を調査する必要がある。そこで私は部落の戸數を、三十戸未満、三十戸以上六十戸未満、六十戸以上百戸未満、百戸以上百五十戸未満、百五十戸以上の五階級に分ち、本書の調査に當りて取扱ひたる模範部落、同族部落に就いて分類した結果、模範部落に於ては、總數二百五十七部落中、三十戸以上六十戸未満の部落八十七、

六十戸以上百戸未満の部落七十六、百戸以上百五十戸未満の部落五十三、百五十戸以上の部落三十四、三十戸未満の部落十の順序となつて居り、同族部落に於ては、總數一千六百八十五部落中、三十戸以上六十戸未満の部落五百九十五、六十戸以上百戸未満の部落四百九十八、百戸以上百五十戸未満の部落二百五十一、三十戸未満の部落百九十一、百五十戸以上の部落百五十の順序となつて居ることが明かにされた。模範部落及び同族部落は、共に多少特殊の事情を有し、現在の行政區劃たる里洞の下に在りて、普通の部落に比し集團性に富んで居るが、大體現在に於ける部落の大小はこれに依りて窺ふことが出來よう。

模範部落戸數別表 (昭和五年)

道名	一五〇戸以上	一五〇〇戸未満	六〇〇戸以上	一〇〇〇戸未満	六三〇〇戸以上	一〇〇〇〇戸未満	三〇戸未満	計
京畿道	一	三	四	一四	九	三	二五	二五
忠清北道	一	一	二	九	二	二	二二	二二
忠清南道	一	六	二	三	三	一	一二	一二
全羅北道	四	五	五	二	二	二	二八	二八
全羅南道	三	一	七	二	一	一	三三	三三
慶尙北道	七	九	一	七	一	一	四三	四三
慶尙南道	七	一	八	一	一	一	二一	二一
黃海道	二	五	五	九	一	一	一九	一九
平安南道	二	一	五	三	三	一	一一	一一
平安北道	二	三	二	三	二	一	九	九
計	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七

朝鮮の聚落(前篇)

同族部落戸數別表(昭和五年)

道名	戸數別					計
	一五〇戸以上	一五〇〇戸以上	六〇〇戸以上	六三〇〇戸以上	三〇戸未満	
京畿道	五	一〇	四五	一〇八	六七	二三五
忠清北道	八	一六	四八	四七	一五	一三四
忠清南道	六	二一	五一	三六	一七	一三一
全羅北道	八	一〇	二六	四二	六	九二
全羅南道	二	三	六六	九六	二〇	二二七
慶尙北道	三	五	七六	六二	一九	二四七
慶尙南道	二	三	四五	二七	一四	一三五
黃海道	六	二〇	四一	六二	一四	一四三
平安南道	七	一五	二六	五一	一三	一一二
平安北道	九	一八	一七	二九	二	四八
江原道	四	七	三二	二二	七	七九
咸鏡南道	三	二	一八	二二	六	六三
咸鏡北道	三	二	七	一一	七	二九
總計	一五〇	二五一	四九八	五九五	一九一	一、六八五

備考 本表は同族外戸數をも包含す

第二節 部落の地勢別大小

朝鮮の部落戸數を全般的に調査したものは、臨時土地調査局に於て、土地調査の基本資料として、各面長より報告せしめたる、面の地理、洞里及び洞里内の舊洞里又は部落の戸口を調査したものがあつた。該調査書は概ね大正四五年頃の事實に基いたもので、今日に於ては多少戸口數に異動を生じたこと、思はれるが、數百冊に亘る尨大なる資料中、地勢別に從ひ適當と認めたる、二百十四面、八千九十七部落に就き、前記の五階級の下に、更に十戸未満の部落の一階級を加へて調査した結果、その實數並に比率は左の如くなつて居る。

地勢別部落戸數表

調査したる面數	戸數別					調査部
	一五〇戸以上	一五〇〇戸以上	六〇〇戸以上	六三〇〇戸以上	一〇戸未満	
平野	四二	二〇	四九	一四八	六三二	一、四九六
鐵道沿線	三六	二八	三八	一三七	四九五	一、二〇六
沿河地	三八	一五	四五	一四二	四七八	一、二二八
沿海地	四二	三一	六五	一九一	六二八	一、六八一
山間	五六	八	三五	一七二	一、二〇二	一、四八六
總計	二一四	一〇二	二三二	七九〇	三、四三五	八、〇九七

備考 調査したる面は便宜上舊行政區域に據る、以下各表同じ。

地勢別部落戸數比率表

第四章 聚落の大小

調査したる 部落總數	戸數						計
	一五〇戸以上	一〇〇戸以上	六〇戸以上	三〇戸以上	一〇戸以上	一〇戸未満	
平野	一、四九六	一三	三三	九九	三〇〇	四二二	一、〇〇〇
鐵道沿線	一、二〇六	二二	三二	一一四	二九一	四一〇	一、〇〇〇
沿河地	一、二二八	一一	三七	一一六	二九九	三八九	一、〇〇〇
臨海地	一、六八一	一八	三九	一四	三〇六	三七四	一、〇〇〇
山間	二、四八六	三	一四	六九	二三〇	四八四	一、〇〇〇
總平均	八、〇九七	一三	二九	九七	二七八	四二四	一、〇〇〇

即ち部落の戸數を六階級に分つと、十戸以上三十戸未満の四二・四%が第一位を占め、三十戸以上六十戸未満の二七・八%がこれに亞ぎ、十戸未満の一五・九%、六十戸以上百戸未満の九・七%、百戸以上百五十戸未満の二・九%、百五十戸以上の一・三%といふ順序となつて居る。而して百五十戸以上の大部落數比率は、鐵道沿線及び臨海地に多く、山間は最も少い。百戸以上百五十戸未満の部落は臨海地及び沿河地が最も多く、山間が最も少い。六十戸以上六十戸未満の部落は臨海地が最も多く、平野これに亞ぎ、山間は最も少い。十戸以上三十戸未満の小部落は、山間が最も多く、平野これに亞ぎ、臨海地は最も少い。十戸未満の細小部落は山間に最も多く、鐵道沿線に最も少いのである。これを要するに、山間には小部落が多く、臨海地及び鐵道沿線には大部落が多いが、平野及び沿河地はこの兩者の中間に位して居る。最近數年間に於ける戸口調査の結果に依りて見るも、鐵道沿線と臨海地の戸口増加は特に著しいから、その方面に於ては、新しい大部落の形成されて居るもの

も尠くない。今左に調査面の地勢別に據る部落大小數を示して見よう。

平野部落戸數別表

道名	郡・面名	戸數						計
		一五〇戸以上	一〇〇戸以上	六〇戸以上	三〇戸以上	一〇戸以上	一〇戸未満	
京畿道	高陽郡 崇仁面	四	八	一〇	八	二	三二	
	高陽郡 碧蹄面			六	一七	一三	四一	
忠清北道	長湍郡 郡内面			三	八	二一	五〇	
	忠州郡 江西面			三	二	四	四〇	
忠清南道	鎮川郡 德山面			二	一〇	三一	五二	
	報恩郡 報恩面			一	八	七	五八	
全羅北道	公州郡 灘川面			一	六	一八	四〇	
	論山郡 論山面			一	四	二	九	
全羅南道	牙山郡 新昌面			三	一六	三一	四六	
	淳昌郡 淳昌面			一	五	二	九	
慶尙北道	慶州郡 尙州面			一	九	一	二六	
	慶州郡 尙州面			一	八	一	二四	
慶尙南道	海平郡 月也面			一	九	一	二六	
	海平郡 三山面			一	八	一	二四	
慶尙東道	寶城郡 兼白面			一	九	一	二六	
	迎日郡 神光面			一	八	一	二四	

道名	郡名	一五〇戸以上	一五〇〇戸以上	一六〇〇戸以上	六三〇戸以上	一〇〇〇戸以上	一〇戸未満	計
咸鏡北道	慶源郡	1	1	1	1	1	1	7
	東原郡	1	1	1	1	1	1	7
咸鏡南道	咸興郡	1	1	1	1	1	1	7
	南州東面	1	1	1	1	1	1	7
江原道	寧越郡	1	1	1	1	1	1	7
	江西郡	1	1	1	1	1	1	7
平安北道	熙川郡	1	1	1	1	1	1	7
	鐵山郡	1	1	1	1	1	1	7
平安南道	順川郡	1	1	1	1	1	1	7
	順川郡	1	1	1	1	1	1	7
黄海道	新溪郡	1	1	1	1	1	1	7
	延白郡	1	1	1	1	1	1	7
慶尙南道	蔚山郡	1	1	1	1	1	1	7
	蔚山郡	1	1	1	1	1	1	7
慶尙北道	醴泉郡	1	1	1	1	1	1	7
	醴泉郡	1	1	1	1	1	1	7
合 計								
二 〇								
四 九								
一 四 八								
四 四 八								
六 三 二								
一 九 九								
一、四 九 六								

鐵道沿線部落戸數別表

道名	郡名	一五〇戸以上	一五〇〇戸以上	一六〇〇戸以上	六三〇戸以上	一〇〇〇戸以上	一〇戸未満	計
咸鏡北道	慶源郡	1	1	1	1	1	1	7
	東原郡	1	1	1	1	1	1	7
咸鏡南道	咸興郡	1	1	1	1	1	1	7
	南州東面	1	1	1	1	1	1	7
江原道	寧越郡	1	1	1	1	1	1	7
	江西郡	1	1	1	1	1	1	7
平安北道	熙川郡	1	1	1	1	1	1	7
	鐵山郡	1	1	1	1	1	1	7
平安南道	順川郡	1	1	1	1	1	1	7
	順川郡	1	1	1	1	1	1	7
黄海道	新溪郡	1	1	1	1	1	1	7
	延白郡	1	1	1	1	1	1	7
慶尙南道	蔚山郡	1	1	1	1	1	1	7
	蔚山郡	1	1	1	1	1	1	7
慶尙北道	醴泉郡	1	1	1	1	1	1	7
	醴泉郡	1	1	1	1	1	1	7
合 計								
二 〇								
四 九								
一 四 八								
四 四 八								
六 三 二								
一 九 九								
一、四 九 六								

道名	郡・面名	戸数別					計
		一五〇戸以上	一〇〇戸以上 一五〇戸未満	六〇戸以上 一〇〇戸未満	三〇戸以上 六〇戸未満	一〇戸未満	
京畿道	漣川郡 官仁面	1	1	1	1	1	2
忠清北道	江華郡 佛恩面	1	1	1	1	1	2
	沃川郡 東二面	1	1	1	1	1	2
忠清南道	陰城郡 甘谷面	1	1	1	1	1	2
	唐津郡 唐津面	1	1	1	1	1	2
全羅北道	公州郡 牛城面	1	1	1	1	1	2
	牙山郡 仙掌面	1	1	1	1	1	2
全羅南道	高敞郡 高敞面	1	1	1	1	1	2
	沃溝郡 羅浦面	1	1	1	1	1	2
慶尙北道	光陽郡 津月面	1	1	1	1	1	2
	康津郡 康津面	1	1	1	1	1	2
慶尙南道	善山郡 善山面	1	1	1	1	1	2
	義城郡 點谷面	1	1	1	1	1	2
黄海道	宜寧郡 華陽面	1	1	1	1	1	2
	梁山郡 上華陽面	1	1	1	1	1	2
延白郡	咸安郡 代山面	1	1	1	1	1	2
	昌原郡 大山人面	1	1	1	1	1	2
延白郡	雲山人面	1	1	1	1	1	2
計		17	17	17	17	17	17

道名	郡・面名	戸数別					計
		一五〇戸以上	一〇〇戸以上 一五〇戸未満	六〇戸以上 一〇〇戸未満	三〇戸以上 六〇戸未満	一〇戸未満	
慶尙北道	漆谷郡 若木面	1	1	1	1	1	2
慶尙南道	金泉郡 金泉面	1	1	1	1	1	2
	晋州郡 文山面	1	1	1	1	1	2
黄海道	咸安郡 伽倻面	1	1	1	1	1	2
	東萊郡 沙上面	1	1	1	1	1	2
平安南道	黄州郡 黑橋面	1	1	1	1	1	2
	平山郡 平山面	1	1	1	1	1	2
平安北道	義州郡 咸遠面	1	1	1	1	1	2
	平康郡 肅川面	1	1	1	1	1	2
江原道	鐵山郡 鐵山面	1	1	1	1	1	2
	鐵原郡 西邊面	1	1	1	1	1	2
咸鏡南道	安邊郡 衛益面	1	1	1	1	1	2
	安邊郡 培花面	1	1	1	1	1	2
咸鏡北道	富寧郡 石幕面	1	1	1	1	1	2
合計		17	17	17	17	17	17

沿河地部落戸數別表

道	郡	面名	一五〇戸以上	一〇〇戸以上 一五〇戸未満	六〇〇戸以上 一〇〇〇戸未満	六三〇戸以上 一〇〇〇戸未満	一〇〇〇戸以上 三〇〇〇戸未満	一〇戸未満	計	
忠清南道	富川郡	大串面	1	1	1	1	1	1	6	
		大川面	文鶴面	1	1	1	1	1	1	6
			松山面	1	1	1	1	1	1	6
			石門面	1	1	1	1	1	1	6
			仁州面	1	1	1	1	1	1	6
			海州面	1	1	1	1	1	1	6
			萬頃面	1	1	1	1	1	1	6
			幸安面	1	1	1	1	1	1	6
			山内面	1	1	1	1	1	1	6
			麗水面	1	1	1	1	1	1	6
全羅北道	高敞郡	海州面	1	1	1	1	1	1	6	
		海州面	仁州面	1	1	1	1	1	1	6
			萬頃面	1	1	1	1	1	1	6
			幸安面	1	1	1	1	1	1	6
			山内面	1	1	1	1	1	1	6
			麗水面	1	1	1	1	1	1	6
			義新面	1	1	1	1	1	1	6
			花山面	1	1	1	1	1	1	6
			新右面	1	1	1	1	1	1	6
			道陽面	1	1	1	1	1	1	6
全羅南道	麗水郡	義新面	1	1	1	1	1	1	6	
		麗水面	山内面	1	1	1	1	1	1	6
			幸安面	1	1	1	1	1	1	6
			山内面	1	1	1	1	1	1	6
			幸安面	1	1	1	1	1	1	6
			山内面	1	1	1	1	1	1	6
			幸安面	1	1	1	1	1	1	6
			山内面	1	1	1	1	1	1	6
			幸安面	1	1	1	1	1	1	6
			山内面	1	1	1	1	1	1	6
慶尙北道	慶州郡	道陽面	1	1	1	1	1	1	6	
		道陽面	南亭面	1	1	1	1	1	1	6
			浦項面	1	1	1	1	1	1	6
			栢谷面	1	1	1	1	1	1	6
			東谷面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
蔚山面	1	1	1	1	1	1	6			
慶尙南道	蔚山郡	東谷面	1	1	1	1	1	1	6	
		東谷面	蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
			蔚山面	1	1	1	1	1	1	6
蔚山面	1	1	1	1	1	1	6			

道名	郡	面名	一五〇戸以上	一〇〇戸以上 一五〇戸未満	六〇〇戸以上 一〇〇〇戸未満	六三〇戸以上 一〇〇〇戸未満	一〇〇〇戸以上 三〇〇〇戸未満	一〇戸未満	計	
京畿道	始興郡	君子面	1	1	1	1	1	1	6	
		君子面	君子面	1	1	1	1	1	1	6
			君子面	1	1	1	1	1	1	6
			君子面	1	1	1	1	1	1	6
			君子面	1	1	1	1	1	1	6
			君子面	1	1	1	1	1	1	6
			君子面	1	1	1	1	1	1	6
			君子面	1	1	1	1	1	1	6
			君子面	1	1	1	1	1	1	6
			君子面	1	1	1	1	1	1	6
君子面	1	1	1	1	1	1	6			
道	合計	合計	15	45	142	367	478	181	1228	
		合計	合計	15	45	142	367	478	181	1228
			合計	15	45	142	367	478	181	1228
			合計	15	45	142	367	478	181	1228
			合計	15	45	142	367	478	181	1228
			合計	15	45	142	367	478	181	1228
			合計	15	45	142	367	478	181	1228
			合計	15	45	142	367	478	181	1228
			合計	15	45	142	367	478	181	1228
			合計	15	45	142	367	478	181	1228
合計	15	45	142	367	478	181	1228			

臨海地部落戸數別表

朝鮮の聚落(前篇)

道名	郡名	面積	戸数					計
			一五〇戸以上	一五〇戸未滿	六〇〇戸以上	六〇〇戸未滿	一〇〇戸以上	
京畿道	開城郡	嶺北面	一	一	一	一	一	二
	槐山郡	延豐面	一	一	一	一	一	二
忠清北道	堤川郡	白雲面	一	一	一	一	一	二
	丹陽郡	魚上川面	一	一	一	一	一	二
忠清南道	公州郡	鷄龍面	一	一	一	一	一	二
	青陽郡	雲谷面	一	一	一	一	一	二
全羅北道	保寧郡	湄山面	一	一	一	一	一	二
	鎭安郡	富貴面	一	一	一	一	一	二
全羅南道	任實郡	任實面	一	一	一	一	一	二
	茂朱郡	安城面	一	一	一	一	一	二
慶尙北道	星州郡	金水	一	一	一	一	一	二
	英陽郡	日月	一	一	一	一	一	二
慶尙南道	咸陽郡	西上	一	一	一	一	一	二
	聞慶郡	開慶	一	一	一	一	一	二
計			二四	二四	二四	二四	二四	二四

道名	郡名	面積	戸数					計
			一五〇戸以上	一五〇戸未滿	六〇〇戸以上	六〇〇戸未滿	一〇〇戸以上	
慶尙南道	東萊郡	機張面	一	一	一	一	一	二
	南海郡	南面	一	一	一	一	一	二
黄海道	甕津郡	龍泉面	一	一	一	一	一	二
	延白郡	海城面	一	一	一	一	一	二
平安南道	長湍郡	薪花面	一	一	一	一	一	二
	股栗郡	西部面	一	一	一	一	一	二
平安北道	龍岡郡	金谷面	一	一	一	一	一	二
	平原郡	漢川面	一	一	一	一	一	二
江原道	蔚珍郡	平海面	一	一	一	一	一	二
	安邊郡	安道面	一	一	一	一	一	二
咸鏡南道	咸興郡	西湖面	一	一	一	一	一	二
	鏡城郡	漁郎面	一	一	一	一	一	二
咸鏡北道	鏡城郡	梧村面	一	一	一	一	一	二
	明川郡	下加面	一	一	一	一	一	二
合計	慶興郡	蘆西面	一	一	一	一	一	二
	富寧郡	連川面	一	一	一	一	一	二
計			一、六八一	一、六八一	一、六八一	一、六八一	一、六八一	一、六八一

山間部落戸數別表

朝鮮の聚落 (前篇)

道 路 一等道路 京城東小門より來り、本面敦岩里、彌阿里、水踏里を経て楊州郡蘆海面に入り、更に北向して議政府、元山方面に向ふ。

二等道路 京城東大門より來り、本面崇仁洞、龍頭里を経て鐵道京元本線を踏切り、九里面に入り、更に東走して、加平、五湖里方面に至る。

三角山脈 本面牛耳里、加五里、彌阿里の北に連亘す。

北漢山 本面の西北界に在り、頂上白雲臺、海拔八三六米)は神道面に屬す。

漢江の支流漢川は京元本線に沿ひて流下し來り、本面の東側を更に南して灘島面、漢芝面の面界を爲す。

長	徵	新	園	祭	河	山	山
位	慶	設		基	川	岳	脈
里	里	里	里	里	里	里	里
石下上長	清懷里徵	塔遇安新	小大安安園	龍祭			
申月月位	涼墓門慶	仙設	鐘鐘	頭基			
里谷谷里	里洞洞園	洞里里契	岩岩里里里	里里			
四五一	三八九	二五〇	二八六	一七四			
一二四四	一四九九五	一四九九	二六五	一三〇五			
一八九三	六九二二	六六七一	八八	〇五			
二、一三五	一、六三二	一、二〇八	一、一六七	八二八			
五二一	五三四二	二四四	二六〇	三三六			
四三九	八三三	四二四	五九四	一三八			
七〇六	四三〇	二四七	九四	八〇			

京畿道高陽郡碧蹄面

城	貞	典	敦	彌	加	牛	樊
北	陵	農	岩	阿	五	耳	里
里	里	里	里	里	里	里	里
城	孫清小大	踏典	三敦	小植彌	大加	牛	樊
北	哥 貞貞	十農	仙岩	水	水	五	耳
洞	里水 亭	里陵	里	里	里	里	里
	二五四	二四七	二一〇		一五九		
	一五一	一三五	一六二	二〇八	六六三	六七	二一八
	一、〇三七	一、一八三	一、一〇六		七八二		
	二二〇	五〇六	三七六	九八四	三四五	三八六	九八七
	五五五	六七七	七三〇		三二四		

道 路 一等道路 義州道路は京城西大門より西北走して本面に入り、曲陵山左岸に沿ひ、龍伏院、酒幕を過ぎて條里面春日川に向ふ。達路 龍伏院より碧蹄館を過ぎ惠陰嶺(一六四米)を越えて坡州郡廣灘面に入る。

山 脈 開明山脈 本面の西南に連亘す。

山 岳 大慈山 高陽里西方、高峰山城石里西方、鷹峰遊仙里西方、鳴鳳山奈遊里北方に聳立す、本面北界に徳坡嶺あり。

第四章 聚落の大小

朝鮮の聚落 (前篇)

洞	碧	仙	高	大	官	奈	沙	文
里	里	里	里	里	里	里	里	里
名	上木	上佛	新舊	古龍賓	侍仕	奈遊	新新	書水
名	岩	山	校	亭	墓	山	院	院
名	里	地	洞	谷	洞	里	里	里
戸	一三七	一〇二	一三四	一六六	一四三	一二九	一〇九	八三
數	五一六 五七五	六一一 四八〇	七三一 三一四	五一一 四三三 一五五 八七	三六四 〇六七	七五 四	二 九 五 七 五 〇	四 一 二 七 四
人	八三〇	六四二	七〇五	八一〇	六六三	七三四	六二九	五〇〇
口	二四 九八 五四	四一 八一 〇五	四一 三六 八二	二一 六七 六三 五七 四七 八七	一三 二一 五九 六五 二	四三 〇二 八六	一一 二一 五七 四五 八	二一 一 五〇 四 五 三 二

二八八

京畿道長湍郡内面

芝	雪	城	
里	里	里	
名	馬芝	馬竹	
名	院	院	
名	里	里	
戸	七五	一一二	一九七
數	三三 四六 五	五三 七五	一三 三四 四五 六七 九八 七
人	四〇八	六三四	一一二 一五
口	一一 八〇 二 三一 四	三一 二二 三二 九七	二二 二二 三三 九二 四九 四四 七七 五七

道 路 一 等 道 路 京 城 西 大 門 北 走 し、本 面 に 入 り、白 蓮 里、邑 内 里、點 元 里、松 山 里、造 山 里 を 過 ぎ て 開 城 に 向 ふ
三 等 道 路 本 面 點 元 里、邑 内 里 を 經 て 芳 木 里 に 至 る 線 と、點 元 里 よ り 西 南 走 して 津 南 面 に 入 れ る 線 あり

山 岳 白 鶴 山 津 西 面 金 陵 里 と 郡 内 面 邑 内 里 中 と に 跨 り て 聳 立 す、海 拔 二 二 九・三 米 あり

河 川 臨 津 江 下 流 本 面 の 東 南 側 を 流 下 す
板 門 川 本 面 を 南 北 に 流 る
大 川 本 面 を 南 北 に 流 る

同	邑
里	里
名	西五桃加西
名	上峰花
名	洞洞洞洞
戸	三三七
數	二七 〇七 六四 二六
人	一、六二二
口	三 九七 二一 一六 〇五 五六 二七

第四章 聚落の大小

二八九

第四章 聚落の大小

左部里	邑内里	河川	山岳	山脈	道路	造山	松山
槐左新大	城柳東松上京下中	濯錦溪 本面の南から北に流る	雪華山 本面東南に聳立す	荒山 本面西北に連亘す	二等道路 天安より來りて豊基里に入り、温泉里を過ぎて新昌面新昌に向ふ	造台招	松山
花部橋	内器邊亭前	舊洞里名又は部落名				山城賢	
里里里里	里里里里里里里					洞洞(俗稱五山)	
一三六	一九九	戸				七八	
一七二二	一一三 一一五四	數				五二 五五一 一	
三八一四	八四五八四〇一九					二一五 一五三 三五七	
八二四	一、〇〇六	人				三四二	
四一一	二 三二	口				二二 二二 六二三	
六七三四	九八一五八五一九					二九一 五七六 六二五	
八八二六	五七三七五八六五					九四九 二六三 五五三	

朝鮮の聚落(前篇)

點元里	白蓮里	亭子里	芳木里
點猪景白元	江上坊栗馬水孔	新開栗南盧五瓦	郭金坊日浪梨
食觀洞(俗稱吳寺)	席浦洞(俗稱吳寺)	味洞(俗稱吳寺)	梨木洞(俗稱吳寺)
一三四	一三〇	一一九	一一二
三二 三五八	四二 五五五	四二 〇五〇	二二 三〇七
五五六	六二九	五四二	五二五
一一二 四〇	二二 七七一	二 四九	一 九七
五一二〇五	〇五二四〇〇八	八三八三二〇	七〇二 一二四
			一七五二 二八二
			五五六四二五八
			二五八二三五八
			四五七〇

第四章 聚落の大小

仁	城	伏	冷	武	西	南	西	城	洞	河	山	山	道
鳳	東	龍	林	陽	門	町	町	下	里	川	岳	脈	路
里	里	里	里	里	里	里	里	洞	里	名			
城舞仁	城栗伏	城龍林	城陽	城門外	城下	城南	城南	城西	城西	城			
上鳳	東	所龍	下井	陽洞	城	中	南門	洞	城	下			
里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里			
一二三	一四五	五九	一一四	一〇五	一一〇	一一〇	一一〇	二五八	二五八	戸			
六一三	八二二	一四一	五六一	一九〇	一一三	一三六	一〇五	一九八	八八	數			
七九七	八二五	〇三六	〇四〇	〇五五	二二〇	二〇六	一九八	一九八	八八				
二九三	五五〇	七九〇	二五〇	七八〇	六四八	五二五	一、一〇五	一、一〇五	人				
三五〇〇	一四八九	一六七〇	二五〇〇	三四〇〇	六四七一	一四四〇	二四三〇	二四三〇	口				

尙州邑より三方に放射せり、一は草山里を経て咸昌に向ひて北走するもの、一は新鳳里、佳庄里、梁村里を経て金泉に至れるもの、今一は外番里、仙郎峙を過ぎて遠く釜山方面に向へるものなり

俗離山脈 本面の東南に連亘す

屏風山 面の東界に在り、海拔三六五米なり 仙郎峙 屏風山の南一軒に在り、海拔九〇米なり 甲帳山 八〇五米ありて面の東南界を爲す 天鳳山 午臺里南方に聳立して尙州の鎮山なり

外西川は洛東江の支流にして面の東北部を東南に向ひ、南川は尙州東南の平野を東北に向へり

慶尙北道尙州郡尙州面

豐	實	防	龍	岐	信	草	温	長	法
基	玉	築	禾	山	仁	沙	泉	存	谷
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
仙清豐	得新實	長黑希防	板龍下上	地新城岐	文笠信	興開草	温	長	歌法
門堂基	璞基玉	在石安築	橋井禾禾	羅坪山山	山岩仁	基興沙	泉	存	舞谷
里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里	里里里
四五	七四	六五	五九	四八	六一	六五			三二
一七七一	一二四二	一三九五	二二一九	一七八二	一二二四	二二九三	五九三	三三三	一一三九
一六〇	三六六	三九四	三七一	二三六	三四二	三一			一四三
五二八	一二三	三八一	七四三	三三六	六二五	一四五	三四〇	一九〇	五八五

朝鮮の聚落 (前篇)

花 蔓 竹 釜 草 中 洛 道 屏 軒 外 花 書 仁
 山 山 田 院 山 德 上 南 城 新 倉 開 谷 坪
 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里 里

挾花 自外内 竹 釜釜 箕草雙連鉢 中於 洛 道 屏 屏内 外 花 花道書 道月仁

山田 山汝汝 田 上院 山山岩山山 德 上 南 城 上 倉 倉 開 溪中堂 上坪通
 里里 里里里 里 里里 里里里里里 里里 里 里 里 里里 里 里里里 里里里 里里里

七二 一五八 八六 九七 一三五 五四 八一 九七
 五二 一九五 五 四四 一二二 四 八五 八 八 九 三二 四 三四 二一五
 〇二 四〇四 二 〇六 〇〇五二 三三 三 二 四 四〇 二 〇 九二〇 九五三

四〇八 九九八 五七〇 五七〇 七二六 三一〇 五二八 五二〇
 三一 六三 二二 二二 一一 二 四二 六 五 五 一 七 二 二 二 一 二
 〇〇 七〇二 九 五五 六〇三 三三 四五七 六六 〇七 九二 二〇 五二五 九七六
 〇八 八〇〇 〇 〇六 〇五〇〇五 〇六 〇九 〇 〇〇 〇 〇五 八〇〇 〇〇〇

互 興 午 智 梁 佳 新 開 洛
 洞 角 臺 川 村 庄 鳳 雲 陽
 里 里 里 里 里 里 里 里 里

申長互 興 新五 臥五智 九堡梁 梨昌道五 校鳳鳳鳳新 新大大小大 南坳洛

木洞而 角 豐大 禾山川 浦村山 木洞庄佳 村元頭大安 基堤方開開 山所陽
 里里里 里 里里 里里里 里里里 里里里里 里里里里里 里里里里里 里里里

九三 六四 一一九 一六 九四 一〇六 五九 一〇七
 一二五 六一 六 一〇 二四四 二五 三 三二 一一 一一 一八
 二三八 四〇 六三〇 七四五 四九三八 七五七二五 七〇六五一 五四八

四七〇 三五 六四 六五七 五五〇 九四六 二四五 五四八
 一一 二 三 五 一二二 一三 三 三一 三 三一 四
 六一九 二七 二 三 五六四 五五四 二五三四 四三四五七 六四二六五 一八五
 三〇七 三 〇一 五〇五 七五五 五五〇〇 〇六五〇五 五〇五〇五 八〇〇

朝鮮の聚落(前篇)

溪山里 小新記 山溪溪 里里里 八八 二二三 五八五 二九六 五〇四 一四二 〇四〇

黄海道載寧郡載寧面

道路

二等道路 碧山里より新登里、柳花里、楠亭里、日新里、文昌里、壽昌里、石井里を経て林泉里、漢川里に至る
二等道路 柳花里より菊花里、陽山里を経て旺峴里に至る
三等道路 柳花里に在り

山脈

筐山と稱する鐵鑛山は本面陽山里に在り

新登里	新登洞(俗稱서리)	二一六	二一六	九三一
柳花里	柳花洞(俗稱지우물)	一三九	一三九	五七四
菊花里	菊花洞(俗稱구화물)	一六九	一六九	七三三
楠亭里	楠亭洞(俗稱남정물)	一九一	一九一	八五三
壽昌里	壽昌洞(俗稱수창물)	八〇	八〇	五〇四
日新里	日新洞(俗稱일신거리)	八四	八四	三七九
文昌里	文昌洞(俗稱문창거리)	一六八	一六八	二四一
石井里	石井洞(俗稱석정거리)	一三六	一三六	五六〇
校井里	校井洞(俗稱교정거리)	八五	八五	四〇九
碧山里	碧山洞(俗稱청산거리)	一一一	一一一	一〇八
皮鏡山	皮鏡山洞(俗稱피경산거리)	二四	二四	六一
玉鏡山	玉鏡山洞(俗稱옥경산거리)	一	一	一
鏡山	鏡山洞(俗稱경산거리)	一	一	一
皮山	皮山洞(俗稱피산거리)	一	一	一
峴山	峴山洞(俗稱현산거리)	一	一	一
月峴山	月峴山洞(俗稱월현산거리)	一	一	一
舊陰洞	舊陰洞(俗稱달음거리)	一	一	一
林泉里	林泉洞(俗稱림천거리)	一	一	一
大泉里	大泉洞(俗稱대천거리)	一	一	一
中麻里	中麻洞(俗稱중마거리)	一	一	一
新峴里	新峴洞(俗稱신현거리)	一	一	一
小峴里	小峴洞(俗稱소현거리)	一	一	一
山後里	山後洞(俗稱산후거리)	一	一	一
都峴里	都峴洞(俗稱두현거리)	一	一	一
筐山	筐山洞(俗稱상산거리)	一	一	一
平陽里	平陽洞(俗稱평양거리)	一	一	一
石野里	石野洞(俗稱석야거리)	一	一	一
新登里	新登洞(俗稱신등거리)	一	一	一
艾北里	艾北洞(俗稱애북거리)	一	一	一
新登里	新登洞(俗稱신등거리)	一	一	一
艾北里	艾北洞(俗稱애북거리)	一	一	一
東城里	東城洞(俗稱동성거리)	一	一	一
上城里	上城洞(俗稱상성거리)	一	一	一
注基里	注基洞(俗稱주기거리)	一	一	一

新得里	新得洞(俗稱신득거리)	一〇七	一〇七	三五八
月峴里	月峴洞(俗稱월현거리)	九九	九九	一七〇
大泉里	大泉洞(俗稱대천거리)	八四	八四	一八八
中麻里	中麻洞(俗稱중마거리)	九四	九四	一八八
新峴里	新峴洞(俗稱신현거리)	八四	八四	一八八
小峴里	小峴洞(俗稱소현거리)	八四	八四	一八八
山後里	山後洞(俗稱산후거리)	八四	八四	一八八
都峴里	都峴洞(俗稱두현거리)	八四	八四	一八八
筐山	筐山洞(俗稱상산거리)	八四	八四	一八八
平陽里	平陽洞(俗稱평양거리)	八四	八四	一八八
石野里	石野洞(俗稱석야거리)	八四	八四	一八八
新登里	新登洞(俗稱신등거리)	八四	八四	一八八
艾北里	艾北洞(俗稱애북거리)	八四	八四	一八八
新登里	新登洞(俗稱신등거리)	八四	八四	一八八
艾北里	艾北洞(俗稱애북거리)	八四	八四	一八八
東城里	東城洞(俗稱동성거리)	八四	八四	一八八
上城里	上城洞(俗稱상성거리)	八四	八四	一八八
注基里	注基洞(俗稱주기거리)	八四	八四	一八八

平安南道順川郡舍人面

道路

二等道路 平壤より北向し來れる二等道路は本面に入り、新院、坪里、舍人場、保德巨里、碑石巨里、鳳鶴里松橋

第四章 聚落の大小

鳳	社	青	玉	三	松
鶴	倉	玉	田	花	嶺
里	里	里	里	里	里
乾馬裏松車間樽	冷榻社翠柴賣	上學鄭大新中	蘭車徐栽上	内上三	隱大新城松
場橋下井倉石究			唐(俗稱)	三花密	障嶺
洞洞村里村洞里	里洞里中隅洞	里洞村洞村洞	洞(俗稱)村峴洞	洞里里	洞洞村洞洞
一〇四	六九	一〇六	一四	一〇五	一七
二二二二二二	二二二二二二	二二二二二二	二二二二二二	二二二二二二	二二二二二二
九一七〇三三一	六五一三三三	三八六九四六	三八三四六	三一六五〇〇	二二七四七二七
三九九					
五二四	三五三	四八六	五七九	五三三	六二四
七九四九八五六	三二〇六一一	二八七三二四	〇四六六九	一六五一	四二二六五
七六四五〇八四	六三七〇三四	八五五六三〇	九二〇九九	八二二	九三三四五

里、泥橋を過ぎて慈山面に入り、慈山を経て寧遠に至る
 三等道路 一は坪里より東して三花里を過ぎ厚灘面に入り、他は舍人場より西に向ひ、上硯、臣陪洞を過ぎて大同郡
 龍岳面に入り順安に至る

妙香山脈支系 本面の東界をなして南北に走る
 蘇射山 蘭洞の東南に在りて面の東境をなし海拔三五四・二米あり
 百尾山 隱密洞の東北、城隍祭の東南に在りて本面の東境をなし海拔三九三・九米あり
 鳶峯 本面の最南端に在り、海拔三四三米あり
 杜茂山 臣陪洞の東に在り、海拔二六八・六米あり
 鳳麟山 安國里粉登洞の北に聳え、本面の西北界を爲し、海拔五五一・三米あり、山の南麓寺巨里には安國寺あり
 將帥峴 上硯の南に在り、大同郡龍岳面との界に在り
 三峯山 君臣里の西北に聳立す
 鷹峯山 社倉里東方に聳立す
 鷹峰 青玉里の東北に聳立す
 仲徳山 舍人場南方に聳立す
 蛇川 大同江の支流にして杜茂山下に源を發し、臣陪洞、上硯、坪里、三花里を過ぎて厚灘面に入る小川なり

德	君	舍	洞
山	臣	人	里
里	里	里	名
新重院	臣陪洞	上陽舍	舊洞名又は部落名
德里(俗稱坪里)	洞(俗稱合里)	地人	
院	洞	硯洞場	
七五	一〇九	二九九	戸
二一三	五五八	二五五	數
三七五	一四〇	一、四二〇	人口
三九二	六四九	一、二六四	
一九七	三〇四	一、一三八	
九四九	四五		

咸鏡南道咸興郡南州東面

盤	石	安
松里	隅里	國里
張韓柴泥	立書石碑獨安新炭保	粉寺連石陰盧崔
八二	石 德 哥	堡巨漢龜
四一	將大 巨	洞里洞巖村村
七六九九	巖洞洞洞洞洞洞	洞里洞巖村村
一六〇	一三三	一六〇
三二一三 六四一一	一三一 七九四九	三一 七一七八
七七七	六四四	七七七
一一五 四七五	一 七三	一一五 四七五
九一五 四七五	三九四 七三	一一五 四七五

二等道路 沙浦里、龍湖里、舊灘里を経て營堡里に至り、咸興西湖間鐵道に平行して西湖津に至る
 達路 咸興より瑚連川を渉り、漢川右岸を東し、面界草高台嶺を越えて退潮面に入り洪原に至る
 草高臺山脈 本面の東方に連亘す
 賜花峰 湖南、湖上、舊灘四里分界中央に聳立す
 龍鳳山 大興里中央に聳立す 蓮臺峰 大興里東方に聳立す
 天柱峰 大興里東南方一・三軒の處に聳立す、海拔五六一・七米にして、本面、退潮面及び西湖面の面界をなす
 舞子峰 草興里東方に聳立す

山岳

道路

綠豆峰 仁興里中央に聳立す
 阿房宮德 豐東里北方に聳立す
 宕巾峰 上保里東方に聳立す
 釜峯 自興里中央に聳立す
 雲柱峰 本面の東北界をなし、東高台嶺の西北一・二軒にあり、海拔六一七・八米あり 雪峰山 豐東里の北一・三軒に在り、本面の北界を爲し、山陰、北州東面に屬すには歸州寺あり 朴萬嶺 海拔二六六米あり、雲谷里の南一軒に位し、本面の南界を爲し、小路此の嶺を過ぎて雲田面に通ず 佳七峰 海拔三二二米あり、本面、西湖面及び雲田面の三面に跨る 陵嶺 佳七峰の東に位し、雲谷里より東南走し來れる一條の聯路は此の嶺を越えて、西湖面陵前里に至る 德嶺 海拔三七五米あり、陵嶺の東北一・二軒に位し、面界をなす、小路ありて西湖面に入る 蓋來峰 雲谷里の東北、草興里の西南に在り、海拔三六三・六米あり
 好緣川 北より東面西方一部を通過す
 城川江 東面西方極邊より南方を抱流す
 漢川 雲柱峰南麓に源を發し、本面東方より西方に向ひて流れ、好緣川に注ぐ、兩岸に奮開く

河川

洞 里 田 南 湖 上 灘 北 興

里 里 里 里 里 里 里

洞	里	田	南	湖	上	灘	北	興
里	里	里	里	里	里	里	里	里
舊洞名又は部落名	樞田里(俗稱 樞田)	南湖(俗稱 樞田)	湖上里(俗稱 樞田)	塘内(俗稱 塘頭)	塘頭(俗稱 塘頭)	洪村(俗稱 塘頭)	興里	興里
戸數	二八	三〇	二六	二七	二八	二八	二四	二四
人口	一七五	一七二	一七五	一六一	一七二	一七二	一四〇	一四〇

第四章 聚落の大小

大興里	蓮峰里	自興里	雲谷里	東興里	新興里	仁興里	中興里	上保里	中保里	保古里	新保里	沙浦里	龍浦里	營堡里
〔大〕芳紐(俗稱芳紐)	坪村(俗稱 坪말)	〔大〕紫芝洞(俗稱紫芝洞)	咸春洞(俗稱咸春洞)	고이치(俗稱고이치)	고이치(俗稱고이치)	新興里(俗稱新興里)	三柳亭(俗稱三柳亭)	中里	東斗洞(俗稱東斗洞)	龍洞(俗稱龍洞)	新寺洞(俗稱新寺洞)	保村(俗稱保古里)	沙浦里	龍浦里(俗稱沙浦里)
四四	六三	二七	二七	一八	四二	一八	三六	二〇	二五	二五	四四	三九	三六	一〇七
二二〇	三〇	五一	二七	一八	四二	一八	三六	二〇	二五	二五	四四	三九	三六	三〇
二八〇	一八一	四五七	二〇六	一五〇	三三六	一一四	二二四	一一二	一六二	一六二	二七八	二四〇	二八〇	二二二
一一五〇	一三〇〇	三七八	二〇六	一五〇	三三六	一一四	二二四	一一二	九七二	九七二	二五八〇	二四〇	二八〇	二二二

鐵道沿線

京畿道振威郡丙南面

鐵道

釜山より北向し來りて本面に入り、木浦里、間浦、平澤、通伏里、銀室里を過ぎて松炭面に入り京城に至る

一等道路 天安、成歡方面より北向し來りて本面に入り、鐵道線路に沿ひて松炭面に入り水原に向ふ

三等道路 一は平澤より西南に走りて芙蓉面に入り、他は三巨里より碑前里、蛤井里を経て元谷面に入り安城方面に向ふ

等外道路 一は三巨里より東北に向ひ毛山里を経て松炭面七院里に至り、一は細穡里、銀室里より西北に走りて古徳面に入る

河川 安城川 本面の南界を曲流西走す

戸

人

口

河川	芝制里	新堡里	細橋里	通伏里	平澤里
〔芝〕蔚蔚	〔新〕古新	〔細〕銀細	〔通〕通	〔平〕平	〔澤〕澤
九一	七七	六〇	一一	一一	一一
三七	三三	二四	二一	二一	二一
四八四	三八七	三〇一	五四四	五四四	五四四
二〇三四	一〇七二	一〇〇一	一〇八五	一〇八五	一〇八五
九四一	五〇二	一〇〇	一〇八五	一〇八五	一〇八五

第四章 聚落の大小

軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里
軍門里	碑前里	蛤井里	柳川里	東朔里

京畿道開城郡中西面

高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里
高太	明高	薪明	社午	麗陵里

舊洞名又は部落名

戸

數

人

口

忠清南道天安郡天安面

福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里
福帆彌月	七海	馬山	大存	早牛	館前里

鐵道 京義線 釜山より北へ向して本面に入り、天安を過ぎ星井里、樊里、新酒幕、業成里を過ぎて稷山面に入り京城に至る

道 一等道路 京南鐵道 天安より西南に向ひ富昌里、雙井里を過ぎて牙山郡排芳面に入る

二等道路 木浦、公州より來れるものと大邱、鳥致院方面より來れるものとが、廣徳面に於て相合し、北走し來りて本面に入り、鐵道線路に沿ひて更に北し、平潭、水原に向ふ

河川 天安川 本面の東南に流る

山岳 太祖峰 留糧里の東に聳立し、海拔四二四米あり

馬洞	馬沙堤	高堤	川内峯	里里里	洞洞洞
后新裡	基	里里里	洞洞洞	里里里	洞洞洞
舊洞名又は部落名					
戸					
數					
人					
口					

群山線 裡より西に向ひて五山面に入る
 全北輕便鐵道 裡より西に向ひて五山面に入る
 三等道路 全北輕便鐵道及び群山線に沿へるものと、裡の中央を南北に貫くものとが、裡の南に於て十字路を爲し、また裡より東北に走り益山に至れるものと、西北に向ひ臨陂に至れるものとあり

全羅北道益山郡益山面

鐵道 湖南線 大田より來りて本面に入り、古縣里の東、南中里の西を南走し、裡里を過ぎて更に南に向ひ金堤郡白鷗面に入る

鳳鳴	留楸	富蟻	盆下上坪堂校	昌項	谷坪	後	里里	里里	里里	里里	里里	里里	里里	里里	里里
戸															
數															
人															
口															

舊洞名又は部落名

聖城	新堂	斗井	新富	院城	邑内	星井	富堡	業成	安棲	洞里
栗聖靈沙	松新	新新下上	驛新	城院	停客西中東	紙樊	内富	溫業立光	下中上新安	人城羅
堡酒斗斗	富	車舍	井	土陽城	珠殿殿殿	棲	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞
戸										
數										
人										
口										

洛山	洞山	里名	戸	數	人	口
江秋蘆步釜	蒼湖兵	舊洞里名又は部落名	一三六	七二三 一一九六	八四七	四一二 二五六 一六八三

慶尙北道漆谷郡倭館面

鐵道 京釜線 大邱より西北走し來り、倭館を過ぎて若木面に入り金泉に向ふ。
 道路 一等道路 大邱より來りて本面に入り、錦南洞、洛山洞、倭館洞、石田洞を経て若木面に入り金泉に向ふ。
 二等道路 三清洞、梅院洞、倭館洞を経て石田洞に至る。
 三等道路 倭館洞より西南に走り星州に至る。
 等外道路 倭館洞、錦山洞、洛山洞を経て錦南洞に至る。

木川里	水木龍新新下新回回木	二六六	六三一一 二六	一、二一九	一一二 一八三三 八一 二三八
	月工子坪龍新福龍福川		五 一〇二〇七二四八		四七四九五六八五〇一

銅山里	石灘里	大場村	金江里	新興里	裡
上新月古銅	澗九龍桑柳石	水九新大	雲望石新富金江	新龍龍新長草	新后長葛
佛坪	佛坪	佛坪	佛坪	佛坪	佛坪
柳洞潭棧山	伏浦林川灘	坪潭月場	龍山里成里(部落なし)	衣岩飛興里谷(部落なし)	新興山
里里里里里	里里里里里	里里里里里	里里里里里	里里里里里	里里里里里
一一七	一八四	一三四	一三三	一〇九	三六三
四一四 三八一八七	四二二 一一一 九二	四五 五五六八	二二二五 五三 一八六	一四一 七六四一 一	二七 〇八六六
五一	九二五	五五二	五九四	四八五	一、四〇四
一一二 二二二 六二九二二	一一二 六六 九一〇 〇五	一一二 一〇〇三 五〇四三	一一 七七 九四 九 八四	一一 一二 八三九六 九	一一 二 七四一三 二〇九〇

雲峰	城北	新上	天皇	禮洞	齊南	城南	碧城	赤壁	德月	萬崗	萬里	湖河	山岳	池川	山岳	道	鐵道	黃海道	黃州郡	黃州面	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
下掛	上和	綠德社		郷外	南外	塞外	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内	内内
雲岩	雲洞	沙明稷		洞校	西川	中昆	南南	東東	北北	西西	西西	西西	西西	西西	西西	西西	西西	西西	西西	西西	西西
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
九八	一九	七九	九五	二五	一四	二一	二二	二〇	一四	一四	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
四六〇	五三四	四〇五	四三〇	一二七	六〇〇	九八五	四八八	八九八	五四九	七四二	七四二	七四二	七四二	七四二	七四二	七四二	七四二	七四二	七四二	七四二	七四二

鐵道 京義線
 沙里院より北走して本面に入り、天皇里を経て中和に向ふ
 天皇里より西に向ひ兼二浦に至る
 京義線の東側を南北に走る
 齊安里より起り天皇里を過ぎて西北に走り兼二浦に達す
 天皇里より東に向ひ天柱面に入る
 掛岩里の北方に在りて本面の東北界を爲す、海拔三八五米あり
 本面の東南より西北に向ひ、面界を劃して迂流す
 本面禮洞里南方に在り
 舊洞里名又は部落名

戸數 人口

鳳溪	梅院	石田	倭館	三清	錦南	錦山	朝鮮の聚落 (前篇)
洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	
壯冠座	西新中上盤竹	上耳窟古	耳回平斗月	月中上大完長沙越	步蘆栗秋	江楮大	
者	鳳梅梅梅松谷	石堤	章鳩	鳩梅梅谷亭遠羅梅	兵湖	蒼洞谷	
洞洞	洞洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	
八一	一九六	一三八	四〇一	一〇三	八四	一一二	
一五八	二二四七二	二三四三〇	二七二一八	五一三	一四二	二二五	
八九四	三一八八二四	〇五八五	一三九八	一三七一	四三七	九四九	
四五四	一一一九	七三一	一六九五	五三四	四三二	四八六	
三八五	一〇七六〇	二一八五八	九一五	二一八九五	二一四二六	一一二四	
一二一	五九九四	三二二三	九七八一	四二〇四	四二六	八一七	

平安南道中和郡中和面

鐵道

道路

山岳

樂洞川

京義線
 一等道路
 三等道路
 平壤より鐵道線路に沿ひて南走す
 龍岡より來り新興面より本面に入り、密陽、館里を過ぎ、中和、青鶴里、獨山里沃野洞を経て東頭面に入り祥原に至る
 本面の東南に連亘す
 本面の南界に在り一八六・二米あり
 本面の南界、楸唐里崔生洞の西南、新牛里白楊洞の東南に在り
 面の東端に在り、海拔二四〇・二米あり
 樂民里の東北に在り、海拔一五一米あり
 江老里下閣老洞の南に在り、海拔一一四・五米あり
 牛臥里の南に在り
 雲峯里の北約一・五軒に在り、海拔九五米あり
 中和の東北方に聳え、海拔一八七・七米あり
 葛谷の南に在り
 獨山の西北に聳立す
 正板の西北に聳立す
 明月洞南方に聳立す
 明月洞北方に聳立す
 楸井南方に聳立す
 本面の西南に流る
 本面の東北を流る

樂民里 舊洞名又は部落名
 (樂民洞(三洞里四五洞)
 館下洞(館下六里))

戸數 一人
 三三三 二九一 四三一 一、七六一 一、五三九

新	雲	江	山	長	正	獨	下	回	楸	新	青	草		
牛	峯	老	開	山	陟	山	明	楸	唐	楸	鶴	峴		
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里		
白朱	牛新	雲	館	下上	孫長	山山	才正	葛沃	獨回	明	楸	李洗	燕吉	訓倉
楊染	臥昌	峯	閣閣	吳村	陰起	野	山	洞	井	村	井	洞	洞	洞
亭里	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞
七二	六九	七四	五三	八七	四八	一一二	五二	六八	一一七	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
二七五	二一七	四三六	五九〇	二一〇	二四七	一七三	一七三	一七三	一七三	一七三	一七三	一七三	一七三	一七三
三四四	三一八	三九六	二八〇	三八二	二五八	五七八	二三〇	三一四	五九〇	六三七	六三七	六三七	六三七	六三七
一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇

第四章 聚落の大小

三一三

葛梅里	唐密里	震栗里	峙山里	石磚里	金水里
梅谷 (俗稱甘可谷)	唐密 (俗稱甘可密)	震栗 (俗稱甘可栗)	峙山 (俗稱甘可峙)	石磚 (俗稱甘可石)	金水 (俗稱甘可金)
九七	三四	七三	五四	六四	八八
九〇	一〇四	一五〇	一三九	三七七	五三八
五一九	一六九	三八二	二六五	三一四	四六八
四八五	一四五	三九四	二八九	一八三	一三二

平安南道安州郡新安州面

鐵道 京義線 本面西城里、甌岩里、新安州、元一里を過ぎて平安北道博川郡南面に入る
 道 京義線 新安州より清川江に沿ひて東北に走り价川に至る
 一等道路 京城より肅川を経て北走し本面に入り、面の東南部を東北に走り豊峴を過ぎて安州に向ふ
 二等道路 元興里より東北に向ひて安州に至る
 三等道路 元興里より西南に向ひ五里、大橋を過ぎて龍花面に入り立石里に向ふ
 馬頭山脈 本面を東西に走る
 香山 清川江左岸、雲鶴里の北方に在り海拔六六・五米あり、西麓を京義本線北向す
 小墨峴 面の東界、蒼松里の北方に在りて一〇七・九米あり
 雲峴 蒼松里の東に在り海拔二一九・一米あり
 窟寺山 甌岩里の西に在り海拔一一〇・八米あり
 聖旨峰 新院里の南方に聳立す
 將臺峰 蒼松里の東南に聳立す

河川

清川江 本面の北界をなして東北より西南に向ひて流れ、江の左岸には松竹里、元一里、樂萬里、新興里、南七里の部落あり
 大橋川 (三山川) 面の西南を東南より西北に向ひて流れ、南七里に於て清川江に注ぐ、また大尼面、龍花面、燕湖面との境界をなす

雲興里	雲松里 (俗稱松城)	蒼松里	新院里	龍溪里	明岩里	青松里	龍雲里	東七里 (俗稱松城)	甌岩里	上八里	南七里	新成里	松鶴里	五樂里	樂萬里	鳳林里	集鶴里	元興里	雲松里	新松里	
七三	七七	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三
七三	七七	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三
四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六	四九六

沿河地

京畿道漣川郡官仁面

道 等外道路 面の西南端釜谷里より東北に向ひて曲走し、四條の支線を出して冷井里に至る
山 金鶴山脈 本面の東北に連亘す
山 面の中央に古南山、香巒峰、南部に種子山、西界に寶蓋山、地藏峰(八七七米)聳立す
河 漣灘川 本面の東南側を西南に向ひて流下し、三栗里、中里を過ぐる細流を出せり
洞 釜谷里 釜谷里名又は部落名

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 釜谷里 | 中栗里 | 初果里 | 冷井里 | 炭洞里 | 射亭里 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

釜	葛	沙	深	新	大	栗	木	河	塘	槐	槐	龍	炭	蜂	沙	射
項	項	興	興	興	興	興	興	興	興	興	興	興	興	興	興	興
洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二
五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二	五二二
二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八	二六八
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二	二七二

忠清南道論山郡城東面

道 三等道路 論山より圓峰里、定止里、院北里を經て扶餘に至る、また江景より公州に至るものは蓋尺里佛岩里、瓶村
河 論山川 本面を西に流る
洞 石城川 東北より西南に向ひて流れ、面界を劃し面の西端に於て錦江に注入す

- | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 院北里 | 院南里 | 蓋尺里 | 瓶村里 | 月城里 | 牛崑里 | 三山里 | 三湖里 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

壯	陽	陰	葛	中	小	下	蓋	佛	元	尺	宮	中	上	上	堂	外	田	下	山	長	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	
三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	三〇九	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	七六六	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

水	柿	元	牛	彩
清	谷	堂	頭	雲
里	里	里	里	里
於土	上水茅東西	上下上自西東柿立	下竹元如黎石正栗	牛漁台 塔琴彩白 無校北
只	古古	公公木隱新新谷巖	木 堂士 狀安寺 頭 城	谷雲巖 愁 門
谷	谷清	谷	谷	
里	里里洞	里里洞村	里里洞	里里洞
	一〇五	一五二	一五五	一六九
	一一〇八	二四〇	一三二	六六三
	五五八	七九四	八一六	七五六
	一一四	一一一	一一一	一一一
	四一六	二六六	五〇七	二三四

圓	定	花
峰	止	亭
里	里	里
下中立	立上	花中上
石	石	亭
里	里	里
一四九	一〇五	七六
五五三	一九一	一二三
六二二	五九九	四三七
二二一	五七二	一一一
五二五	七七一	九六八
四三五	八一	二二二

忠清南道唐津郡唐津面

道 路

三等道路

唐津より五線を放射せり、一は東門里、栗寺里、正安里、下木谷、西新村、東新村、立巖洞を過ぎて松嶽

面機池市里に至る

唐津邑内里より塔洞を貫き臺城里の南を過ぎて高太面に入る

唐津より校洞、無愁洞、五柳洞を過ぎて順城面城北里に入る

唐津邑内より玉石峙を過ぎ、綠雲峙を越えて汚川面松鶴里金鶴里に通ず

唐津邑内より東南に向ひて走り松亭里を過ぎ、綠雲峙を越えて汚川面松鶴里金鶴里に通ず

盛堂里の東に聳え、本面の南界をなし二四三米あり

柿谷里の西南に聳立す

上松里の南一軒に在り

本面の東部を南より北に流れて海に注ぐ、左岸に狭長なる水田開け、右岸の杏亭里、彩雲里、琴谷里、臺

城里は何れも小山の西麓に位置す

順城面下城北里附近に發し道路に沿ひて西北に流れ、邑内里の西南に於て右折し北に向ひ漁里の東北部に

於て海に注ぐ、下流の兩岸に水田開く

本面の東北界を西北に向ひて流る

舊洞里名又は部落名

邑	洞	河	山
内	里	川	岳
里	名	本谷川	邑内川
南	東	西	城
門	門	門	内
里	里	里	里
一三四	二一一	二八二	五
五九二	一	五〇三	二
		二六六	九

戸

數

人

口

第四章 聚落の大小

河川	江里	牛浦	巴陵	石山	大也	虎山	都台
禮成江	西里	浦里	陵里	山里	也里	山里	台里
本面の東界を南流す	杜江	龍牛	金巴	景石	烏富	富内	南都
舊洞名又は部落名	音西	倉浦	野陵	樹湖	觀興	隱居	南都
	場	洞	洞	洞	洞	洞	洞
	八	一	九	一	九	一	一
	三五	一三	三三	七五	二二	一五	二六
	五四	〇一	六六	三四	七三	六四	二〇
	五〇	六九	四八	七〇	四四	七〇	六六
	八	五	七	五	三	一	二
	一九	八七	八二	七五	二二	一七	〇六
	四四	三七	四一	九一	五二	九〇	六五

三二一

黄海道延白郡雲山面

三等道路 白川、助浦間道路は銀川面より本面に入り、虎山里新基を経て鳶洞北方に至る

高井山脈 本面の中部に連亘す

高井山 都台里の北に聳立す

龍鬚山 内虎洞の北に聳立す

廣石峴 本面の北界を爲し、一條の達路本面より北向して平山郡に入る

大德里	龍淵里	杏亭里	沙器里	九龍里
柳德松亭	村淵山	亭觀坪	山活山	龍年
里里里	里里里	里里里	里里里	里里里
一四八	一二七	一一一	一一二	一四五
一一一	二二二	二四三	四一二	四三六
二八八	二八二	四八八	三九三	七七七
七九四	五四九	五九一	五六六	七四九
九九九	八二二	一二四	一一一	二一三
二九七	七七五	六九九	二七六	三九二

朝鮮の聚落 (前篇)

三二〇

朝鮮の聚落（前篇）

舟岩里

江橋巽國川

江橋巽國川
一八九
二三五
六一六六

江橋巽國川
六二九
一一二
一八八
四八五

三二二

平安南道大同郡南串面

河川

大同江 本面の北界を西南に流る

柳亭江 大同江支流にして長梅里西方を経て本流に注ぐ

龍浦江 孝南里、坪湖里を經、龍浦里、燐洞を過ぎて大同江に注ぐ

昆陽江 本面の南界を曲流西走して碧只鳥里の南に於て大同江に注ぐ

山岳

五峯山 本面南井里北方に在り

松泰山 本面坪湖里西南間に在り

長谷山 本面長梅里北方に聳立す

舊洞里名又は部落名

戸

數

人

口

洞里名	南井里	柳寺里	石寺里	東寺里	間里	黃龍里
祭	南井祭	柳寺	石寺	東寺	間	黃龍
戸	八二	一一〇	一一〇	一一〇	一四九	一四九
數	三四五	五〇	一〇四	七三〇	六〇	四〇七
人			六三七			七三七
口			三二四 三六五			二四七 二七五

第四章 聚落の大小

三二四

市城里	魯南里	長梅里	大松里	猿巖里	龍浦里	孝南里	月内里	坪湖里	鯉湖里	艾浦里	小島里	大島里	覺今里
音成洞	嶺南洞	長谷洞	大梅洞	休松岩	燐洞	孝南洞	月内洞	坪湖洞	鯉湖洞	艾浦洞	小島洞	大島洞	覺今洞
一〇四	一三七	一八二	一〇四	一一二	一一五	一五五	一五四	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五	一五五
五四九	三九八	五四二	五四〇	六四七	一〇七	七三三	三〇四	七九	五八	一三二	一三〇	一三〇	一六一
五三四	七五一	一〇四八	五八一	五〇六	七一〇	七五一	七五一	三一七	三一七	三一七	三一七	三一七	三一七
二五〇	二四七	三〇七	二九七	二八五	六五七	四三五	一四〇	四三七	四三七	四三七	四三七	四三七	九四四

朝鮮の聚落 (前篇)

方山洞	城南山城	城西	門	三二五	一一一七三六	一、五四六
木南	寺	甘川	楸山	一一一七三六	一一一七三六	一一三三八二
泉松	田	里	外	一一一七三六	一一一七三六	一一三三八二
黃鎮	足珠大石	里		一一一七三六	一一一七三六	一一三三八二
九鎮	里	里		一一一七三六	一一一七三六	一一三三八二
鼎	里	里		一一一七三六	一一一七三六	一一三三八二
玉江洞	里	里		一一一七三六	一一一七三六	一一三三八二

平安北道博川郡嘉南面

鐵道 京義線 嶺美洞を貫き大寧洞右岸を東西に走る
 道路 三等道路 大寧江右岸の嶺美洞より北向し面の北界に於て義州京城間一等道路に合す
 山脈 鳳頭山脈 本面の中央を東西に走る
 山岳 黃鶴山 德仁洞の西に聳立す
 河川 大寧江 奉川方面より南流し來り本面の中央を過ぎて西南に走り清川江と合して海に注ぐ

嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞
嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞
嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞
嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞	嶺美洞

平安北道楚山郡城一面

瑞東洞	深豪洞	德仁洞	西公洞	加興洞	柳草洞
瑞東洞	深豪洞	德仁洞	西公洞	加興洞	柳草洞
瑞東洞	深豪洞	德仁洞	西公洞	加興洞	柳草洞
瑞東洞	深豪洞	德仁洞	西公洞	加興洞	柳草洞

第四章 聚落の大小

道路 二等道路 義州より惠山鎮に至れるものにして、零時面より本面南部に入り、炭嶺を過ぎて郡面に入る
 山脈 白頭山脈 本面の東南に連亘す
 山岳 烟臺峰 安贊里下洞西南、阿耳鎮の北に屹立し鴨綠江に迫り五一九米あり
 河川 獨輪峰 城南里陽貴川上洞の東に聳立す
 鴨綠江 本面の北界を西流す
 忠滿江 本面の西界を曲流北走す
 龍池 城南里陽貴川上洞の南に在り

草元木城新竹正月長長君去	洞山	君子峯	君子里東南に在り	舊洞里名又は部落名	戸	數	人	口
芝時内谷吉栗往串谷峴子毛	里	峯	里	名	一七六	一六〇九	一、〇〇一	六二七
元草	去毛里	峯	里	名	一七六	一六〇九	一、〇〇一	六二七
時雨	去毛里	峯	里	名	一〇二	二〇二	五八四	一四六一
内木	去毛里	峯	里	名	一〇二	二〇二	五九七	四五一
城頭	去毛里	峯	里	名	七二	一四一	六一一	三〇七
新赤角	去毛里	峯	里	名	一五八	二二五	四三五	二七五
竹栗	去毛里	峯	里	名	一四八	二二五	八七八	二二六
正往	去毛里	峯	里	名	一四八	二二五	七七四	二二六
月東	去毛里	峯	里	名	一八	一〇七	六九一	三六四
長谷	去毛里	峯	里	名	一三三	一四七	六〇七	二八〇
長峴	去毛里	峯	里	名	七六	四九七	三九七	二六三
君子	去毛里	峯	里	名	一三六	四九七	八〇三	二〇〇
去毛	去毛里	峯	里	名	一七六	一六〇九	一、〇〇一	六二七

臨海地

京畿道始興郡君子面
 道 等外道路 正往里、去毛里を経て仙府里に至るものと、瓦里、元時里、城谷里の海岸線を迂回せるものとあり
 山脈 修理山脈 本面の西南に連亘す

城南里	城東里	城西里	城内里	安贊里	瓮巖里	洞里名
古金新倉陽陽	金傑傑傑	許城走	外内	下中上	嶽火中上	舊洞里名又は部落名
沙沙	貴貴	雙雙雙	項内坪		壘	
滿里坪川川昌						
上中	上下	下中上				
洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	
一〇二	六五	三九	七四	一二三	六三	戸
二一一	二二二	二	三四	三三五	一一二	數
〇八一	九二〇	〇〇五	九一九	四〇	七五一	六〇七〇
六二一	三九八	二三六	四五〇	六六三	四三三	人
〇一六	四六四	二一九	四二六	一二九	一一二	口
七二〇	八八〇	五八四	九三四	九二八	九七四	九三三七

五	文	麗	新	鳳	西						
林	水	西	月	山							
里	里	里	里	里	町						
五	小許小	大葛	鳳新	菊鳳	蓮城龜岩秋喬石下上圃川石鍾	鍾蓮平石銅内芹					
林	峙文美	崎	陽里(俗稱枋老里)	根浦	棲里(俗稱沙鐵洞)	巖(俗稱宕水岩)	橋	洞(俗稱望梅洞)	洞(俗稱四浦)		
里	里里里	里洞	里	里岡	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞
	一〇五	七四	一七〇	一七八	四一八						
五	二二五 七八〇	四三二	三三五 三五五	三三八 四八六	四二五 二七八	一一一 九九八	三二二 八八六	三二一 七三三	二五二 四九九	一 〇二二	一 〇七二
	五九										
	五九二	四一九	九八九	九三六	一、九六二						
三	二二一 七五七	二一三 三三七	一七九 九三六	一七四 三三九	二一一 〇一八	一一一 八九八	一一一 七七四	一一一 四九九	一一一 八二四	一一一 五五五	一一一 七四〇
三	三二七 一七四										

三三三

東

洞 河 山 山 道
里 川 岳 脈 路
名 名 名 名 名

朝鮮の聚落 (前篇)

二等道路 麗水港より起り、五林里、文水里、往十里を過ぎて雙鳳面に入り、光陽海岸に沿ひて西北に走り順天に至る

虎狼山脈 本面西北に連亘す

烽火山 萬聖里の西北に在り、本面の西北境をなす、海拔四六四米あり

天聖山 烽火山の東南に接し、萬聖里萬興部落の東北に聳立し、山上に烽火臺あり

馬來山 德忠里德益部落の北約一軒の處に在り、海拔三八六米あり

虎狼山 本面の北界、三日面の南界を爲す

屯徳山 虎狼山の南一軒に在り、麗水より順天に至る二等道路は此の峠を越えて雙鳳面に入る、海拔一二七米あり

九鳳山 海拔三三九・七米ありて文水里小美里部落の西北方に聳立す、吉城、石窟あり

鼓樂山 三八七・八米ありて新月里の東北方に聳立す、山上に祈雨の處あり

將軍山 三二四米ありて九鳳山の東北に接す

鍾鼓山 麗水の北に控え、海拔二一九・六米にして、山腰に祈雨の處あり

蓮壁川 本面を南に流る

禮石雅后竹蘇莊南枳杏竹齊井樹

洞(俗稱貳衙洞)

洞(俗稱姑蘇台洞)

洞(俗稱水莊洞今否六)

洞(俗稱蘇台洞)

洞(俗稱貳衙洞)

五七七

二二三 一七三三三一一三一 一一八八 五五九一〇八八一

二、六六九

一一 三一 一 九一六三 九二七〇六八七七四 九四一六 〇八三四〇六一九二

三三二

晚	巨	茅	草	連	青	玉	敦	昌	枕
吉	龍	島	四	珠	龍	堡	地	浦	溪
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
島桃桃晚元	路新巨	茅	松群草草草	連應加	青九九	中玉	郷敦	昌加	枕永
明洞木頭吉	上亭龍	島	川浦坪中下上	珠德香	龍溪龍	堡	校地	浦丹	溪山
里里里里里	里里里	里	里里里里里	里里里	里里里	里里	里里	里里	里里
一二六	九三	一五六	六四	四八	一三二	一三三	五二	一〇二	
一八七 七五九九六	二二四 七〇六	四一	一三三 二〇四八	二三一 三一〇	三一 三五〇	五七 八四	四九 〇三	三一 三九	六三 八四
三三五	七一二	四七二	八〇六	三四五	二二九	六一八	六八五	二四五	五一三
一四 四二四二七 九七三一	一一二 四〇二 三一八	二五 四六三九	一一二 四六七四 四八五	一一一 三五五 一九五	一一 五三四 〇一九	二三 九二 七一	二四 一七 一四	一 四九 六九	三一 五六 一一

全羅南道珍島郡義新面

道 等外道路 面事務所々在地敦地里より四條の等外道路を出せり
 山脈 光察山脈 本面の中央を東西に連亘す
 山岳 天馬峯 敦地里の南方に聳立す
 河川 雙溪水 枕溪里、昌浦里、西里を経て敦地里南方海中に流入す
 島嶼 甲 島 金甲里の南方に在り
 洞 斜 川 里 名 舊洞里名又は部落名

德	萬	五	美	往
忠	聖	川	坪	十
里	里	里	里	里
瓦德	萬萬萬	毛中五	新陽平竹台	新文龍
		萬竹	星	竹
	興中平	沙川	里里地	里里(俗稱星洞)
			のの	の
			一一	一一
洞堡	里里里	里里部	部里地	部里
八五	一四三	八〇	一一九	四八
三五 〇八	二五 八七	五四 三五	四四 八八	三三 三三
			一一二 三三九	三三 九九
四五 〇五	四八七	七六二	五一二	六四二
			一一一 二〇八	二 八五
			二二 二〇〇	二 八四

松亭里	金甲里	狗子里	七田里
竹松活	金甲	狗子	田里
青亭谷	甲里	子里	田里
里里里	里里里	里里里	里里里
一三一	九四	一八六	一八六
三五七	三五八	一三三	一三三
六九六	五一六	九四二	九四二
二一九	三二五	一七一	一七一
二九二	一九一	九三	九三

全羅南道濟州島新右面

道 路 三等道路 北海岸に沿ひ濟州より大靜に至るものにして濟州面より本面に入り、下貴里、錦城里を経て舊右面に入る
三等道路 濟州より西南走して本面に入り、光令里、院を經、猫岳の西を過ぎて舊右面に入る
山 脈 漢擊山脈 本面の東南に連亘す
山 岳 漢擊山 本面の東南界に在り、本面、右面、左面、濟州面の四面に跨る、海拔一九五〇米あり
漢擊山 漢擊山の西方、老路岳の東方、本面の東南端に聳え、海拔一〇六一米あり
老路岳 老路岳の西南、石岳の北に在り
石岳 本面の東南に聳立し、一〇六九・九米あり
多栗岳 漢大岳の西方、猫岳の東に在り、海拔六九三米あり
猫岳 本面の南部に在り
新屋岳 猫岳の西方、於普里の東南方に聳立す、海拔五二四米あり
發伊岳 院部落の東南方に聳立す、海拔七六五米あり
鹿古岳 發伊岳の東北に在り、八四一米

河川

三山岳 鹿古岳の東北方、今德里の東南方に聳立す
於道岳 本面の西界、於道里の北に在り、一四三・二米
郭支里 郭支里の東、納邑里の北に在り
高内峰 上加里の北、高内里の南に在り、海拔一七五・三米
水山峯 水山里北方に聳立す、二二・五米
破軍峯 下貴里東南方に聳立す、八五米
鼎字川 本面錦城里と舊右面歸德里兩境界に在り
鴨動川 下貴里西方に在り
屏風川 下貴里中央に在り
藻浦川 本面下貴里と濟州面外都里兩境界に在り
院洞川 舊慶里東方に在り
蓮池 下加里の南、上加里の北に在り

湖池

涯月里	郭支里	錦城里	於道里
漢潭	郭支	沙錦	於道
二六九	三三一	一七三	三五八
二五二	一一一	七九五	一八六
一三二	一〇一	八二五	二〇〇
一、三九二	一、六七九	八二三	一、七二二
一、三一一	一、〇七九	三六四	三八〇
一、三一一	六〇七	四四七	四一五
一、三一一	九〇	三六七	五〇〇

第四章 聚落の大小

於	納	上	下	召	長	今	古	光	上	下	水	舊
音	邑	加	加	吉	田	德	城	令	貴	貴	山	巖
里	里	里	里	里	里	里	里	洞	里	里	里	里
於	夫	細	上	下	源	長	今	古	沈	昭	蓋	舊
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
角	面	加	加	吉	田	德	城	令	信	童	水	巖
音	邑	加	加	吉	田	德	城	令	信	童	水	巖
洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞
二七六	二七六	一八二	一二七	二〇六	三七一	一二一	四九一	二五七	一六〇	一〇六	一〇六	一六〇
二〇七	二〇七	一七四	一四三	一五九	三〇四	四三	一五九	一七五	一〇六	一〇六	一〇六	一六〇
一、三六二	一、三六二	八三九	五九三	一、一一二	一、七八一	五六三	二、四四二	一、一四七	一、一四七	一、一四七	一、一四七	一、一四七
一、〇六二	一、〇六二	一、六五三	七五四	六九三	一、四八一	一、七五〇	一、四八二	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三

慶尙北道慶州郡陽北面

道 路 三等道路 慶州より東走し來り内東面を過ぎて本面に入り、凡谷里、安邑洞、魚日里、八助里等を経て甘浦里に至る

山 岳 蓮臺山 龍堂里東方に聳立す
鳥頭山 竹田里西方に聳立す
兄弟山 甘川里西方に聳立す
吐含山 凡谷里西方に聳立し、一四五米あり
楸嶺 本面の西界、吐含山の北に在り、海拔三二二米にして三等道路此の地を東西に走る
大鐘川 本面の中央を東南に流れ、安洞里、外邑里、魚日里、龍堂里、九吉里を過ぎて海に入る

新	高	魚	臥	龍	權	虎	安
巖	内	日	邑	洞	伊	岩	洞
里	里	里	里	里	里	里	里
新	高	魚	臥	龍	權	虎	安
巖	内	日	邑	洞	伊	岩	洞
里	里	里	里	里	里	里	里
松	高	魚	臥	龍	權	虎	安
巖	内	日	邑	洞	伊	岩	洞
里	里	里	里	里	里	里	里
三五六	二一三	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二
一、五七六	一、〇九三	一、五七六	一、五七六	一、五七六	一、五七六	一、五七六	一、五七六
一、五七六	一、〇九三	一、五七六	一、五七六	一、五七六	一、五七六	一、五七六	一、五七六

華	日	田	尾	大	西	東	洞	山	山	道
亭	山	下	浦	便	部	部	里	岳	脈	路
洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	名	東大山	舞龍山脈	三等道路
月間栗大番大三	凌大	田綠	外内	山大里(西部里へ編入さる)	堂玉大	金城瓦柿藪	舊洞里名又は部落名	東大山	舞龍山脈	三等道路
峰谷味廳德門巨	浦	下	禮	幕	峴峴	坪谷 木	洞	洞	洞	洞
里里里里里里	里里	里里	里里	里里	里里	里里里里	洞	洞	洞	洞
二 一九	六 六	八 〇	五 八	二 〇	六 〇	二 八	戸			
七三一五一一	六	六一	二三	一	五	一一二二五一	數			
二七七五一一六	三三	一九	七一	三七	四五一	三二五八〇				
九 六二	三 三一	三 三五	二 九七	一 三六	三 四〇	六 六四	人			
三一	三	一一	一一	一	二	一一二	口			
〇八六六二四六	一二	一一	四五	二二	二三八	六一四七六				
八一八九四四	七四	三二	二五	一五	四二四	五二五九三				

慶尙南道蔚山郡東面

五	廿	典	典	虎	魯	八	羅	豪	奉	九	龍	斗	竹	松	甘	凡	嶺	
柳	浦	村	洞	洞	洞	助	亭	本	吉	吉	堂	山	田	田	川	谷	項	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
蓮倉五	安	長法典	典	虎	魯	八	古上	家豪	奉	九	龍院	斗	竹	松	甘	凡	嶺	
洞沙柳	浦	津洞村	洞	洞	洞	助	羅亭	谷本	吉	吉	潭堂	山	田	田	川	谷	項	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
一 七四		一 三三					九 三	一 八九			一 〇九							
三七六	一	二七四	九	五	七	九	五	〇	八	八	三	七	七	四	一	九	八	一
四九五	八	八五〇	七	六	四	三	〇	五	四	八	八	四	五	五	七	九	〇	二
九 二一		六 九九					五 〇〇	九 六九			六 一七							
一四二	六	一三	一	三	四	五	三	一	五	二	一	四	二	二	六	五	四	七
九八七	六	六四	一	六	三	二	〇	五	四	五	〇	九	二	七	九	九	三	二
八七六	二	一〇	九	二	五	二	三	一	五	九	三	一	七	〇	一	九	三	二

第四章 聚落の大小

道	明	新	吉	敷	曙	朝	大	河
泉	井		野	島		日	和	里
里	里	町	町	町	町	町	町	名
川道泉	明	明西東仙	西仙東	東松仙倉	枕海松	同松下上北新東	東西倉西同	舊洞名又は部落名
理	井	井橋橋	忠	忠	忠亭	北松亭	樂亭東東門上部	部舊
洞	洞	洞洞洞洞	洞洞洞洞	洞洞洞洞	洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞洞洞	
二五〇	二三九	二七五	二八一	二八七	五六六	二九七	戸	
一七〇七	一八二	一一一四	一七九一	一八二九	二九一六	二〇八六	數	
三四三	一、二七二	一、一九九	一、三七一	九三一	一、四五四	二、九九〇	一、四五二	人
四五三	九四	五五	三四五	一二五	六四三	一四五六六五	四一三四	口
〇一五	二五	五六五	四五六	一八三〇	三三三	二二九八五〇〇	六九四五	
一二九	一九	二七	八六七	五〇一	二七五	九五二五〇八	六〇五〇一	

慶尙南道統營郡統營面

山 道 路 二 等 道 路 固 城 山 南 走 し 來 れ る も の に し て 曙 町 を 經 て 章 門 里 に 至 る
 山 岳 嶺 嶺 山 本 面 大 和 町 の 北 に 聳 立 す
 南 望 山 貞 梁 里 の 東 北 に 聳 立 す
 太平觀 本 面 の 西 界 に 在 り、こ れ よ り 等 外 道 路 山 陽 面 に 入 る
 明 井 峙 明 井 里 の 西 北 に 在 り
 東 山 東 岩、北 頂 台、西 山、孤 岩 山、天 岩 峯

花	方	鹽	朱
嶺	魚	浦	田
洞	洞	洞	河
下上	大地	大艾城中新新	下中月上大新
花花	陵	口	田
嶺	里里	里里里里里里	里里里里里里
五五	一五三	二三三	九四
四一三	一三八五	一七五二五	一一二二
二二九	一〇七一	一、一五一	四四〇
二〇三	九一六	一三二二二	〇七二四九九
五四	六五	七〇五五二	五五七五八〇

朝鮮の聚落(前篇)

第四章 聚落の大小

龍岩里	孫梁里	大井里	洞川	山岳	山脈	道路	黃海道瓮津郡龍泉面
西山箭東木 青項浦石 洞浦洞洞洞 と松は龍 稱一普岩 す里通里	禾水蛤鐵龍基 圃魚浦發川谷 洞店洞洞洞洞	孫發内 斗銀坪 洞峯洞	洞川 浦山外里の東南に流る	開龍山 本面の北部、龍岩里の西南に在り、海拔一九〇米あり	高祭崇山脈 本面の西北に連亘す	三等道路 本面大機里と馬項里を經て瓮津郡廳に至る	於義里
七九	二四	一〇五	戸				二六六
三五三	三三八	三二五	數				二八七
九五三一	八三八四八三	三四二九					八八
三四五			人				一、四六一
三八七	六五五	六八五					四九六
一一五	二一〇	一四三	口				九七〇
九一五	一〇一九	九三四					七一〇
七三三六八	三〇五六七四	九九七					一三四

紙島里 倉湖里 於義里 新倉湖峙洞 二六六 一八七 九二 一、四六一 四九六 九七〇 六一九

長院坪	三章坪	東門里	花達里	霧田里	坪林里	仁平里	北新里	堂洞里	貞梁里
蓮新	院三	章飛達達	東下花三	章馬霧將	魯大鷹	岷太仁	新北	大西東	枕面貞
基和	坪和	門羅	大浦	巖三浦法	門峙田	坪林	陽平	興新	坪堂堂
洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞	洞洞
一六六	一三三	一〇三	一〇九	一四五	一六一	一三八	一七九	三九四	
七八八	二二九	四一四	二五四	三二四	一五四	六四三	九二四	四九七	三三九
八八	一七九	四一二六	二四七	一八〇〇	六五四	六〇五	七一	四六九	九八七
九五六	七〇〇	五二五	五九九	七六六	九三〇	七六二	九一七	一、九八一	
四五六	六六一	〇〇五	一三二	一一二	二二二	三二一	五一二	二四六	一七九
六一	〇〇	一〇五	六二四	九七二	四四八	四一六	六九六	二九〇	九九四
六〇	一〇五	〇四〇	〇五〇	五五四五	五〇一	九七四	六六	三二二	〇七四

朝鮮の聚落 (前篇)

第四章 聚落の大小

三四九

新	新	陵	新	陵	麻	西	雲	中	興	興	豐	鶴
上	慶	前	成	西	田	興	洞	興	上	慶	西	島
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
僧堡雙	臥陰陽	梨峙	興陵	峙樹内堡	康堡	孤堡塞曹唐	木九洞	水中	新原	湖鶴		
房城	牛地地	下下	德西	門山	哥松	峙峙	富	寧内	門間	基	上島	
	墟		炭炭			皿		洞			傘洋	
村	村	村	村	洞	村	街	村	津	村	街	村	村
八〇	二八	二二	六五	二八	三六	三五	一七	一七	一八	七〇		
五一	三一	一一	二四	一一	二	二	四	一	一	一	六	
七六	七〇	〇八	〇五	九一	二六	七九	一二	五三	四八	一六	一七	六四
五五〇	一九九	一三六	三六九	一七〇	一九四	二二六	一〇八	九二	一一四	三七〇		
三一	二二	一	二	六	一	一	二	一	一	一	三	
五八〇	六三	一〇	九七	八二	三五	一三	三〇	〇八	八四	一〇	四	
七五	三六	〇六	七三	二七	八六	三一	四四	六六	四〇	四〇	四	

西	湖	燈	燧	陵	山	山
洞	里	臺	臺	臺	岳	脈
里	里	臺	臺	臺	岳	脈
名	名	臺	臺	臺	岳	脈
西	西	西	西	西	西	西
湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖
南	南	南	南	南	南	南
里	里	里	里	里	里	里
山	山	山	山	山	山	山
塾	塾	塾	塾	塾	塾	塾
洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞
村	村	村	村	村	村	村
三	三	三	三	三	三	三
一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一
七	七	七	七	七	七	七
一	一	一	一	一	一	一
七	七	七	七	七	七	七
二	二	二	二	二	二	二
五	五	五	五	五	五	五
二	二	二	二	二	二	二
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五	五	五	五	五	五	五
二	二	二	二	二	二	二
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
二	二	二	二	二	二	二
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
七	七	七	七	七	七	七
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
七	七	七	七	七	七	七
二	二	二	二	二	二	二
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
七	七	七	七	七	七	七
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
七	七	七	七	七	七	七
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
七	七	七	七	七	七	七
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
七	七	七	七	七	七	七
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	二	二	二	二	二
七	七	七	七	七	七	七
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

朝鮮の聚落 (前篇)

三四八

山岳

赴戰嶺山脈支系 本面の北を東西に連五す
 西中里伐桂の北二軒餘の本面北界に在り、海拔三八五米あり
 三徳嶺 獨洞村の北約一・五軒に在り、退潮面との境にして二四一米あり
 朱仁非嶺 新上里より退潮面颯器洞に通ずる聯路は此の嶺を過ぎて東走す、海拔二四八米ありて面界なり
 牛日嶺 半日嶺の西北一・五軒に在り、本面、退潮面及び南州東面の三面に跨りて聳立す
 天柱峰 僧房村の北一・七軒に在り、南州東面との間に小路を通じ、海拔三七五米あり
 徳嶺 純陵の北一軒餘の處に在り、陵前里より西北に走る聯路は此の嶺を過ぎて南州東面雲谷里に至る、海拔三一二米あり

大嶺 陵西里上炭洞より西走して雲田面徳里に至れる聯路は此の嶺を過ぐ
 馬登嶺 下炭洞の西一・五軒に在り、聯路を以て雲田面厚農里に通ず
 小嶺 大厚里三街の東一・三軒、咸鏡沿線に在り、西に保留金礦あり
 鳳凰峯 興上里の東に在り
 草峰 鶴島里西南海岸に在り
 龜景台 鶴島里の東南に在り
 中興里の東南海岸に在り、海拔五六米あり
 雲洞 雲洞里の東南海岸にあり、海拔三二二米あり
 純陵 陵前里の西北一・二軒に在り
 西湖州燈臺 鶴島里南方の海岸に在り

燈臺

西湖州燈臺 鶴島里南方の海岸に在り

西

西湖州燈臺 鶴島里南方の海岸に在り
 舊洞里名又は部落名

戸数

人口

梨岩洞	五常洞	武溪洞	河南洞	龍川洞	洞名
梨岩洞	五常洞	武溪洞	河南洞	龍川洞	洞名
梨岩洞	五常洞	武溪洞	河南洞	龍川洞	洞名
梨岩洞	五常洞	武溪洞	河南洞	龍川洞	洞名
梨岩洞	五常洞	武溪洞	河南洞	龍川洞	洞名

三等道路 鳳岡洞より海岸に向ひて東走し漁大津港に至る
 白頭山脈 本面の東に連互す
 楊濟山 漁大津港の南に控え海拔二〇八米あり
 無載峰 梨岩洞の北に聳立し日本海に臨み海拔三六〇米あり
 江陵山 五常洞の西南に聳立し明川郡東面との境をなし七〇八米あり
 朴達嶺 花龍洞の南方に聳立し明川郡東面との界にして三七〇米あり
 漁郎川 境城郡朱乙温面に源を發し東南に向ひて流れ、本面に入りて橋郷洞、花龍洞、二幢洞、龍岡洞、龍川洞、河陽洞等を過ぎ、湖陽洞の東に於て日本海に注ぐ
 長淵湖 大部分本面に屬し西北部の一部は朱南面に屬す、周圍二六、四〇〇米、面積七四八・一町歩あり
 武溪湖 芝坊洞の東に在り、周圍七、三〇〇米、面積一六四・八町歩あり

三五二

咸鏡北道鏡城郡漁郎面

鐵道 咸鏡線 明川郡東面より本面に入り、龍岡洞、龍川洞、鳳岡洞、河陽洞、龍坪洞、湖陽洞を經、海岸に沿ひて北向し朱北面に入る
 道路 一等道路 鐵道線路に沿ひ北上し來りて本面に入り、龍岡洞、長淵湖を過ぎて朱南面朱村後場に向ふ

呂湖里	東松里	中里	上里	松上里	西里	西里	池田里	津田里	獨桑里	豐里	參津里	新西里	西島里	東島里
呂湖里	東松里	中里	上里	松上里	西里	西里	池田里	津田里	獨桑里	豐里	參津里	新西里	西島里	東島里
呂湖里	東松里	中里	上里	松上里	西里	西里	池田里	津田里	獨桑里	豐里	參津里	新西里	西島里	東島里
呂湖里	東松里	中里	上里	松上里	西里	西里	池田里	津田里	獨桑里	豐里	參津里	新西里	西島里	東島里
呂湖里	東松里	中里	上里	松上里	西里	西里	池田里	津田里	獨桑里	豐里	參津里	新西里	西島里	東島里

朝鮮の聚落 (前篇)

三五〇

橋	花	富	龍	二	龍
郷	龍	山	陽	庵	岡
洞	洞	洞	洞	洞	洞
下梨水獨楡石水	安水水德登突	水原内芝山淺深三	龍龍龍興南	上下	將水 始大草
梨滿 長 疎	春 巨 聳	於水	灣洞		
	德南北里凌峯	南德谷直洞浦浦峯	水草	水草	水草
浦谷南浦德各北	龍山 花臺 龍山 洞 洞	仲山 富洞 洞 洞	南北峙浦洞	洞洞	谷北 村洞坪
一〇八	六七	一三九	一〇六	五八	七七
一四 二	一	二一二二二二	二二一一三	一四 一六	一
二九〇八六四九	五四九四七八	五一五二〇一七八	三五五一一三	七一 三四	六〇八
三五三	八一	四三〇	九二九	六四〇	三〇六
					四七一
一 二	一 一	一 一	一 一	一 二	三
四六七五四二九	二一五六一六	二四九四三三五九	三五〇六八	八二 七五	三五四
八一五九三六九	六三〇三八〇	三三七七八七〇四	五〇三七五	四二 五六	七九五

長	鳳	龍	河	湖	松	松	芝
淵	岡	坪	岡	陽	新	興	坊
洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞	洞
上上仲下	弓松傑常九	上仲龍	河古黃匡	川防河	楸洞昌漁	池大上復塞水	新安上
	商 德						
仲	匠坪	坪坪湖	塲棧魚隅	連湖陽	九大	松洞	中 芝
	基里里					九	
淵淵淵淵	馬又岐						
谷洞	岐は陽	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞
	叩洞	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞	洞洞洞
九二	一八	一一	一〇二	一〇八	二〇〇	一〇三	一三四
一 一三	二四二一	二二六	七 一	二五二	七一一	二二二一一	三九
〇九八〇	二九二八七	七九五	〇九六七	三六九	四四二〇	八〇〇三九〇	三九二
五八一	七九四	八一〇	九二九	七三三	一、二四七	七四八	八七九
一 一	一 二	一 一	四 三	一 三	五 六	一 一	二 五
五九一八	一九七八三	九九二	九五三五	七四一	二五六〇	四四六七三七	二五九
二〇五三	一五七〇	一六三	〇四二三	三二八	三四五五	五二五九九八	五九五

第四章 聚落の大小

洞	追	坪	大	蘆	新	松	芳
里	遙	地	興	田	中	水	坪
名	里	里	里	里	里	里	里
	青食於追間赤追	鶴瑞重坪	八尾栢東	自上丫	魚自康吉	上松仙松	民長君城長梨
	岩岩隠遙所屯	落水地	作	作	頭個	水距	鶴水豐芳
	谷谷谷	里谷口洞	村洞谷倉	洞谷浦	伊谷村	浦德里田	峯坪浦洞洞
戸	六三	八九	一三五	九四	一〇七	七一	一二九
數	四三九四三	四二二二〇	八〇七〇	一四四〇二	三二二二二	一四六六二	三一三三二
人	三八六	五七〇	九九九	六三〇	六三四	五二五	八一六
口	一八五二一	八三四二〇	四三九九九	七九五六二	七七八五〇	五二五九二	二二七〇七

舊洞名又は部落名

三五七

平安南道孟山郡東面

湖河

蓮池 東面江 車輪峴 伏虎徳山 巨山峴 雲峰 朴竹山 白頭山脈 等外道路 大興里を經て芳坪里に至る 本面の北を東西に連貫す (朴竹徳) 本面蘆田里の東に聳立す 本面の南端に聳立し、本面、吳江面及び咸南永興郡横川面の三面に跨り、海拔一、一三五米あり 芳坪里の東、咸南永興郡との境界に在り、等外道路を以て横川面新興里に通ず 坪地里の南に聳立し、八二七米あり 雲峰の西方、本面の南界に在り、長豊洞より南走せる等外道路は此の峴を過ぎて吳江面内洞に通ず 本面中央に源を發し、松水里、蘆田里、大興里、追遙里を過ぎて智徳面に入る 本面の蘆田里前邊に在り

山岳

錦	貨	桃
城	泉	李
里	里	浦
		里
比花堡美錦白笛	發陸杜榛古	桂車興金樂新
岩潭	銀霧申	花井泉谷水堡
洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞
一三	九五	一七〇
三〇	六四	二二
三二	三一	六〇
二〇	一〇	一〇
六〇八	五七三	八一六
一五九	三五三	二四九
二九九	二〇	二八〇
二九九	〇	九六二

朝鮮の聚落 (前篇)

三五六

平安南道寧遠郡小白面

道路

等外道路 直線は東香里より臥龍里、士養里、甘德里、新德里を經、寒泰嶺を越えて咸南長津郡に入る
 第一支線 東香里より直里を經て平北熙川郡界に至る
 第二支線 臥龍里より鯨水里を經て鯨水里嶺、馬堡嶺を踰え、咸南長津郡界に至る
 第三支線 上南里を經て平北江界郡界に至る

山岳

檀皇山 新德里正東に聳立す
 香羅峯 士養里、臥龍里間に聳立す
 大徳山 士養里、鯨水里間に聳立し、一、五八八米あり
 吉重山 甘德里の東北に聳立す
 圓峯山 新德里の東南に聳立す
 老狼峯 鯨水里の東南に聳立す
 臥龍山 臥龍里、鯨水里間に聳立す
 竹峯 直里の西南に聳立す
 玉峯山 鯨水里の正東に聳立す
 小白山 本面、咸南長津郡舊邑面、平北江界郡龍林面の三面に跨つて聳立す、二、一八四米あり
 寒泰嶺 小白山の東方、長津郡舊邑面との界に在り、等外道路を通ず、一、三六二米あり
 廣城嶺 上南里の西方、平北江界郡龍林面との界に在り、七二六米あり
 紫柴峰 臥龍里の北に聳立し、一、四一九米あり
 成池山 臥龍里の南、直里の東に聳え、一、三三九米あり
 雄魚水山 本面、江界郡龍林面及び熙川郡新豊面との界に在り、二、〇一九米あり
 黒洞嶺 一、五〇二米にして、本面の西界に在り

河川

北洞嶺 本面の東北、咸南長津郡との界に在り、一、七〇九米にして等外道路を通ず
 東白山 本面、咸南長津郡舊邑面、及び新南面の三面に跨つて聳立し、海拔二、〇九六米あり
 馬堡嶺 三登坪の東方、面界に在り、等外道路東西に走る
 黃峰 本面の南界に在り、東北麓に大東洞部落あり
 鯨水江 本面の正東を流る
 香榆川 本面の東南を流る
 臥龍江 本面の中央を流る

洞

長香洞 (俗稱分里)	小香洞 (俗稱分里)	大香洞 (俗稱分里)	白香洞 (俗稱分里)	水香洞 (俗稱分里)	東香洞 (俗稱分里)	直楚洞 (俗稱分里)	直漢洞 (俗稱分里)	西漢洞 (俗稱分里)	水漢洞 (俗稱分里)	新漢洞 (俗稱分里)	項漢洞 (俗稱分里)	臥漢洞 (俗稱分里)	寧漢洞 (俗稱分里)
自香洞 (俗稱分里)	香香洞 (俗稱分里)	香香洞 (俗稱分里)	香香洞 (俗稱分里)	香香洞 (俗稱分里)	香香洞 (俗稱分里)	直楚洞 (俗稱分里)	直漢洞 (俗稱分里)	西漢洞 (俗稱分里)	水漢洞 (俗稱分里)	新漢洞 (俗稱分里)	項漢洞 (俗稱分里)	臥漢洞 (俗稱分里)	寧漢洞 (俗稱分里)
坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪

戸	六八	七六	一一七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
數	一八五三七五七八一六	一八九五三	二二六七四	一八八五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
人	五〇五	四六四	七〇六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
口	四五一三三三五八四	三五八八一	四八三三三	四五〇〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一

第四章 聚落の大小

新	上	甘	士	鯨
德	南	德	養	水
里	里	里	里	里
東大新	內小壽上	武甘	大小士	興生三柯中直北大新細生
德新新	南龍寧南	洞(俗稱)德	南南養	茶洞(성다라우덕이) 德堡檀
洞德德洞洞	洞浦里洞	洞浦里洞	洞洞坪	庄洞洞谷谷里 浦德
八四	五六	五六	五一	一六九
一三四二	二一四一	一三八八	三三〇三	二一四三
三六四一五五	〇四八四	〇三八八	〇〇四五六三六六〇二九八	一〇二二一
四七一	三八六	三三九	三四七	九五二
一九二八二三	二九六〇	〇三九八	九八六	〇四九二八二二九一六五一
三四二六六〇	八〇八〇	〇三六三	七七三	七九一九八一三一四三五一

平安北道寧邊郡百嶺面

山脈 妙香山脈 本面の北部に連亘す
 山岳 加馬峯 寶月洞の東北、本面の東北界に聳立し一、三〇五米あり

河川 寶月洞の北方に聳立す
 兄弟峯 項林洞の北に在り、本面の北界をなし一、二二九米あり
 牛峴 牛峴洞の東方、平南徳川郡大極面との界に在り、等外道路東北に走る
 卓峴 徳川郡豊徳面との界にして、吉洞の東に在り、等外道路を通ず
 於業嶺 海拔六二五米にして北薪峴面との界に在り、等外道路を通ず
 妙香山 本面の北界に在り、一、三六五米あり
 虎狼嶺 妙香山の東方、北薪峴面との界に在り、一、〇五一米
 百嶺川 加馬峯の西麓に發し、本面の中央を西に流れ、牛峴洞、寶月洞、造山洞、大豊洞、上草洞、龍瀨洞を過ぎて龍山面に入る

大	造	牛	開	洞
豊	山	峴	華	里
洞	洞	洞	洞	名
長佛大豊長	雲鹿山吉	栗灰塔寶牛鐵	龍水磨	舊洞里名又は部落名
安堂南川	興養杏	積 月峴竹	虎木伊	
洞洞洞洞	洞洞洞洞	洞洞洞洞洞洞	洞洞洞	
とにし大南				
改依ては南				
り洞舊洞、				
す大里洞、				
豊廢名豊				
洞合に川				
二三五	一九五	一九五	九二	戸
一六四	一三三	一五〇	一六二	數
〇二二〇	八六八三	〇二五八二八	〇二〇	
一、一四一	一、一三七	一、〇九八	五四〇	人
一五三二	一、二七	三五	三一	口
〇一〇〇	〇三二六	六一二二九九	四七二	
〇〇一〇〇	八六八五	二〇五〇一〇	八二〇	

洞名	德上	院豐	料大	庄下	庄上	龍山	金豐	龍昌	書興
新瓦驛	德上	院豐	料大	庄下	庄上	龍山	金豐	龍昌	書興
只上	院豐	院豐	院豐	院豐	院豐	院豐	院豐	院豐	院豐
戸	一四	一三	一八	七九	七八	五二	七二	八二	八二
數	二三五	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七	二四七
人	六七二	八五三	七三三	四三〇	五〇七	三一六	四四九	四八五	二一〇
口	一三〇	二〇八	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七

平安北道朔州郡兩山面

道 路 二等道路 外南面水龍洞より本面に入り、奮風洞、德上洞、院豐洞を過ぎ、佳峴嶺を越えて昌城郡に入る
 三等道路 德上洞より東南に走り、龍山洞、書興洞を經、草頭嶺を過ぎて昌城郡に入る

山 岳 飛龍山、舞臺山、龍山洞の北方に聳立す
 富貴山 料大洞の東方に在り
 文羅山、月明山 龍昌洞の西方に在り
 昌々山 龍昌洞の東方に在り、海拔八〇五米あり
 舞臺山 德上洞の西方に在り
 大幕嶺、小幕嶺 庄下洞の北方に在り
 草頭嶺 書興洞の東方に在り、院豐洞より青山場市に至る三等道路あり
 鉛洞嶺 書興洞の北方、舞臺峰の南に在り、七〇六米
 佳峴嶺 院豐洞の東方、昌城郡界に在り、二等道路東西に走り、海拔六一九米あり

洞名	下龍	上草	中草	龍淵
新崇	下龍	上草	中草	龍淵
德逆	龍淵	龍淵	龍淵	龍淵
戸	九二	一四五	一三五	一一九
數	二七一	三〇一	四三〇	七四〇
人	五四一	八三五	七八三	六八五
口	一四〇	一六五	二三五	四二五

番風洞

番番殿金

上豊風

洞洞洞

九八

四二二一
二一〇五

六四七

二一一一
九二二〇
四七五一

平安北道楚山郡東面

道路

楚山より雲山及び元山に至るものにして、本面に於ては、龜龍洞、陽徳洞を過ぎ多樂嶺を越えて南面に出

山岳

- 三等道路 多樂嶺より東に走り化豊洞を過ぎて古場に至る
- 角高峰 陽徳洞の南に聳立し、海拔九二二米ありて南面との界をなす
- 天頭標峰 花薪洞の南に聳立す
- 鳳凰山 化豊洞の北に聳立す
- 龍臺峯 化豊洞の南に聳立す
- 五鳳山 化豊洞の西南に聳立す
- 五峰山 建陽洞の東南に聳立す
- 七星峯 花薪洞の東北に聳立す
- 鶴來峯 花薪洞の東南に在り
- 鷲岩峯 花薪洞の西北に在り
- 祭峰 新楊松洞の東北に在り
- 高山徳峰 龜龍洞の東、新楊松洞の南に在り、海拔八七二米あり
- 多樂嶺 化豊洞の西方、南面との界に在り、二等道路を通じ交通の要衝を施し、海拔八五九米あり
- 鶴來峯 新楊松洞の西北に聳立す
- 七星江 本面西南に流る
- 新坪江 本面東北に流る

河川

榆面江 本面西南に流る

洞里名

舊洞里名又は部落名

戸

數

人

口

龜龍洞

冷龜池(俗稱冷池) 井石洞(俗稱冷池) 地哥木龍里

一五四

五二二一一一〇三一
三二二二一〇三一

八二五

二一一
五一一七六六六七
一九三七九〇六〇

陽徳洞

大駕江湯山陰花 馬庄道幕田 村(俗稱馬庄)

一一〇

一一一三三三三
二三四四三三三

五九二

一
五一一八七三七七八七
〇六六八一五〇六

化豊里

會皮龍倉三 英木(俗稱木) 壁洞(俗稱木) 坪花梗寺

一四九

一一一三三
三一一二一一三
七八八七五一一二

九四九

一一一
三五一四六八六九
九六二五四〇〇三

花薪洞

鷲江山花三 岩庄路街 古介

一七五

二二二四三
八八五八三三

一、〇七〇

一一一
五〇五六八九
一八九七八七

朝鮮の聚落 (前篇)

建陽洞	和化洞	春春洞	豐谷洞
(俗稱和化洞)	(俗稱春春洞)	(俗稱春春洞)	(俗稱春春洞)
一〇八	一〇八	一〇八	一〇八
一二四	一二四	一二四	一二四
九二九	九二九	九二九	九二九
〇二三	〇二三	〇二三	〇二三
一一一	一一一	一一一	一一一
五〇七	五〇七	五〇七	五〇七
八一五	八一五	八一五	八一五
一二四	一二四	一二四	一二四
六四〇	六四〇	六四〇	六四〇
五二八	五二八	五二八	五二八

平安北道江界郡干北面

道 路

等外道路 南里德田洞を経て檜沙赤洞に至る
北里嶺榭洞より公貨洞に至る

山 脈

- 白頭山脈 本面の周囲を圍繞す
- 新河洞嶺 本面の南界に在り、一、二〇六米ありて等外道路を通ず
- 香羅峰 舞仙洞公貨洞中間に聳立す
- 東沙山 本面の東界に在り、一、四一五・五米あり
- 榎子嶺 東沙山の南方、城干面との界に在り、一、一八五米あり
- 看山峙 本面の東南界に在り、一、四三三・二米あり
- 羊谷峰 干北川右岸、南洞全洞の東北方に聳立し、一、一八九米にして頂上には山羊岩あり
- 全武峰 白岩洞の東北方に聳立し、一、四二六・七米あり
- 愛物嶺 本面の西北界に在り、公北面可也物站に通ふ等外道路あり
- 馬蹄嶺 本面の北界に在り、公北面に通ずる聯路あり、一、二三四・七米あり
- 香萊峰 馬蹄嶺の東北方、面界に聳立し、一、七二七・六米あり
- 猛扶山 本面の東界に在り、二、二一四・一米あり
- 葱田嶺 本面、龍林面及び長津郡々内面の三面に跨つて聳立し、二、〇八四米あり

河 川

干北川 本面の西部を南より北に流れ赤木洞、榎子洞、秋派洞を過ぎて城干面に入る

南 洞(南洞俗稱南里)

北 洞(俗稱北里)

標倉坪	藥浦野陽	蛇間	白栢	檜	雲洞	赤	佳	威	赤	都	公	舞
坪倉田	陽野	蛇間	白栢	檜	雲洞	赤	佳	威	赤	都	公	舞
二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四	二六四
一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二	一、〇三二
一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三
一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一
二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇
二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇
一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八	一八八
七三六	七三六	七三六	七三六	七三六	七三六	七三六	七三六	七三六	七三六	七三六	七三六	七三六
四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一
二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九
七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九
二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇
一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二
一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一
三九九	三九九	三九九	三九九	三九九	三九九	三九九	三九九	三九九	三九九	三九九	三九九	三九九
七六九	七六九	七六九	七六九	七六九	七六九	七六九	七六九	七六九	七六九	七六九	七六九	七六九
六四一	六四一	六四一	六四一	六四一	六四一	六四一	六四一	六四一	六四一	六四一	六四一	六四一

平安北道慈城郡慈城面

道 路

二等道路 自作嶺より邑内洞に至りこの地に於て分岐し一は花田洞へ、一は常坪洞に至る
紅桃山脈 本面西南に連亘す
荷山嶺山脈 本面東北に連亘す

第四章 聚落の大小

第四章 聚落の大小

平安北道厚昌郡東興面		常	
道	山	坪	洞
<p>二等道路 羅竹里を經て古邑里蓮坪洞に至る</p> <p>原州嶺山脈 本面を南西に連亘す</p> <p>衝天嶺 古邑里麻田洞の西南に聳立す</p> <p>八峰 倉坪洞の東北に聳立す</p> <p>鴨綠江 本面北界を曲流西下す</p>	<p>古邑里</p> <p>江鏡西門城坪田</p> <p>蓮倉舊西益江朴</p> <p>麻松蓮倉舊西益江朴</p>	<p>龍回</p> <p>龍回黃朴</p> <p>歸陽錢足仁</p> <p>龍回黃朴</p>	<p>雙南里</p> <p>洞新古璋文中下</p> <p>口倉上項池里里</p> <p>洞洞洞洞洞洞洞洞洞洞洞洞洞洞洞洞</p>
<p>戸 一七八</p>		<p>戸 一〇四</p>	<p>戸 一〇八</p>
<p>數 一一四三三一 一〇九四一一 一六八五四</p>		<p>數 三一一二 一一八二九三二</p>	<p>數 三一 一四三 二六九六八</p>
<p>人 九五〇</p>		<p>人 六三八</p>	<p>人 五五四</p>
<p>口 六一六三六二 三三三七五 一九八四八七 八六六</p>		<p>口 二 一八七 八八 二〇五 七四</p>	<p>口 一八七 四四 六八〇 六一 一三六八</p>

三六九

朝鮮の聚落 (前篇)		山 岳	
川	洞	邑	山
<p>慈城江 本面の中央部を貫通して西北に流る</p> <p>鶴城山 本面の東北界に在り、一、二七六米</p> <p>自作嶺 紅桃兒嶺山の西方面界に在り、海拔七一〇米にして慈城より義州に至る二等道路南走す</p> <p>紅桃兒嶺山 本面の南、三豐面との界に聳立す、一、〇八九米</p>	<p>水新 舊新水</p> <p>新上 豐砦</p> <p>舊城 下外</p> <p>花坪 城坪 外</p> <p>花坪 城坪 外</p> <p>禮 洞</p> <p>杏浩 瓮 樺</p> <p>竹竹 岩 店 場 坪</p> <p>大小 竹 舊 蘆</p> <p>南三 南二 南一</p> <p>乾 巨 浦 竹 竹</p> <p>嶺 馬 嶺 乾</p> <p>大馬 嶺 乾</p> <p>古直 看</p>	<p>西 城 城 舊 新</p> <p>門 下 上 豐 砦</p> <p>坪 田 城 坪 外</p> <p>岩 禮 門</p> <p>店 場 坪</p> <p>竹 竹</p> <p>竹 竹 岩 店 場 坪</p> <p>大小 竹 舊 蘆</p> <p>南三 南二 南一</p> <p>乾 巨 浦 竹 竹</p> <p>嶺 馬 嶺 乾</p> <p>大馬 嶺 乾</p> <p>古直 看</p>	<p>紅桃兒嶺山 本面の南、三豐面との界に聳立す、一、〇八九米</p> <p>自作嶺 紅桃兒嶺山の西方面界に在り、海拔七一〇米にして慈城より義州に至る二等道路南走す</p> <p>鶴城山 本面の東北界に在り、一、二七六米</p> <p>慈城江 本面の中央部を貫通して西北に流る</p>
<p>戸 一八六</p>	<p>戸 一四七</p>	<p>戸 二四二</p>	<p>戸 一八六</p>
<p>數 一三四二 三三三 一〇三七七 九</p>	<p>數 一一三 四三 三一八 八七</p>	<p>數 一一 二一 三一 一三 二二 一一 一一 一〇 七三 七一</p>	<p>數 一三 四二 三三 一〇 三三七 七九</p>
<p>人 九七五</p>	<p>人 七六三</p>	<p>人 一、二四九</p>	<p>人 九七五</p>
<p>口 五五〇 五九九 五八九 七</p>	<p>口 七五〇 三九 一〇七 六九</p>	<p>口 四六三 九八一 八一 一九一九 六七 六</p>	<p>口 一一 二二 一一 一一 一一 一一 一一 一〇 七六 九</p>

三六八

古	合	北	南	東	上	洞
沙	江				道	里
洞	里	里	里	里	里	名
李心中皮房虛墓堡	笏柴消合	知仍院遠旺北	斗槿寺琴乾沙南	寺東	左上	舊洞里名又は部落名
木崩院也 空田	田日江	而光 伊	隱 發又口		隅道	
谷堡堡市谷峙峙洞	浦坪坪里	谷堡谷谷堡里	爵里堡里尾尾里	堡里	德里	
六六	一〇四	七九	一一二	五六	九二	戸
一一一	一一七	六	一七	五	八九	數
三四五八一四〇九	〇一〇三	二三五二一〇	四〇五五三四一	一五	三九	
三二八	五九二	三八九	五六七	二五一	三三八	人
二二四三二五六一	一四〇七〇五	一二二八	二五二二一七六	二四七	三一六	口
二一五六三五九六		九四五六四九	〇〇五五五〇二			

江原道麟蹄郡麟蹄面

道 路 二等道路 京城より東走し來れるものにして南里、東里、上道里、合江里、消日坪、友唱里を経て泥坪里に至る

山 脈 雪岳山脈 本面の東に連亘す

山 岳 成嶺山 北里西方に聳立す

草堂峰 草堂坪東方に聳立す

起龍山 上道里北方

福注峰 草堂坪西方

高 峰 上道里東方

加里峰 内加里山北方に在り、一、五一九米あり

占豊山 貴屯里龍水洞の東方

點鳳山 本面、麒麟面及び襄陽郡西面の三面に跨つて聳立す

寒溪嶺 本面の東北界に在り、九三三米

寒石山 德積里の南に聳立し、一、一一九米あり

昭陽江 下嶽洞里、黒石里、長水峯、合江里、上東里、南北里を過ぎて南面に入る

麟北川 本面の中央を南に流れ、合江里に於て昭陽江に注ぐ

羅	竹	里
坪大	大明	竹竹竹
豐穩羅坪羅堂上中下		
洞洞洞洞洞洞洞洞		
二二二		
一二一	一一一	二二六
七〇八	八七四	四二二
一、二七九		
一一一	一一一	三
九一〇	七九八	四二五
五一〇	三二六	一八三